

朝鮮の物産

石原 釀造場	京畿道京城府漢江通	石原 幾次郎	清酒	1,000	10,000
島山 清酒工場	同 元町	島山 富左衛門	同	400	3,800
大島 清酒工場	同	大島 常治郎	同	400	3,000
深見 酒造所	同 仁川府龍岡町	深見 寅市	同	1,500	16,000
高野 酒造所	同 壽町	高野 周三郎	同	600	6,000
高三 酒造所	同 花町	市原 雄吉	同	400	4,000
豐田 酒造所	同 松坂町	豐田 梅吉	同	400	4,000
吉岡 釀造場	同 山根町	鏡味 常助	同	500	5,000
鏡味 釀造場	同 龍岡町	宮崎 市作	同	300	3,000
宮崎 釀造場	同 松坂町	朝日 釀造株式會社	同	2,000	19,000
朝日 釀造株式會社	同 桃山町	朝日 釀造株式會社	清酒	2,000	19,000
朝鮮 酒造株式會社	忠清南道論山郡論山面榮町	朝鮮 酒造株式會社	清酒	1,000	10,000
分酒 造場	同 江景	山本 忠七	同	300	3,000
群山 酒造株式會社	全羅北道群山府橫田町	群山 酒造株式會社	同	800	8,000
上野 釀造所	同 錦町	上野 源七	同	1,500	15,000

光州 酒造株式會社工場	全羅南道光州花園町	光州 酒造株式會社	同	1,000	11,000
菅原 工場	同 靈岩郡靈岩面	菅原 貞吉	同	300	3,000
栗岡 酒造場	同 務安郡二老面	栗岡 民治	同	300	3,000
若松商會酒類製造場	慶尙北道大邱府東門町	若林 誠助	同	800	8,000
大邱 酒造株式會社	同 三笠町	代表 寺田善作	同	800	8,000
片木屋 酒造場	同 東本町	片木 梅吉	同	400	4,000
難波 釀造場	同 南龍岡町	難波 幸作	同	500	5,000
棟居 酒造場	同 東雲町	棟居 太一	同	400	4,000
福島 釀造場	同 迎日郡浦項面	福島 伊平	同	400	4,000
古川 釀造場	同 尙州郡尙州面	古川 茂平	同	400	4,000
讚岐 酒造株式會社	同	讚岐 酒造株式會社	同	600	6,000
安東 酒造株式會社	同 安東郡安東面	安東 酒造株式會社	藥酒	1,300	12,000
松岡 酒造場	慶尙南道釜山府水昌洞	松岡 甚太	清酒	600	6,000
福田 釀造場	同 西町	福田 恒	同	700	7,000
辻酒造株式會社釀造所	同 富平町	辻酒造株式會社	同	1,400	14,000
竹鶴 酒造場	同 寶水町	竹鶴 輝二	同	600	6,000
山内 酒造場	同 富平町	山内 莊平	同	600	6,000
西山 酒造場	同 佐川洞	西山 德三郎	同	1,200	12,000

朝鮮の物産

堀酒造場	慶尙南道釜山府草場町	原田竹次郎	清酒	六三九	六三、九〇〇
丸金酒造所	同	富平町	同	九二四	九二、四〇〇
原田酒造場	同	凡一洞	同	九八八	九八、八〇〇
安河内酒造場	同	佐川洞	同	五五五	五五、〇〇〇
增永酒造場	同	富平町	味淋酒	五五五	五五、〇〇〇
井田酒造場	同	馬山府仲町	高粱酒	五五五	五五、〇〇〇
平井酒造場	同	都町	同	四三三	四三、〇〇〇
西田酒造場	同	榮町	同	九一九	九一、九〇〇
松井酒造場	同	通町	同	六二二	六二、二〇〇
合資會社清水酒造場	同	柳町	同	四〇八	四〇、八〇〇
石橋酒造場	同	幸町	同	一、二九〇	一二、九〇〇
永武酒造場	同	曙町	同	三三三	三三、三〇〇
千島園酒造場	同	通町	同	四七	四、七〇〇
濱田酒造場	同	新町	同	三九	三、九〇〇
中村酒造場	同	黃海道鳳山郡沙里院	同	七九	七、九〇〇
山邊酒造場	同	平安南道平壤府櫻町	同	一、三〇〇	一三、〇〇〇
中田酒造場	同	同	同	五〇〇	五〇、〇〇〇

第九章 工産物

松岡酒造場	同	竹園町	清酒	一、三〇〇	一三、〇〇〇
齊藤酒造合名會社	同	黃金町	清酒	三、六〇〇	三六、〇〇〇
朝日酒造場	同	旭町	清酒	一〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
漢湖商會酒造場	同	鏡齊里	清酒	五〇〇	五〇、〇〇〇
豐樂燒酎製造所	同	黃金町	清酒	八〇〇	八〇、〇〇〇
西川酒造場	同	新陽里	清酒	二、〇〇〇	二〇、〇〇〇
江崎商會燒酎製造所	同	幸町	清酒	一、四〇〇	一四、〇〇〇
窪田燒酎製造所	同	櫻町	清酒	九〇〇	九〇、〇〇〇
文善酒造場	同	黃金町	清酒	八三三	八三、三〇〇
金泉燒酎製造所	同	大同郡大同江面	清酒	一、〇八六	一〇、八六〇
松岡燒酎製造場	同	林原面	清酒	七五〇	七五、〇〇〇
七星燒酎商會	同	同	清酒	八〇〇	八〇、〇〇〇
長興合酒造所	同	平安北道鐵山郡鐵山面	清酒	七五〇	七五、〇〇〇
永樂釀酒商會	同	站面	清酒	一、四三三	一四、三三〇
東成海酒造場	同	龍川郡外上面	清酒	一、二六	一二、六〇〇
東順海酒造場	同	場下面	清酒	六五	六、五〇〇
張熙鳳	同	同	清酒	三七	三、七〇〇
松岡吉次	同	同	清酒	一、三〇〇	一三、〇〇〇
齊藤酒造合名會社	同	同	清酒	三、六〇〇	三六、〇〇〇
田村甚次	同	同	清酒	一〇、〇〇〇	一〇〇、〇〇〇
田中周助	同	同	清酒	五〇〇	五〇、〇〇〇
吉崎信治	同	同	清酒	八〇〇	八〇、〇〇〇
西川重五郎	同	同	清酒	二、〇〇〇	二〇、〇〇〇
江崎萬八	同	同	清酒	一、四〇〇	一四、〇〇〇
窪田惣松	同	同	清酒	九〇〇	九〇、〇〇〇
李文堯	同	同	清酒	八三三	八三、三〇〇
國崎文作	同	同	清酒	一、〇八六	一〇、八六〇
松岡繁市	同	同	清酒	七五〇	七五、〇〇〇
池周善	同	同	清酒	八〇〇	八〇、〇〇〇
鄭翊	同	同	清酒	七五〇	七五、〇〇〇
金載潤	同	同	清酒	一、四三三	一四、三三〇
張大潤	同	同	清酒	一、二六	一二、六〇〇
張熙鳳	同	同	清酒	六五	六、五〇〇

朝鮮の物産

金光酒造合資會社	咸鏡南道元山府旭町	代表者 岡本清兵衛	燒酎	七〇〇	五〇,〇〇〇
元山酒造株式會社	同 泉町	代表者 植田利之助	同	一、三六	九、五〇〇
新谷酒造場	同	新谷 新七	同	五五〇	五、〇〇〇
合成醸造所	同 銘石洞	李 澤 鉉	同	四九五	四、五〇〇
金山酒造場	同 咸興郡咸興面東陽里	金山 福太郎	清酒	二六五	七、〇〇〇
咸興酒造合資會社	同 雲興里	代表者 崔在順	燒酎	一、二八	九、一〇〇
興業社酒造場	同 端川郡波道面	株式會社興業社	同	五六	三、五六
大昌醸造所	咸鏡北道清津府新岩洞	禹 麟 源	同	七〇〇	五〇,〇〇〇
羅南酒造合名會社	同 鏡城郡羅南	羅南酒造合名會社	清酒	二、五〇〇	三、五〇〇

醬油、味噌 朝鮮總生産額三、五五九、一五一圓

工場名	所在地	經營者	品名	數量	價額
研醬油醸造場	京城道京城府青葉町	酒 見 簡	醬油	四二	三、六〇〇
日鮮殖産株式會社	同 元町	日鮮殖産株式會社	同	七〇	三、一〇〇
嶋屋本店工場	同 岡崎町	戸嶋 祐次郎	醬油	一、〇〇〇	一、〇〇〇
三好醬油工場	同 本町	三好 喜六	味噌	四〇〇,〇〇〇	二〇〇,〇〇〇

藤田醬油醸造場	同 花園町	藤田 卯三郎	同	四〇〇	一〇,〇〇〇
野田醬油株式會社	同 蓬萊町	野田醬油株式會社	味噌	三〇,八七	一三、七四
美濃屋醬油醸造工場	同 高陽郡崇仁面	森 久 七	同	五〇〇	三、五〇〇
大塚醬油醸造所	同 始興郡永登浦	大塚 宗三郎	同	四、〇〇〇	一六、〇〇〇
野田醬油株式會社	同 仁川府金谷里	野田醬油株式會社	味噌	四、四九	三三、九四
高杉醬油醸造所	同 萬石町	高 杉 キク	味噌	二、四三	一三、七九
野田醬油株式會社	同 金谷里	野田醬油株式會社	味噌	二、五〇	一七、五〇〇
荒卷農場醬油部	忠清南道論山郡江景	荒卷 スミノ	味噌	五、三〇	三三、六二
辻 醸 造 場	同 大田郡大田	辻 謹之助	味噌	三〇,〇〇〇	一三、〇〇〇
醬油醸造場	同 燕岐郡鳥致院	横山 龜太郎	味噌	三、〇〇〇	一八、〇〇〇
横山 醸 造 場	全羅北道群山府明治町	横山 與市	味噌	一〇,〇〇〇	四〇,〇〇〇
鹽津 醸 造 場	同 井邑郡井邑面	鹽津 濟	味噌	九、五〇〇	二七、九〇〇
木浦醬油株式會社工場	全羅南道木浦府櫻町	木浦醬油株式會社	味噌	五、〇〇〇	六、六五〇

朝鮮の物産

川上醸造場	全羅南道長城郡長城面	川上謙二	醬油	六〇石	二四、〇〇〇
寶城醬油醸造場	慶尙北道大邱府東雲町	寶城齊	醬油	四〇〇石	一〇、〇〇〇
鳥山醸造所	同 迎日郡浦項面	鳥山小熊	醬油	二五〇石	五、〇〇〇
赤松醬油醸造場	慶尙南道馬山府京町	赤松シユン	醬油	二五〇石	一〇、〇〇〇
福井醬油醸造場	同 都町	福井増次郎	醬油	一五〇石	七、〇〇〇
増井醬油醸造所	同 釜山府西町	増井勝治	醬油	一五〇石	七、〇〇〇
山根醬油醸造所	同 富平町	山根太吉	醬油	八〇〇石	一五、〇〇〇
山本醬油醸造所	同 西町	山本頼之助	醬油	九五〇石	二〇、〇〇〇
宮川醬油醸造所	平安南道平壤府鏡齊里	宮川五郎三郎	醬油	七〇七三石	一四、〇九六
合資會社柳原醸造所	同 鎮南浦府三和町	合資會社柳原醸造所	醬油	一、〇〇〇石	二〇、〇〇〇
枅醸造所	同 龍井町	枅岩吉	醬油	一、〇〇〇石	二〇、〇〇〇
藤本醸造所	同 明治町	藤本留藏	醬油	一、〇〇〇石	二〇、〇〇〇
倉掛醸造所	咸鏡南道咸興東洋里	倉掛喜三太	醬油	一、〇〇〇石	二〇、〇〇〇

五七二

森田醸造所	同	森田泰祐	醬油	二、〇〇〇石	二五、八四〇
廣瀬醬油醸造場	同 安邊郡文山面	廣瀬茂平	醬油	六〇〇石	一三、六五〇
佐々木醬油製造所	咸鏡北道清津府明治町	佐々木逸次郎	醬油	五〇〇石	一三、〇〇〇
北鮮醬油株式會社工場	同 鏡城郡羅南面	北鮮醬油株式會社	醬油	二、〇〇〇石	二六、〇〇〇
福田商會醸造所	同	福田二郎	醬油	一〇〇石	一五、〇〇〇
味噌醬油醸造場	同 會寧四洞	鹿谷治太郎	醬油	六〇〇石	一五、〇〇〇
佐々木味噌醬油醸造所	同 慶興郡雄基	土取泰吉	醬油	一八、〇〇〇石	二二、〇〇〇

麴、麴子 朝鮮總生産額七、八五五、二四五圓

工場名	所在地	經營者	品名	數量	價額
盧龍鉉商店	平安南道平壤府磚九里	盧龍鉉	麴子	一、一〇〇石	二二、〇〇〇
崔奎善麴子製造場	同 上需里	崔奎善	麴子	一、五〇〇石	三〇、〇〇〇
新興麴子製造所	同 眞香里	宋在燁	麴子	六五石	一三、五七五
朴泳麴子製造所	同 陸路里	朴泳錫	麴子	一、二〇〇石	二四、〇〇〇
金龍錫麴子製造所	同 將別里	金龍錫	麴子	四〇〇石	八、〇〇〇
朱亨根麴子製造所	同 衛順里	朱亨根	麴子	一、〇〇〇石	二〇、〇〇〇

第九章 工産物

五七三

大正十三年製造高

菓子 朝鮮總生産額六、〇三九、一八九圓

工場名	所在地	經營者	品名	數量	價額
朝鮮製菓株式會社	京畿道京城府岡崎町	朝鮮製菓株式會社	洋菓子	三、〇〇〇	四、〇〇〇
大阪三河屋菓子株式會社	同 榮町	大阪三河屋菓子株式會社	其の他	一〇、〇〇〇	三、〇〇〇
朝鮮製菓株式會社	同 榮町	朝鮮製菓株式會社	ビスケット	五、〇〇〇	一、〇〇〇
大西製菓合資會社	同 元町	大西悅太郎	菓子	二〇、〇〇〇	五、〇〇〇
合資會社橘屋	同 南山町	代表者 西村豊次郎	菓子	二〇、〇〇〇	五、〇〇〇
長谷川菓子工場	同 明治町	長谷川千松	菓子	四、〇〇〇	一、〇〇〇
大竹菓子工場	同 櫻井町	大竹國三郎	菓子	一〇、〇〇〇	三、〇〇〇
眞木菓子工場	同 元町	眞本忠太郎	菓子	一〇、〇〇〇	三、〇〇〇
本城屋	同 本町	本吉清一	菓子	一〇、〇〇〇	三、〇〇〇
大和軒	同 同	仙波潤一郎	菓子	一〇、〇〇〇	三、〇〇〇
黒川菓子工場	同 同	黒川代藏	菓子	一〇、〇〇〇	三、〇〇〇
廣田菓子製造所	全羅北道群山府明治町	廣田太一	菓子	一〇、〇〇〇	三、〇〇〇
橋本製菓工場	慶尙南道釜山府榮町	橋本猛	菓子	一〇、〇〇〇	三、〇〇〇

④釜山製餅所	同 寶水町	河添之熊	キヤラメル	一七、七二五	四、三三二
塚本製菓工場	同 富平町	塚大平三郎	干菓子	一五、〇〇〇	三、九七六
木村屋平壤支店	平安南道平壤府大和町	實原哲次郎	菓子	一五、〇〇〇	三、九七六
吉田商店	同 鹽店里	吉田勇治	菓子	一五、〇〇〇	三、九七六
久榮堂	咸鏡北道會寧郡會寧面	久保鹿造	菓子	一五、〇〇〇	三、九七六

清凉飲料 朝鮮總生産額四五一、八三一圓

工場名	所在地	經營者	品名	數量	價額
京城清凉社	京畿道京城府岡崎町	待井清美	サイダー	一六、二六六	三、八三三
岡本商會	同 櫻井町	岡本源十郎	サイダー	三、〇〇〇	一、八〇〇
中原天然炭酸水製造所	忠清北道清州郡北一面	中原鐵臣	炭酸水	二、五八六	二、〇六八
南鮮飲料舍	慶尙北道大邱府南龍岡町	天本鞍藏	サイダー	一〇、〇〇〇	一、四〇〇
			ラムネ	一〇、〇〇〇	一、四〇〇
			ミカン水	一〇、〇〇〇	二、一〇〇

朝鮮の物産

五七六

釜山清凉舎 慶尙南道釜山府西町

東松太郎

朝鮮飲料合資會社 平安南道平壤府本町

朝鮮飲料合資會社

製

氷

朝鮮總生産額一八九、八七〇圓

工場名

所在地

經營者

品名

數量

價額

木浦製氷所

全羅南道木浦府海岸通

平岡義夫

氷

七〇噸

一四、四〇〇圓

釜山水産株式會社

慶尙南道釜山府本町

釜山水産株式會社

同

一六、〇〇〇

二八、〇〇〇

鹽

朝鮮總生産額一、三二〇、六三三圓

工場名

所在地

經營者

品名

數量

價額

清水製鹽所

京畿道京城府孝悌洞

下川傳吉

再製鹽

一、三三五噸

三九、九五圓

板倉製鹽所

同 蓬萊町

板倉光秀

同

二、〇〇〇噸

三、六〇〇

仁川製鹽所

同 仁川府萬石町

三井物産株式會社

同

二、七九、五三三

五、二六六

朝鮮製鹽所

同 宮町

篠崎長三郎

同

一、七七一噸

三、四四〇

製鹽工場

同 高陽郡漢芝面

李宗泰

同

一、〇〇〇噸

四、〇〇〇

荒石組製鹽所

慶尙南道釜山府瀛仙洞

荒石組製鹽所

同

三、七〇〇噸

六、五〇〇

ササヤ製鹽所

同

渡邊幸吉

同

一、二五〇噸

三、七五〇

福田製鹽所

同

福田安治郎

同

一、六五〇噸

四、六五〇

東松製鹽所

同

東松信助

同

四、〇九〇噸

七、七五五

東松第一製鹽所

同

東松太郎

同

四、三三〇噸

八、八八五

淡盛商會製鹽所

同

谷本喜代一

同

九、〇〇〇噸

一、五三三

許斐第一製鹽所

同

許斐光三郎

同

三、四七〇噸

七、四八七

許斐第二製鹽所

同

同

同

三、八九〇噸

六、三三〇

白石製鹽所

同

白石馬太郎

同

三、五二〇噸

六、三〇〇

林兼製鹽所

同

中部幾次郎

同

三、〇五二噸

六、二〇〇

崔榮浩製鹽工場

同 金海郡鳴旨面

崔榮浩

同

一、二〇〇噸

三、〇〇〇

宮本製鹽工場

咸鏡北道清津府浦項洞

宮本照雄

再製鹽

一、八五、〇四〇

三、九六五

砂

糖

朝鮮總生産額一〇、四四〇、四五八圓

工場名

所在地

經營者

品名

數量

價額

大日本製糖株式會社

平安南道大同郡大同江面

大日本製糖株式會社

砂糖

三、六六八、三六四噸

一〇、四四〇、四五八圓

第九章 工産物

五七七

罐詰、瓶詰 朝鮮總生産額一、〇四九、八九三圓

工場名	所在地	經營者	品名	數量	價額
日本殖産株式會社	全羅南道務安郡朴谷面	藤原元太郎	鰻罐龍	一六、〇〇〇打	四八、〇〇〇圓
龍野罐詰工場	慶尙北道慶州郡陽北面	龍野三之助	鰻罐龍	一〇、〇〇〇	六〇、〇〇〇
岩本罐詰製造所	同 迎日郡滄州面	岩本衛門	鰻罐龍	四、〇〇〇	三六、〇〇〇
日本海産興業株式會社	慶尙南道釜山府瀛仙洞	業株海産會社	鰻罐龍	一五、〇〇〇	三六、〇〇〇
植田罐詰工場	同 富平町	植田勝治	鰻罐龍	五、〇〇〇	一〇、〇〇〇
山田罐詰製造所	平安南道平壤府柳町	山田關三郎	鰻罐龍	一三、〇〇〇	四一、〇〇〇
上野罐詰製造所	江原道高城郡新北面	上野國太郎	鰻罐龍	四、〇〇〇	一〇、〇〇〇
中川罐詰製造所	同	中川政五郎	鰻罐龍	四、〇〇〇	一〇、〇〇〇
奥村罐詰製造所	同 江陵郡新里面	奥村平太郎	鰻罐龍	四、〇〇〇	一〇、〇〇〇
罐詰工場	同 蔚珍郡蔚珍面	渡邊徳藏	鰻罐龍	三、〇〇〇	三六、〇〇〇
丸徳罐詰合資會社	咸鏡南道元山府洲洞	丸徳罐詰合資會社	鰻罐龍	一五、〇〇〇	三六、〇〇〇
清津罐詰所	咸鏡北道清津府幸町	川本彰一	鰻罐龍	一〇、〇〇〇	六六、〇〇〇

ボタン 朝鮮總生産額一八、七九六圓

工場名	所在地	經營者	品名	數量	價額
松下罐詰所	同 榮町	松下和三郎	鰻罐龍	一六、〇〇〇	三六、〇〇〇
カクト罐詰製造場	同 富寧郡青岩面	徳見與兵衛	鰻罐龍	三、〇〇〇	三六、〇〇〇
田中罐詰製造場	同 古岩面	田中關藏	鰻罐龍	三、〇〇〇	六〇、〇〇〇

肥料 朝鮮總生産額八、六〇二、二二八圓

工場名	所在地	經營者	品名	數量	價額
京城化製肥料株式會社	京城道高陽郡崇仁面	京城化製肥料株式會社	骨粉肥料	一五、〇〇〇噸	一五、〇〇〇圓
滿留嘉久合資會社	慶尙南道釜山府瀛仙洞	滿留嘉久合資會社	配合肥料	三〇、〇〇〇噸	九〇、〇〇〇圓
三菱製鐵株式會社	黃海道兼二浦	三菱製鐵株式會社	硫安肥料	一、五〇六噸	三六、九三三圓

印刷物 朝鮮總生産額六、二二九、九四三圓

朝鮮の物産

工場名	所在地	経営者	品名	数量	製造高	額
朝鮮書籍印刷株式會社	京畿道京城府元町	朝鮮書籍株式會社印	教科書朝鮮民曆其の他	六四、五四		
朝鮮印刷株式會社	同	代表者 小杉謹八	諸印刷	三六、五五		
東亞出版印刷株式會社	同	東亞出版印刷株式會社	同	二四、〇六七		
株式會社 桃谷印刷所	同	株式會社 桃谷印刷所	同	四三、〇〇〇		
株式會社 大海堂	同	代表者 播本恒太郎	同	一〇〇、〇〇〇		
合資會社 東洋堂印刷所	同	合資會社 東洋堂印刷所	同	三〇、〇〇〇		
合資會社 吉岡印刷所	同	代表者 西原市一	同	元、七七		
合資會社 谷岡商會	同	合資會社 谷岡商會	同	五九、四〇〇		
合資會社 松本印刷所	同	代表者 松本繁藏	同	六四、六四七		
大東印刷株式會社	同	大東印刷株式會社	同	一〇六、一三六		
漢城圖書株式會社	同	漢城圖書株式會社	同	三三、四六一		
大養印刷所	同	大養 藤四郎	諸印刷	七五、〇〇〇		
大和商會印刷所	同	岩田龜太郎	帳簿印刷	二、一〇〇		
共盛堂印刷所	同	横山幸七郎	同	六七、三三〇		
田邊印刷所	同	田邊壽三郎	同	一〇、〇〇〇		
				三〇、〇〇〇		

五八〇

大正十三年製造高

品名 數量 價額

山口印刷所	同	山口瀧造	同	五八、〇〇〇		
京城印刷所	同	天野キヨ	同	八九、〇〇〇		
佐藤印刷所	同	佐藤石松	同	三三、四〇〇		
榮光堂	同	目良政之	同	四〇、〇〇〇		
仁川活版所	同	宮村常次	諸印刷帳簿	三三、〇〇〇		
築地活版所	同	秋山文夫	同	三三、〇〇〇		
日進社活版所	同	石坪榮太郎	同	四〇、〇〇〇		
近藤印刷所	同	近藤誠秀	諸印刷	二六、〇〇〇		
齋藤印刷所	同	齋藤金藏	同	三〇、〇〇〇		
群山印刷株式會社工場	同	群山印刷株式會社	同	三〇、〇〇〇		
木山印刷株式會社工場	同	木山印刷株式會社	同	二九、〇〇〇		
染川印刷工場	同	染川良吉	同	三三、〇〇〇		
片岡印刷所	同	片岡 義	同	二四、〇〇〇		
大邱印刷合資會社	同	代表者 吉武甲子男	同	一八、〇〇〇		
慶北印刷合資會社	同	代表者 橘半藏	同	三三、七六九		
西田印刷所	同	西田德太郎	同	二四、〇〇〇		
慶南印刷株式會社	同	慶南印刷株式會社	帳簿	元、九七五		
				四、六六七		

第九章 工産物

五八一

朝鮮の物産

五八二

株式會社川井印刷所	慶尙南道釜山府富平町	株式會社川井印刷所	諸印刷帳簿	六、〇〇〇
沙里院印刷所	黃海道鳳山郡沙里院東里	安田 靜雄	同	二五、〇〇〇
奥田洋行印刷所	平安南道平壤府旭町	奥田 延之助	同	七五、〇〇〇
株式會社光文社	同 新陽里	株式會社光文社	同	四五、五四一
吉田印刷所	咸鏡南道元山府海岸通	星子 又男	同	三〇、〇〇〇

コークス、煉炭 朝鮮總生産額

コークス、〇九四、六七八圓
煉炭、七九二、〇七七圓

工場名	所在地	經營者	品名	數量	價額
宮尾煉炭製造所	京畿道京城府古市町	宮尾 幸治	煉炭	四、七〇三	八四、六五四
京城電氣株式會社	同 本町	京城電氣株式會社	コークス	六、四四三	一六、八六〇
三菱製鐵株式會社	黃海道兼二浦	三菱製鐵株式會社	コークス	三、五六五	八九、三〇〇
朝鮮電氣株式會社	平安南道大同郡大同江面	朝鮮電氣株式會社	煉炭	五、九六二	九八、七三三
海軍燃料廠平壤鐵業部	同 寺洞	海軍燃料廠平壤鐵業部	煉炭	四、九一〇	七三、六五〇
朝鮮無煙炭株式會社	同	朝鮮無煙炭株式會社	煉炭	二四、二六七	四七、三六〇
會社鼓陽煉炭工場	江西郡東津面	會社鼓陽煉炭工場	煉炭	二、四四一	四三、九三七

石 炭 朝鮮總生産額二、九六一、二四七圓

工場名	所在地	經營者	品名	數量	價額
鳳山炭礦	黃海道鳳山郡文井面	鳳城炭礦株式會社	有煙炭	四、九四四	三五、三〇七
安州炭礦	平安南道安州郡立石面	明治礦業株式會社	同	四三、〇九一	三五、七三三
貞柏炭礦	同 大同郡大同江面	朝鮮電氣株式會社	無煙炭	一六、一六八	二一、八七八
海軍燃料廠平壤鐵業部	同 寺洞	海軍燃料廠平壤鐵業部	同	二九、七四四	八六、〇〇三
咸興炭礦	咸鏡南道新興郡加平面	帝國炭業株式會社	有煙炭	五、五三三	三五、一七一
生氣炭礦業所	咸鏡北道鏡城郡梧村面	生氣炭礦株式會社	有煙炭	三、三三三	一六、六六五
雞林炭礦株式會社	同 會寧郡雲頭面	雞林炭礦株式會社	有煙炭	一、九四〇	一、九四〇

製 墨 朝鮮總生産額一九、五五七圓

工場名	所在地	經營者	品名	數量	價額
海州製墨所	黃海道海州郡海州面	宋 源 弼	墨	三、〇〇〇	六、七四八

特産品製造家一覽表

京畿道			忠清道		
品名	所在地	經營者	品名	所在地	經營者
人蔘エキス	京城府	朝鮮總督府專賣局	海老田麩	仁川府本町	平山松太郎
同	京城府長谷川町五八	朝鮮製藥合資會社	柳行李	始興郡鷲梁津	高澤藤子
松之實飴	同 岡崎町二	朝鮮製菓株式會社	バスケット	同	同
金剛飴	同 本町二丁目八	龜屋商店	莞草花紋苴	江華郡河帖面陽五里	金永環
ハム	仁川府新町六二	松尾由松	喬桐花苴	同 華蓋面邑内里	洪在九
忠清道			忠清道		
天然炭酸水	京城府南山町一丁目	中原鐵臣	朝鮮紙	堤川郡錦城面浦前里	金仁植
柳行李	同 (京畿道)	邦須彌七	同	同 月林里	鄭惠源
バスケット	清州郡清州面市場町	同	同	同 綾江里	金禹錫
パテンレース	同 西町	井手正規	同	同 水下面婦山里	李鍾根
朝鮮紙	堤川郡錦城面下川里	喜云	同	同 錦城面月窟里	金錫濟
同	同 城内里	金鎮赫	包裝紙	同	鄭海
同	同	鄭文善	貯蓄袋	同 城内里	藤本福爾
同	同	同	栗羊羹	沃川郡沃川面金龜里	同

リンゴ羊羹 清州本町二丁目 野田ハナ
人蔘せんべい 同 四丁目 石井定吉
三色落雁 同 忠清南道 栗餛飩頭 清州本町五丁目 安東正

杞柳及同細工品	燕岐郡鳥致院面	益田正一	林檎カステラ	大田郡大田	中田一
同	同	清水敬三	寶樂饅頭	論山郡論山	柚木榮次
同	同	田岡有一	彌勒饅頭	同	中山繁雄
醬油	大田郡大田	辻謹之助	燒乾鮎	保寧郡熊川面	井上清
同	江原郡江景	荒卷幹治	同	同	金應時
皮革	大田郡大田	大田皮革株式會社	毛筆	禮山郡吾可面汾川里	吳英善
同	燕岐郡鳥致院	山澤福之助	晒海經	瑞山郡近興面	薛世鎮
藍浦硯	保寧郡大川面花山里	宋秉堯	木通細工	牙山郡溫陽面	橫山權作
鳥致院羊羹	燕岐郡鳥致院	國司岩次郎	くるみ羊羹	天安郡天安	志村松太郎
全羅北道			全羅北道		
朝鮮紙	鎮安郡上田面	柳在翼	朝鮮紙	全州郡全州	宋吉煥
同	淳昌郡淳昌面	李廷鴻	同	茂朱郡茂朱面	茂朱製紙組合
同	全州郡全州	湖南製紙工場	紙	淳昌郡淳昌面	李廷鴻
同	同	全州製紙工場	同	全州郡全州面	湖南製紙工場

五八六

苕	紙	全州郡全州面	全州製紙工場	茶	井邑郡笠岩面川原里	小川順助
雨傘	製油	同	湖南製油所	同	同	新綿里芹澤米次郎
藺	筵	同伊東面	朝鮮製筵株式會社	扇子、團扇	全州郡全州面	李正云
蓴	菜	金堤郡金堤面	野島善吉	同	同	李完鐘
同	同	同	石井龜太郎			

全羅南道

精工竹細工品	羅州郡羅州面	羅州工藝品製作所主	山崎喜造	棗島久治
綠綿	木浦府	朝鮮棉花株式會社	同	角健輔
棉油	同	朝鮮製油株式會社	羽二重及縮緬 鯛の花、鯛田敷 及鯛の磯卷	湊菊造
棉實	柏同	同	同	日下庄吉
鯨油	務安郡黑山面	東洋捕鯨株式會社	同	林田開雄
寒天	木浦府	木浦殖産株式會社	セメント瓦	朝鮮企業株式會社
罐詰	濟州島旌義面	高見罐詰株式會社	美草庭同	武田美喜造
清酒	光州郡光州面	光州酒造株式會社	櫻海老	鮮內漁業株式會社
蠟石細工品	海南郡門內面	青木佐市	靴下	島岡城一
椎茸	濟州島西中面	西部武十	タカール同	高山始

慶尙北道

紙

朝鮮紙	慶山郡龍城面松林洞	李友榮	杞柳製品	大邱府鳳山町	東洋杞柳株式會社
同	同	鄭乙守	鮑罐詰	盈德郡丑山面丑山洞	岩本衛內
同	同	張景道	同	慶州郡陽北面甘浦	龍野三之助
同	同	朴道重	開	盈德郡盈德面江口	橋本佐太郎
同	同	千善明	同	同	武田安秋
同	盈德郡盈德面江口洞	韓圭烈	タルル	金泉郡金泉面	柳田磯次郎
同	南石洞	文明琦	生	糸	片倉製糸紡績株式會社
同	南亭面長沙洞	金斗明	同	大邱府大鳳町	社大邱製糸所
同	知品面新安洞	俞致鎬	同	同	今組大邱製糸所
同	慶州郡山内面甘山里	孫銖喆	同	七星町	朝鮮生糸株式會社
同	同	李永久	果	錦町	大邱製糸合資會社
同	陽北面龍洞里	金振龍	同	七星町	黑川圓治
同	同	徐致和	同	同	倉島要平
同	陽南面新垈里	尹永穆	同	同	增井良太郎
同	川北面東川里	鄭斗洗	同	同	山田定一
安東麻布	安東郡安東面	安東麻布組合	同	同	松村泰輔
尙州紬	尙州郡尙州面	尙州機業組合	同	大鳳町	竹內嘉一郎
義城木綿	義城郡義城面	義城郡機業組合	同	同	妹尾廣吉
			同	東雲町	村井猶太郎

第九章 工產物

五八八

慶尙南道

五八九

同	同	同	同	同	同	同	浦	同	同	同	乾	乾	同	同	同	煮	タ
同	同	同	同	同	同	同	銚	同	同	同	鱒	海	苔	同	同	干	ル
同	同	釜山府南濱町	同	李	岡部萬藏	井上正光	稻垣新太郎	岡山野孫一	遠矢岐五郎	篠田實五郎	右橋政一	河東郡海苔漁業組合	野島七郎治	丹羽幸次郎	和久七	統營郡統營	昌原郡鎮海
河野トモ	飯沼久吾	山脇常治	上田熊次郎	植	綱の	花	同	同	千河豚	同	同	同	海鼠の鰯	同	同	廣島鰺網漁業組合	鎮海浴布工場
同	同	同	練雲丹	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	同	櫻
同	同	同	統營郡統營	同	同	同	同	同	釜山府南濱町	同	同	同	同	釜山府南濱町	同	同	干
原田綱治	砂原吾市	佐藤順次郎	河内鯉次郎	島田芳太郎	沖野茂吉	末次亮吉	井上清人	南海郡彌助	岡野孫市	原田綱治	砂原吾市	佐藤順次郎	河内鯉次郎	荒木與四郎	津村徳市	原田綱治	岡部萬藏

朝鮮の物産

鮎の粕漬	密陽郡密陽	同	豊瀬五三郎	同	鮎ウルカ	密陽郡密陽	同	豊瀬五三郎
馬浦の雪	馬山府元町	同	土肥庄作	同	果	密陽郡三浪津	同	三浪津果物同業組合
鯛味噌	馬山府	同	三輪信次	同	梨	金海郡大渚面	同	大橋太一
貝細工	東萊郡南面	同	川村萬次	同	同	同	同	藤井實
雲丹煎餅	釜山府南濱町	同	泊金兵衛	同	同	同	同	林省三
沙魚甘露煮	馬山府	同	工藤清之助	同	同	同	同	今井四郎
鹽鮎	密陽郡密陽	同	豊瀬五三郎	同	同	金海郡駕洛面	同	植田義夫

五九〇

平安南道

無煙炭	大同郡秋乙美面寺洞	海軍燃料廠	同	同	同	同	同	同
セメント、石炭	江東郡曉達面勝湖里	小野田セメント株式會社	同	同	同	同	同	同
砂糖	大同郡大同江面船橋里	大日本製糖株式會社	同	同	同	同	同	同
清酒	平壤府黃金町	齊藤酒造合名會社	同	同	同	同	同	同
鑄鐵製品	同柳町	合資會社丸鑄商行	同	同	同	同	同	同
煉炭	大同郡大同江面船橋里	朝鮮株式會社	同	同	同	同	同	同
洋襪	平壤府下水口里	大元商會	同	同	同	同	同	同

平安北道

麻布	陽德郡溫泉面溫井里	尹承權	同	同	同	同	同	同
明紬、生紬	成川郡	南源里織物組合	同	同	同	同	同	同
鐵鑛	同	德岩里機業組合	同	同	同	同	同	同
朝鮮紙	价川郡外西面	株式會社日本製紙	同	同	同	同	同	同
朝紙	孟山郡封仁面	製紙生産組合	同	同	同	同	同	同
同	平壤府橋口町	西昌ゴム工場	同	同	同	同	同	同
同	同	正昌ゴム工場	同	同	同	同	同	同
白色陶器	大同郡古平面西城里	大同ゴム工業所	同	同	同	同	同	同
官紗	平壤府若松町	福莊製陶所	同	同	同	同	同	同
同	平壤府下水口里	金景彬	同	同	同	同	同	同
同	安州郡安州面栗山里	斐義貞	同	同	同	同	同	同
同	安州郡安州	金時元	同	同	同	同	同	同
高麗製織品	鎮南浦府	富田儀作	同	同	同	同	同	同
平壤牛結肉	平壤府柳町	山田關三郎	同	同	同	同	同	同
同	同	西鮮物産商會	同	同	同	同	同	同
同	同	池田商會	同	同	同	同	同	同

五九二

[illegible]

五九四

黃海道

京畿道

全羅北道

鎮安郡製紙業組合

茂朱郡製紙組合

高敞郡製紙組合

錦山人蔘組合

井邑郡苧布組合

高敞郡苧布組合

南
道

光州機業組合

同福産業組合

製右
水
造營
蠟
組石
細
合丁

濟州島鷄卵移出組合

北
道

義城郡機業組合

慶州郡製紙組合

松林洞製紙業組合

五九六

鎮安郡製紙業組合

茂朱郡製紙組合

高敞郡製紙組合

錦山人蔘組合

井邑郡苧布組合

高敞郡苧布組合

南
道

光州機業組合

同福産業組合

製右
水
造營
蠟
組石
細
合丁

北
道

義城郡機業組合

慶州郡製紙組合

松林洞製紙業組合

江原道

該當組合なし

咸鏡南道

該當組合なし

咸鏡北道

陶器生産	鏡城郡朱南面七郷洞	七郷洞陶器組合	海産物出荷	慶興郡雄基面雄基洞	雄基海産商組合
同	明川郡上古面開心洞	七寶山陶器組合	同	清津府	清津海産物輸出組合
同	會寧郡雲頭面城南洞	城南洞陶器組合	海産物販賣幹旋	同	清津開鱈組合
同	鳳儀面五柳洞	鳳儀面陶器組合	硯生産	鏡城郡鏡開面周山洞	鏡城硯共同製作組合
海産物生産	慶興郡芦西面土里洞	黃魚浦漁業組合	製材及販賣	清津府	清津材木商組合

黄海道

苹果梨生産販賣	海州郡海州	海州郡果樹組合	苹果梨生産販賣	黃州郡黃州	黃州郡果樹組合
同	黃州郡黃州	黃州郡苹果組合			

第二節 工產品産額

朝鮮に於ける工產品の種類、並に工場等に就いては大體の説明をしたから、各種工產品の併合以後に於

ける累年産額、及び各道別産額を左に示して見やう。これに依りて見ると、年産額百萬圓以上のものは、繭製品、織物、編物組物、紙及び紙製品、窯業製品、金屬製品、木器品、竹製品、筵蓆、其の他藁製品、冠物、朝鮮麻鞋、布帛製品、農具、車輛、酒類、内地醫油、麵子、穀粉、乾麵類、飴、菓子、瓶詰罐詰、乾海苔、煙草、皮革製品、護謨製品、植物性脂油、藥劑、コークス、肥料、砂糖等である。

工產品産額統計

品目	明治三十四年	大正元年	同二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年	同八年	同九年	同十年	同十一年	同十二年	同十三年	同十四年
繭製品	五、五八〇	六、二八〇	六、三六六	六、六五五	八、〇九五	一三、二六五	三、九七五	三、〇〇三	二〇、五五五	三、六七四	三、四八八	二五、〇五三	二四、〇九〇	二四、〇九〇	二四、〇九〇
織物	一、一七〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇
編物組物	一、一七〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇	一、一六〇
紙及び紙製品	四、三三〇	五、〇九〇	五、〇九〇	五、〇九〇	五、〇九〇	五、〇九〇	五、〇九〇	五、〇九〇	五、〇九〇	五、〇九〇	五、〇九〇	五、〇九〇	五、〇九〇	五、〇九〇	五、〇九〇
窯業製品	一、二六六	一、二六六	一、二六六	一、二六六	一、二六六	一、二六六	一、二六六	一、二六六	一、二六六	一、二六六	一、二六六	一、二六六	一、二六六	一、二六六	一、二六六
金屬製品	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七
機械類	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七
金銀製品	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七
石製品	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七	一、一八七
木器類	四、三三〇	五、〇九〇	五、〇九〇	五、〇九〇	五、〇九〇	五、〇九〇	五、〇九〇	五、〇九〇	五、〇九〇	五、〇九〇	五、〇九〇	五、〇九〇	五、〇九〇	五、〇九〇	五、〇九〇

六〇〇

漆器	二	一三	二	一四	二〇	三一	四三	一三二	一四九	一九八	二三	二〇九	二二	二〇〇
竹製品 (櫛を含む)	一	七三	八〇	八二	九三	九五	一〇八	四四三	六九四	二四四	五九六	八二五	一、〇四八	一、三三〇
杞柳、木通、藤、荻、蓆等の製品	一〇〇	七三	六六	六七	八五	一二八	一五二	二三一	四〇〇	六四六	四三九	六〇六	四九四	五〇三
蓆、其の他	三五五	四六三	六六	六四	六二	七四三	九九五	二、一五五	三、四九七	二、七五一	二、六五七	二、六〇一	二、七七一	二、四八六
薬製品	六九	一	一	一	七、三八	九、五九	一二、二七	一六、五七六	二六、四七二	三三、六二二	三二、四六四	三〇、三五四	三〇、二〇八	一九、二三四
筆	六	一	七	九	五	五七	七三	一二五	二六	二四三	二七四	一五九	一五〇	一四八
墨	五	一	二	七	九	四	五	一六	五七	一九	一九	一二	三三	一九
冠物	三三	一	三三	三八	四七二	六〇三	六九〇	一、〇九六	一、七五〇	一、四八八	一、三五五	一、四三三	一、八四〇	一、四七九
内地草履	一	一	八	三	二三	五一	四八	一三三	一〇五	二八	六七	六三	六	六三
朝鮮麻鞋	一、六七	一	一	一	一	一	一	二、七六	五、七九	五、三六八	三、六七	二、六九九	二、〇八四	一、七〇二
布帛製品	二六三	一	六七	九四	四、六五	六、九八	二、三八六	一六、四三四	元、五四	二五、〇八	二四、三五	二二、五九三	二二、四九四	一九、五六三
鉦	一	一	一	一	二	二一	三三	四四	四八	三〇	三五	四一	一三	一八
玩具具	一	一	一	一	一	一	一	三	八	九	一	一	一	一
農具	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
金、銀製品を 除く	四〇九	六二〇	六六	六四	六五	八八五	一、一八六	七五八	一、三九四	一、〇八八	一、一七三	一、〇〇三	一、一〇〇	一、二九七
養蠶具	一	一	七	一八	三	五四	九	一八八	四二五	四〇七	二五九	二四六	二四二	二三八
牛馬具	一	一	一	一	一	一〇四	一〇二	一六六	二四〇	二二六	二三七	二二三	二三〇	二二九
(皮革製品な 除く)	一	一	一	一	一	一〇四	一〇二	一六六	二四〇	二二六	二三七	二二三	二三〇	二二九
漁具	一六	一	四七	六九	六九	六五	一一九	一五八	二四九	三〇四	三三一	一八〇	三六二	三七二
網地	一	一	二五	二六	二八	三〇	三三	六〇〇	六〇一	四六九	六四二	七九五	八八	七八

六〇一

車	輔	一七	一	二八五	一三	二〇	一五三	三三〇	六六	五九七	六五一	一、九九三	一、三六四	二、二六	一、六六三
船	船	一九三	一	一七六	一九二	二三三	一九五	三九一	六四一	八七三	四七九	五五六	五六四	八九五	八一〇
酒	麵	二〇、四二	七九四	三八六	四〇六	一四、六四	二、九一	一六、五三	二五、八七三	四三、七九三	四、五八九	四〇、六四〇	四五、七四	四五、三七六	五七、三七
酢		一	一	一	一	二	五四	七〇	一五五	二〇八	三二一	二五五	四四六	三二四	三五一
內地醬油		七三	八〇六	九三	一〇八八	九二	八二四	一、〇九一	一、三三九	二、〇〇七	二、一一〇	三、五八五	二、六七三	二、〇七五	二、六四七
內地味噌		一四二	二五〇	一六〇	二二七	二三八	二四〇	三三五	七五一	一、一四六	八九四	八三三	九〇三	九八	九二一
麵	子	一	一	一	一	一	五〇	五九	二一八	一六	八九	九二	一六七	一五九	三五四
穀粉	粉	二九五	四五四	六七四	一、七六	二、四四	三、八六九	六、八九	九、一三八	八、七五六	九、四〇三	一〇、四四二	一〇、四四五	一二、一〇六	一二、一〇六
澱粉	粉	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
乾麵類		六四三	二六四	三〇八	二七二	一九五	三五八	五九六	七六二	六〇五	八七五	七五〇	九〇四	一、一〇〇	一、一〇〇
餛	子	一	一	一	一、三五	一、三〇八	一、八八〇	二、三三	七、六〇〇	四、三九九	四、三二二	四、九三一	五、七五三	六、〇三九	六、〇三九
菓	子	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
蜂	蜜	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
瓶詰罐詰		二六	一七〇	二五六	二〇四	一三〇	二二九	三七六	四九二	五三二	五五六	四三六	七六一	一、〇九二	一、〇九二
ハム		一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
清涼飲料		四二	四二	六四	七一	六七	八〇	九六	一二三	二五八	二七九	三六	三三	三七六	四五一
乾海苔		一	四三	八四	一〇九	一九〇	一七三	四〇三	四三五	七五六	七〇二	一、五〇〇	一、五二三	一、七八四	一、七八四

[illegible]

コークス									二六	九四	二〇四	一〇四	一、五三二	二、七四〇	一、〇九九
煉炭											五六九	六九八	一一、三七	一、三四二	七九二
肥料	云	一二	二〇七	二〇九	九三	七七二	一、九八八	一、九五九	二、四七〇	二、七四五	三、七〇〇	一、〇四〇	七一、五二	八、六〇二	
石粉						二八	一七三	一二三	七二	三五	一五五	二二五	一七	一九八	
凍豆腐										二六			二七	三〇	一八
コールタール										二	二〇	一三	一六一	二〇六	
瓦斯											三六二	四六〇	四四四	四七九	
萬年筆											五〇				
綿絲													一、四八一	二、七二	
砂糖											八三三	四、四七	六、〇八五	一〇、五九	
その他		九	三	六三	四	三〇	二五九	一二三	二九四	一八五			一三四	三三三	
合計	三〇、九四	一七、三六七	九〇〇元、六三	五、五一	六、一九三	九七、二四八	一六、二四二	二六、二三	三三、三三	四四、五三八	四〇〇	二五七、四一六	二六一、五五六	二七六、八六二	

備考 一、明治四十三年調査を缺ぐ

二、本表中(一)を附したるものは特殊の事由に依り調査を缺きたるもの又は生産なきか若くは重要品種と認めずして調査を爲さざりしもの及び産額寡少なりし爲め其の他に含ましめたるものとす

三、明治四十四年の生産額が同年の總督府統計年報と異なるは柞蠶絲、麻絲、綿絲、打綿、繰綿、朝鮮味噌、朝鮮醬油等の四十五年以降調査を爲さざりし品種を除外したるに依るものとす

四、合計が内容と符合せざるは千圓未満切捨の關係に依る

工産品道別産額表 大正十三年

種別	京	畿	忠	北	忠	南	全	北	全	南	慶	北	慶	南	黄	海	平	南	平	北	江	原	咸	南	咸	北	計
繭製品	七五	九	九	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
織物	一五五	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
編組物	四三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
紙及紙製品	一、五七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
窯業製品	一、四〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
金屬製品	七、〇七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
機械類	三三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
石器類	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
木製品	二、五五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
漆器	二	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
竹製品	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
柳製品	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
柘柳木通藤萩等製品	七	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
芭蕉其の他	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
筆	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
墨	四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

種別	京	畿	忠	北	忠	南	全	北	全	南	慶	北	慶	南	黄	海	平	南	平	北	江	原	咸	南	咸	北	計
冠物	四三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
内地草履	一三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
朝鮮麻鞋	三〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
布帛製品	六、〇一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
鈕釦	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
農具	一三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
養蠶具	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
牛馬具	一四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
漁具	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
漁網	三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
車輻	七三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
船舶	七三	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
酒類	七、七五	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
酢	一八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
内地醬油	一、六〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
内地味噌	五〇	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
麵粉	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
穀子	四八	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
穀粉	二、四四	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

第三節 工産品の貿易

朝鮮に於ける製造工業は未だ其の發達が幼稚なる爲めに、その輸移出額、僅少であるが、これに反して輸移入額は巨額に達して居る。而して輸移出品の大部分は食糧品又は原料であるが、輸移入品は主として綿絲布、雜貨、機械、器具、車輛、金屬等の粗製品である。

工産品輸移出統計

罐詰及び罐詰食物

年次	數量	價額	年次	數量	價額
大正二年	四、九五五斤	八、九六五円	大正九年	六、四四四打	三、五三七円
同三年	五、四〇三	一三、一二六	同十年	一〇、三三三	三、八、三六九
同四年	二、八八四	六、〇三〇	同十一年	一五、八五一	五、三八、〇六一
同五年	三、六六四	七、七九五	同十二年	—	七二、〇五八
同六年	八、〇〇四	二七、六六三	同十三年	—	九、五八、二九六
同七年	七、四二〇	四〇、一八四	同十四年	—	八七三、一九五
同八年	五、四六八	二六、四七〇	昭和十五年	—	—

蒲 鉾

年次	數量	價額	年次	數量	價額
大正五年	三、八八四斤	九、七〇七円	大正十一年	六、二二七斤	三、八、九八五
同六年	八、三七四	二〇、〇八二	同十二年	七、三六三	二七三、二〇五
同七年	一〇、二四〇	三、五七四	同十三年	六、一七三	二五八、一五九
同八年	二、六、四一六	四、九五九	同十四年	九、三三六	三三、六六七
同九年	三、九、九七	九、八八一	昭和十五年	—	—
同十年	五、九、四四	一八、四八三	—	—	—

清 酒

年次	數量	價額	年次	數量	價額
明治四十三年	三、七五五斤	四、六四九円	大正五年	四、二、九四四	一、二、六二一
同四十四年	一、四、二二七	二、六六九	同六年	四、六、四六五	一、六、九〇〇
大正元年	一、三、一六六	三、〇八七	同七年	九、九、八四一	五〇、八八二
同二年	一、六、六五三	四、三三三	同八年	一四、〇一六	一一、六〇三
同三年	一、九、五九九	五、六三三	同九年	七、六、六六	八、八七二
同四年	三、五五九	九、八八五	同十年	一六、九、三三四	一五、七三三

第九章 工産物

朝鮮の物産

大正十一年 三〇、五五
同十二年 一六、七四
同十三年 三六、六三

一八三、九四六
一五、七〇五
二〇四、五〇六

大正十四年
同十五年
昭和元年

六一〇
一五、一六七

一五八、〇三六

醬

年次
明治四十三年 三三、七九
同四十四年 三三、五五

一五、八〇三
一六、元三

大正八年
同九年
同十年

三六、三六
三〇、八七

一六、七三七
一六、六九

大正元年 二六、八四
同二年 八、七三

一三、六五
一五、六五

同十一年
同十二年
同十三年

二四、九六
三三、三三

一六、三五
一〇、五〇六

同四年 一七、三〇
同五年 一八、二六

二四、六六
二六、四〇

同十四年
同十五年
昭和元年

二八、九三
三七、五九

一三、六〇
一六、三六

同六年 三三、八四
同七年 二九、九五

五九、七二
八、七六

同十四年
同十五年
昭和元年

二八、九三
三七、五九

一三、六〇
一六、三六

穀

年次
大正十二年 六七、九八

二六、九八

大正十四年

三三、三〇

一六、〇二三

同十三年

砂

年次
大正十年 一〇、三〇

二〇、〇〇

大正十三年

二九、九三

五、九一

同十一年 七、三三

七九、五二

同十四年

二五、五〇

四、五三

紅

年次
明治四十三年 三〇、六元

一七、九三

大正七年

三〇、九六

一、七二

同四十四年 一、〇六

六、四〇

同八年

三三、三五

一、七〇

大正元年 三、三〇

二五、一九

同九年

二六、六〇

一、五〇

同二年 八、二四

五〇、七六

同十年

三六、〇〇

二、七三

同三年 八、〇四

四九、六三

同十一年

三三、九三

一、六三

同四年 一九、一五

一、三四、八元

同十二年

四〇、二四

二、三四

同五年 二九、一八

二、二七、七三

同十三年

四〇、七九

一、九三

同六年 四六、九七

一、八三、〇四

昭和元年

三〇、七四

一、七四

第九章 工産物

六一一

生絲

年次	数量	價額
大正五年	六、三三三	六三、〇〇〇
同六年	六、三三三	八四、一七〇
同七年	四四、〇〇〇	六四、三六四
同八年	二七、三六八	二、〇七七、三〇七
同九年	一四、二二五	二、四一六、〇四二
同十年	三三、三六八	二、七〇一、三三三

雑穀

年次	数量	價額
大正三年	八、八三三	一九、〇〇九
同四年	二九、四八六	四六、八六六
同五年	一七、六四三	二八、四三三
同六年	四、五八三	八、五八〇
同七年	一四、五七九	四九、五三三
同八年	七、八七九	六二、七七七

生絲

年次	数量	價額
大正十一年	三、四六二	三、六九、四三四
同十二年	三、七六七	六、一五三、七六八
同十三年	四〇、九四三	七、二六六、九三三
同十四年	四九、八七三	八、六八〇、〇三三
昭和十五年		

雑穀

年次	数量	價額
大正九年	四、三九九	三七、八八〇
同十年	一、五八四、〇四五	一〇、四四四、三八八
同十一年	一、二五、七三三	一〇、一〇七、三六六
同十二年	一、六五三、九六六	一六、七七八、五九九
同十三年	一、二六六、三六六	二、四四八、六六六
同十四年	一、八三四、六三三	一八、三二一、二七七

麻布

年次	数量	價額
大正二年	二、五九三	九、六九一
同三年	二、一五九	三、一五〇
同四年	七、三六七	二五、四四四
同五年	一六、六六七	二一、四四一
同六年	二七、三六八	二九、〇三三
同七年	三三、七三三	四三、〇八六
同八年		九三、一七四

綿布

年次	数量	價額
大正九年	一、二二三、八八九	三、四九、四七七
同十年	五、〇九、九六一	一、五五七、三三七
同十一年	四、八六、八五三	一、五五三、二九三
同十二年		一、四四四、八三〇

麻布

年次	数量	價額
大正九年	八、四四五	三七、八八六
同十年	五、七三〇	七五、四三三
同十一年	三三、二五八	一〇二、六四四
同十二年	二九三、八四四	八七、二四七
同十三年	一九六、九九四	六三、九一一
同十四年	一六〇、九七七	八一、七三三
昭和十五年		

綿布

年次	数量	價額
大正十三年	三、〇二七、九六六	一、一二三、四三三
同十四年	二、八九二、〇〇三	一、三三六、八三三
昭和十五年		

年次		毛		皮		熟皮	
年次	数量	年次	数量	年次	数量	年次	数量
明治四十三年	三八、〇八四	明治四十三年	一六、四四四	明治四十三年	一六、四四四	明治四十三年	一六、四四四
同四十四年	四四、〇〇六	同四十四年	一六、四四四	同四十四年	一六、四四四	同四十四年	一六、四四四
大正元年	三三、四三三	大正元年	一六、四四四	大正元年	一六、四四四	大正元年	一六、四四四
同二年	八〇、二九三	同二年	一六、四四四	同二年	一六、四四四	同二年	一六、四四四
同三年	一〇五、〇三三	同三年	一六、四四四	同三年	一六、四四四	同三年	一六、四四四
同四年	九四、八五一	同四年	一六、四四四	同四年	一六、四四四	同四年	一六、四四四
同五年	一九、一九三	同五年	一六、四四四	同五年	一六、四四四	同五年	一六、四四四
同六年	一八、三三七	同六年	一六、四四四	同六年	一六、四四四	同六年	一六、四四四
同七年	三九、三三〇	同七年	一六、四四四	同七年	一六、四四四	同七年	一六、四四四
大正三年	一八、六四四	大正三年	一六、四四四	大正三年	一六、四四四	大正三年	一六、四四四
同四年	六、四三三	同四年	一六、四四四	同四年	一六、四四四	同四年	一六、四四四
同五年	六、四三三	同五年	一六、四四四	同五年	一六、四四四	同五年	一六、四四四
同六年	六、四三三	同六年	一六、四四四	同六年	一六、四四四	同六年	一六、四四四
同七年	六、四三三	同七年	一六、四四四	同七年	一六、四四四	同七年	一六、四四四
同八年	六、四三三	同八年	一六、四四四	同八年	一六、四四四	同八年	一六、四四四
同九年	六、四三三	同九年	一六、四四四	同九年	一六、四四四	同九年	一六、四四四
同十年	六、四三三	同十年	一六、四四四	同十年	一六、四四四	同十年	一六、四四四
同十一年	六、四三三	同十一年	一六、四四四	同十一年	一六、四四四	同十一年	一六、四四四
同十二年	六、四三三	同十二年	一六、四四四	同十二年	一六、四四四	同十二年	一六、四四四
同十三年	六、四三三	同十三年	一六、四四四	同十三年	一六、四四四	同十三年	一六、四四四
同十四年	六、四三三	同十四年	一六、四四四	同十四年	一六、四四四	同十四年	一六、四四四
同十五年	六、四三三	同十五年	一六、四四四	同十五年	一六、四四四	同十五年	一六、四四四
昭和元年	六、四三三	昭和元年	一六、四四四	昭和元年	一六、四四四	昭和元年	一六、四四四

年次		皮革製品	
年次	数量	年次	数量
同六年	五〇、五五二	同十三年	九四、七八
同七年	一七、四四〇	同十四年	一〇、八七
同八年	一〇、四三二	同十五年	一〇、八七
同九年	四、七六	昭和元年	一〇、八七

年次		紙煙草	
年次	数量	年次	数量
大正三年	六五、〇〇〇	大正十年	二六、二四二
同四年	二、〇三三、五〇〇	同十一年	九、三四六
同五年	三、二九、二七〇	同十二年	一四、八七九
同六年	一、三八、〇三二	同十三年	七、四六六
同七年	三、〇、七六二	同十四年	六、四三六
同八年	二、九三、二〇四	同十五年	六、四三六
同九年	九、七五五	昭和元年	六、四三六

年次		紙煙草	
年次	数量	年次	数量
明治四十三年	三、五九〇	明治四十四年	三、三〇〇
同四十四年	三、三六六		六、一五

朝鮮の物産

年次	数量	価額	年次	数量	価額
大正元年	一九七五	三、六六	大正九年	六二六	一、七七一、八〇
同二年	一三八二	一九、〇五九	同十年	一六三、六五三	七二、九七
同三年	一四〇、五五三	二六、七五九	同十一年	二七、六八	一三、九六
同四年	一九四、五〇	二八、三九八	同十二年	一三	一六
同五年	二九六、六二	五九、五九九	同十三年	一三	二二
同六年	二九六、六二	六七、四八三	同十四年	五	五
同七年	八四六、六二	一、九四九、九八	昭和元年		
同八年	七三七、三七	二、三六六、四三五			

朝鮮紙

年次	数量	価額	年次	数量	価額
明治四十三年	三三、七五	九、五七	大正八年	三〇一、三四	二四、八三
同四十四年	二八、六四	一〇、八三三	同九年	一五、一三	一五、八四
大正元年	二四、二	九、九〇三	同十年	三三、九六	一八、一三〇
同二年	三三、六四	一三、六八	同十一年	一九、五五	一五、四三
同三年	二〇、四四	九、〇三四	同十二年	一七、七〇	一四、六二三
同四年	三〇、一四三	一〇、八三八	同十三年	一七、六六	一三、〇四四
同五年	三三、五九四	一三、六六〇	同十四年	一八、〇一一	一三、四六九

製紙用バルブ

年次	数量	価額	年次	数量	価額
同六年	三六、六五	一四九、四四〇	昭和十五年		
同七年	二〇、三〇	一六、〇六五			

年次	数量	価額	年次	数量	価額
大正七年	三、八九七、六八	一、〇七、八三	大正十二年	三、二四六、六四	三五、三〇

年次	数量	価額	年次	数量	価額
同八年	一五、四六八、一四八	三、三三七、七〇	同十三年	二、八四五、八七四	二五、〇八
同九年	一三、五三、四四	二、〇八、五三	同十四年	六、六七七、四七六	七六、〇六
同十年	一八、五二、三四五	二、三〇四、五五	昭和十五年		

セメント

年次	数量	価額	年次	数量	価額
大正十年	三三、六三	九四三、六九	大正十三年	一、〇七、三五	八六、九
同十一年	一九、〇一七	五三、六〇三	同十四年	一、〇一七、五五	一九九、〇八七
同十二年	六、六三	二九、六二	昭和元年		

陶磁器

朝鮮の物産

年次	数量	価額
大正十二年	1	三七、五〇
同十三年	1	五五、〇三

硫酸安母尼亞

年次	数量	価額
大正五年	七、八六	八二、七九
同六年	六、三三	八三、五五
同七年	一五、二五	二九、三三
同八年	二五、四〇	四三、七〇
同九年	四五、四〇	六〇、九〇
同十年	二七、七六	三〇、五五

工産品輸入統計

小麦粉

年次	数量	価額
明治四十三年	五、九三、三三	三三、四九
大正八年	三、二四、〇七	三、五八、五五

年次	数量	価額
同四十四年	二、三三、〇七	六四、七三
大正元年	二、〇七、七〇	一、三〇、七四
同二年	三、五七、六四	一、九六、四四
同三年	二、六四、四〇	一、三三、〇六
同四年	一、〇六、〇七	六三、七二
同五年	一、三六、九七	八四、六三
同六年	一、三三、三三	一、〇三、三五
同七年	一、六六、二七	一、八七、四六
同九年	二六、三一、九五	三、七四、九八
同十年	一九、一〇、三三	二、〇五、七四
同十一年	三、七六、四二	二、三三、七九
同十二年	二九、四三、八七	二、九八、三三
同十三年	四五、五五、四五	四、九〇、六二
同十四年	四八、三〇、四四	六、六五、七五
昭和元年		

砂糖

年次	数量	価額
明治四十三年	一、一六、一五	八三、三六
同四十四年	一、六〇、三三	一、〇七、九三
大正元年	一九、二九、九五	一、五六、四六
同二年	二二、四二、〇五	一、七〇、七五
同三年	二〇、七九、五五	一、五〇、六〇
同四年	一六、〇九、〇七	一、五四、二五
同五年	一七、四八、〇八	一、八八、五七
大正六年	一九、四五、八一	二、〇三、六〇
同七年	二七、二八、八五	三、三四、五二
同八年	二四、五四、〇九	四、〇八、八四
同九年	二四、二九、三六	四、二七、四一
同十年	一九、七七、三三	四、四三、八七
同十一年	三、八五、二四	四、四九、〇四
同十二年	五、六六、四六	四、九五、二六

第九章 工産物

朝鮮の物産

大正十三年 五、八三、八六四
同十四年 四九、〇六一、九三五

六、七九、六、七
五、八七、一八四

大正十五年
昭和元年

六二〇

菓子

年次 数量 価格

大正三年 三、七三〇
同四年 六、八八八
同五年 八五、五四四
同六年 一二、四四四
同七年 一三、二二七
同八年 二五、一四三
同九年 四七、六三

年次 数量 価格

同十年 三、七三〇
同十一年 六、八八八
同十二年 八五、五四四
同十三年 一二、四四四
同十四年 一三、二二七
昭和十五年 二五、一四三

同十五年 四七、六三

茶

年次 数量 価格

明治四十三年 三九、七〇
同四十四年 二九、〇〇
大正元年 三六、七六

年次 数量 価格

大正八年 三九、七〇
同九年 二九、〇〇
同十年 三六、七六

同十年 三六、七六

同二年 三六、九〇一
同三年 三六、九〇一
同四年 三六、九〇一
同五年 三六、九〇一
同六年 三六、九〇一
同七年 三六、九〇一

同十一年 三六、九〇一
同十二年 三六、九〇一
同十三年 三六、九〇一
同十四年 三六、九〇一
昭和十五年 三六、九〇一

コンデンスド、ミルク

年次 数量 価格

明治四十三年 四六、九三
同四十四年 四六、九三
大正元年 四六、九三
同二年 四六、九三
同三年 四六、九三
同四年 四六、九三
同五年 四六、九三
同六年 四六、九三
同七年 四六、九三

年次 数量 価格

大正八年 四六、九三
同九年 四六、九三
同十年 四六、九三
同十一年 四六、九三
同十二年 四六、九三
同十三年 四六、九三
同十四年 四六、九三
昭和十五年 四六、九三

同十五年 四六、九三

第九章 工産物

明治四十三年 四六、九三
同四十四年 四六、九三
大正元年 四六、九三
同二年 四六、九三
同三年 四六、九三
同四年 四六、九三
同五年 四六、九三
同六年 四六、九三
同七年 四六、九三

大正八年 四六、九三
同九年 四六、九三
同十年 四六、九三
同十一年 四六、九三
同十二年 四六、九三
同十三年 四六、九三
同十四年 四六、九三
昭和十五年 四六、九三

六二一

朝鮮の物産

酒

精

年次	數量	價額	年次	數量	價額
明治四十三年	二六、七九七	二六、四三	大正八年	二四六、四三	二〇一、四三
同四十四年	六四〇、四七五	八六、六三	同九年	一九三、三六〇	一八九、九七五
大正元年	一、二九二、五三六	一五八、三三〇	同十年	六八、四三〇	五、六〇三
同二年	二、〇七二、五五三	二五八、〇六五	同十一年	二九七、三三〇	五三、二九
同三年	一、九二〇、八四三	二八、一六二	同十二年	二二、三六一	五二、〇五
同四年	一、〇八〇、一二七	二九、五三三	同十三年	三六、二四九	六三、五〇三
同五年	一九一、七七	三三、〇〇四	同十四年	二七五、一五	六、九七
同六年	三三、五三八	一〇一、九四	昭和十五年		
同七年	五九、三六六	二四、三三	昭和十五年		
明治四十三年	二、七九二、二六	七五、〇七	大正八年	二、六〇五、一二	一、五八、〇三
同四十四年	二、九八七、二六	七七、九四	同九年	一、七九、九六	一九二、五元
大正元年	三、三九、二九	九四、一六	同十年	一、九八、五七九	二、一六四、七〇

清

酒

年次	數量	價額	年次	數量	價額
明治四十三年	二、七九二、二六	七五、〇七	大正八年	一、四五六、九九九	一、七六八、五四九
同四十四年	二、九八七、二六	七七、九四	同九年	一、五九六、五八九	一、七五五、五六四
大正元年	三、三九、二九	九四、一六	同十年	一、四四四、六二	一、六四四、五五
同二年	三、一六、〇八	九二、五八〇	同十一年	一、一七、四九九	一、三三、八七〇
同三年	二、七九二、二六	八〇、四九五	同十二年		
同四年	二、三三、六三	九〇、四三	同十三年		
同五年	二、九二六、四六	八八、九一六	同十四年		
同六年	二、五八二、四九八	八六、八七四	昭和十五年		
同七年	二、三九八、八四三	九二、三〇	昭和十五年		

麥

酒

年次	數量	價額	年次	數量	價額
明治四十三年	一、四八、二九八	二七、六五	大正八年	一、七五四、七三	一、一七、三三
同四十四年	一、四九二、一七四	三三、一〇五	同九年	一、七四三、三九二	一、三三、二七六
大正元年	一、七〇一、四〇一	三七八、八〇一	同十年	一、七四四、五三六	一、七〇一、一六二
同二年	一、八六〇、七七一	四三、四一五	同十一年	三、六〇六、八七七	一、九八九、八〇一
同三年	一、九三三、三三	四四、五四九	同十二年	三、六九九、五五	一、七三、七八五
同四年	一、七八六、五九	四七、〇三	同十三年	三、六二一、一九	一、六五、〇九一
同五年	一、八四八、八三	四三〇、一九	同十四年	三、六六二、八五	一、七三、八三九
同六年	一、〇五五、三三	四七、四七六	昭和十五年		
同七年	一、一七、六六	六三、三三	昭和十五年		

第九章 工産物

朝鮮の物産

六二四

醬油

年次	數量	價額
明治四十三年	二、七七一、九三	一四、一五三
同四十四年	二、八八七、九二	一四、七〇九
大正元年	二、九八八、三六	一五、〇一〇
同二年	六、六七八	一四、七四三
同三年	五、九八〇	一四、〇〇六
同四年	五、三三三	一三、二九〇
同五年	四、九三九	一三、〇四七
同六年	三、九三三	九、五七一
同七年	三、六二二	八、四六一

清飲料

年次	數量	價額
大正六年	四、二一五	一三、七三
同七年	三、四七六	一三、三七
同八年	五、六二五	二〇、四八六

年次	數量	價額
同九年	五、四四三	二五、一九二
同十年	六、〇三三	二七、八〇九
同十四年	七、六二〇	四二、九八八
同十五年		
昭和元年		

紙卷煙草

年次	數量	價額
明治四十三年	五、二四〇、九四〇	六、六八四、四二五
同四十四年	五、〇五、六六三	六、〇六、〇三三
大正元年	四、六五、〇五二	五、六、一三三
同二年	一、九四、一三三	二、八九、三四
同三年	四、六二二	一、六、八六六
同四年	三、二四六	五、四七、七六
同五年	三、九六六	五、八、五八四
同六年	四、三二四	一〇、八、二八二
同七年	二、七、五〇一	八、一、九一七
同十四年		
同十五年		
昭和元年		

賣藥

年次	數量	價額
明治四十三年		七、四二二
同四十四年		

第九章 工産物

六二五

一〇六、一九四

大正元年	同二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年	同八年	同九年
一六八、八八八	一四六、三五三	一五〇、五五六	一六〇、四三四	一七八、九五七	二六、〇七五	三三〇、二三三	五四九、〇七五	
大正九年	同十年	同十一年	同十二年	同十三年	同十四年	同十五年	昭和元年	
六〇九、八八〇	四九四、〇九五	五八八、五九七	八八〇、三三四	九六六、八六一	九五九、一七〇			

大正元年	同二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年	同八年	同九年
八三七、五四三	九五六、八二〇	一、〇四九、六五三	一、一六三、四七六	八二三、五二二	一、七〇、三八	九三八、八三四		
同十年	同十一年	同十二年	同十三年	同十四年	同十五年	昭和元年		
二五二、三七四	三二一、二四〇	三九三、三八九	四一七、七一五					

年次	數量	價額	年次	數量	價額
大正三年	四四〇、一七九斤	一五二、三七三	大正十年	九四八、四二一斤	六六六、七六四
同四年	四三、四九	一七、九八四	同十一年	九〇五、六二四	六三三、八五
同五年	六三、一七〇	三〇、九六六	同十二年	一、〇一一、二九八	六六二、四四三
同六年	六二、六六	五六、〇七一	同十三年	一、二七〇、九九六	九七五、二三
同七年	六七三、六二五	三三〇、五二	同十四年	一、二九六、二五	一、二九、八七九
同八年	八七一、四三七	五四四、三六	昭和元年		
同九年	六七〇、四四四	五八、六六二			
硫酸 ア ム モ ニ ウ ム					
年次	數量	價額	年次	數量	價額
大正十二年	一〇、三三五百斤	一一〇、四七	大正十四年	二四九、〇八〇百斤	三、〇一〇、四五二
同十三年	一〇三、四三	一、〇四、元〇	同十五年		
			昭和元年		

朝鮮の物産

年次	数量	価額	年次	数量	価額
明治四十三年	一、五三、八四七	三九、一三	大正八年	三、〇四、九三	一、四六、六四九
同四十四年	一、五二、八五五	四六、九七五	同九年	一、〇五、四七	一、〇五、三八
大正元年	一、八二、〇五四	四八、〇五一	同十年	一、七九、七三	一、三三、四三
同二年	二、〇九、二五	五五、四〇	同十一年	一、八六、四八	一、九四、一七
同三年	一、七〇、四五六	四〇、〇三	同十二年	二、二五、四四	一、四九、一七〇
同四年	一、八〇、七七八	五三、六四一	同十三年	二、九、六三	一、五九、七九
同五年	一、八〇、〇七一	八〇、八九九	同十四年	三、四、三五	一、六三、五五〇
同六年	一、六九、〇五五	六七〇、〇四	昭和元年		
同七年	一、八二、四六六	一、四四、二八一			

六二八

爆發物

年次	数量	価額	年次	数量	価額
明治四十三年	一	三、四、三九	大正八年	一	六三、九四三
同四十四年	一	二九、五八	同九年	一	六六、三九
大正元年	一	三〇、三六	同十年	一	六九、九三
同二年	一	三五、三〇	同十一年	一	八三、四六七
同三年	一	三〇、一四	同十二年	一	九六、七七

年次	数量	価額	年次	数量	価額
同四年	一	三二、〇七五	同十三年	一	四六、六六一
同五年	一	五四、四九二	同十四年	一	五八、八三五
同六年	一	一、〇四、二五五	昭和元年		
同七年	一	九七、三三七			

綿フランネル

年次	数量	価額	年次	数量	価額
明治四十三年	五五、八三	二〇、七	大正八年	七四、三三	四七、九七
同四十四年	七〇、三六	一三、四四	同九年	五九、二二	三九、三五
大正元年	八六、〇三六	一六、二四三	同十年	一、二三、四一八	四七、二二
同二年	六九、七三	一七、五五	同十一年	一、四九、八三	四二、七九
同三年	五九、九九	一三、七六三	同十二年	一、四二、四六七	五一、三〇
同四年	六七、六二	一五、四六	同十三年	一、三六、七三	五九、二六
同五年	六三、三九	一六、四六	同十四年	一、四〇、六〇	六三、四九八
同六年	五九、七九	二〇、二四〇	昭和元年		
同七年	六三、九九	二九、〇三			

生金巾及び生シーチング

第九章 工産物

六二九

朝鮮の物産

年次	数量	価額	年次	数量	価額
明治四十三年	三、七二、三三九	四、四六六、二九四	大正八年	七、六三、三二二	三、二七、八二八
同四十四年	四、四九七、一七六	五、七三、三八	同九年	三、九七、四一八	一七、〇〇六、一九一
大正元年	五、四六、五九八	六、八六五、六六	同十年	六、六六、六五三	二五、四二、二九七
同二年	四、三六〇、三五	六、五三、〇九三	同十一年	六、六〇三、一四四	一六、四二八、四四一
同三年	四、三五四、二九	五、八七九、三九	同十二年	六、三三、八五七	一五、四三、四一五
同四年	五、三五四、六九三	六、四七、八九	同十三年	六、七、五二、四六四	二〇、四八六、八八八
同五年	五、〇九七、三〇	七、一八、八五	同十四年	六、五、〇五四、八九四	二、六〇〇、八六三
同六年	四、七七、四三	九、九六、六七	昭和元年		
同七年	五、七五、九七六	一五、六三、三三			

晒金巾及び晒チング

年次	数量	価額	年次	数量	価額
明治四十三年	一、四六、七三三	一、六六、〇六	大正八年	二、八七五、九五	二、三六、九五
同四十四年	一、四、二九、四三	一、八六、九四八	同九年	八、二九三、八四三	三、六〇、一八九
大正元年	二、〇、六九、八三	二、七九、三三	同十年	二、三八三、一三一	六、三三、四四二
同二年	一、五、〇四、八四	二、三三、三六	同十一年	一、六、三六、七三三	五、三四、一九一
同三年	一、九三、五四六	一、七五、〇八三	同十二年	一、八、三三、九八九	五、五五、六〇八

年次	数量	価額	年次	数量	価額
同四年	一、五、〇九、五五四	二、一〇、〇三三	同十三年	一、九、〇九、八〇一	六、五三、九五七
同五年	一、八四三、二四	二、八四、九五五	同十四年	一、七、三六、一五	六、一一、五〇五
同六年	一、五、〇四、六五九	三、七六、三五	昭和元年		
同七年	九、四七、八六	三、七、三六			

綾金巾及び雲齋布

年次	数量	価額	年次	数量	価額
明治四十三年	四七、九八五	七、二六	大正八年	七、三六、一八六	四、一六〇、二五〇
同四十四年	八四、一九九	一、五六、九六八	同九年	二、六四、五八二	一、二六三、七六
大正元年	四九七、七四〇	八、二四八	同十年	一、三、二六、一五五	五、〇八九、三三
同二年	一、〇、七、一〇七	二、三、七一	同十一年	九、四九、四元	三、三三、九四
同三年	八〇三、七九八	一、六五、四三三	同十二年	八、五四、一三五	二、八七、三五
同四年	七、七、三三	一、四、〇四六	同十三年	九、八六、九二五	三、八五六、九四〇
同五年	一、四三三、二六	三、九三、七六	同十四年	八、九五、一四七	三、六二五、八九七
同六年	二、一四、一二〇	七、七、五二四	昭和元年		
同七年	三、五三、三七	一、五三、八六五			

ジーンズ (大正十年以前は綾金巾及雲齋布に含まる)

朝鮮の物産

年次	数量	価額	年次	数量	価額
大正十一年	六、九六、〇二七	二、六四、四六	同十四年	一〇、七四、三七	四、一〇、五九
同十二年	九、三三、二三三	三、四八、四〇二	昭和十五年		
同十三年	一〇、七八、四〇四	四、一五、〇五〇			

天竺布

年次	数量	価額	年次	数量	価額
明治四十三年	二、四三、九三六	三〇七、二七	大正八年	八、九六、四六	三、七五、三〇
同四十四年	四、三三、六四七	五二七、〇九〇	同九年	二、六八、二九六	一、〇五、八〇六
大正元年	四、五九、四九五	五九八、五七二	同十年	六、〇九、四三二	一、八八、九四五
同二年	三、八九、六六七	五六一、一八六	同十一年	三、六五、二九七	一、〇四、一四八
同三年	三、四三、二六九	五三、三七	同十二年	三、六〇、三九九	一、〇三、七九
同四年	三、四九、三六九	五三、二九五	同十三年	三、三〇、二六	一、〇七、六七八
同五年	四、〇三、八五三	六八〇、八六七	同十四年	二、八七、〇五二	九七、七二
同六年	四、〇六、七九	一、〇〇、四一八	昭和十五年		
同七年	四、二二、六三	一、四七、八九五			

ポプリン (大正七年以前は其の他の綿布に含まる)

年次	数量	価額	年次	数量	価額
大正八年	一、〇三、四〇八	一、〇六、九六	大正十二年	四三、九九七	二九六、四九七
同九年	二〇〇、二九〇	三七、六三	同十三年	七三、〇八	五六一、九二
同十年	三三七、七五七	二六、六七三	同十四年	一、〇三、二七九	七三、四九二
同十一年	五七、九二四	四三、七〇五	昭和十五年		

小倉織 (大正七年以前は其の他の綿布に含まる)

年次	数量	価額	年次	数量	価額
大正八年	一、五五、八四九	一、〇八、六四	大正十二年	五四、七七	二七五、七三
同九年	二六六、二三五	一八五、四九	同十三年	六〇九、六七三	三六、二九二
同十年	四八三、八三五	二五八、四八三	同十四年	六九、九五六	四〇三、五二〇
同十一年	四六四、三〇七	二〇八、四二	昭和十五年		

綿繻子及び綿イタリانس

年次	数量	価額	年次	数量	価額
明治四十三年	二、六八、五二九	五七、三三	大正二年	二、七五、二四二	六〇三、九三
同四十四年	三、二四、七九八	六七、四八九	同三年	一、四九、二五	三三、六一七
大正元年	四、三六、八七六	八七、四三	同四年	一、八八、八八〇	二六八、九九三

第九章 工産物

朝鮮の物産

大正五年	二、五九、九〇九	七、七、三、七	大正十一年	六三、四	三、九、〇、〇四
同六年	一、二八、四九九	五、六、一、六三	同十二年	四九、五、四一	二、七、〇、〇四
同七年	九、七、七、三九	五、四、五、八六	同十三年	一、〇三、七、五二	九、六、五、六三
同八年	七、五、〇、五五四	五、七、三、七五三	同十四年	一、六、八、九七八	九、二、七、五四
同九年	三、八、五、五	三、五、八、六三	昭和十五年		
同十年	二、五、四、二三	一、四、八、六四			

白木綿

年次	數量	價額	年次	數量	價額
明治四十三年	二、一〇、三、四四	一、〇、六、八、九七三	大正八年	三、五、四、三、五五	五、六、八、〇八〇
同四十四年	二、六、三、一九六	一、四、五、一、五三	同九年	一、九、六、六、三	二、七、四、八、三六
大正元年	二、六、三、二九〇	一、五、四、八、〇三	同十年	一、八、七、五、〇一	一、八、五、一、一〇
同二年	二、三、七、〇七二	一、四、九、一、六三	同十一年	九、三、七、六四七	一、六、四、六、六六
同三年	二、〇、六、七、九一	一、三、六、六、九	同十二年	一〇、六、四、二、一七	一、七、八、五、〇五五
同四年	二、二、九、八、五四	一、一、六、一、二三	同十三年	一〇、〇、九、一、五五	二、一、八、八、一一
同五年	三、〇、〇、三、六	一、〇、七、五、〇一	同十四年	二、三、九、一、〇一	二、四、〇、七、三三
同六年	二、八、四、九、一	二、一、〇、二、〇、七	昭和十五年		
同七年	二、八、五、六、〇	三、〇、九、三、一七三			

色木綿

年次	數量	價額	年次	數量	價額
大正三年	三、六、七、九	二、六、六、〇、九四	大正十年	二、九、一、〇、七	四、七、〇、七三
同四年	三、七、七、二	二、五、五、六、二	同十一年	一、三、八、七、三三	四、二、九、五三一
同五年	五、〇、五、三	四、〇、九、六、四六	同十二年	一、六、九、一、八三	四、八、三、二、七五
同六年	七、四、四、四三	八、〇、一、六、八	同十三年	一、四、七、五、三三	四、五、一、八、五二
同七年	一、三、五、八、五	一、八、七、七、三〇	同十四年	一、六、〇、七、八四	五、六、四、二、六
同八年	一、四、四、五、五	二、八、四、一、七三	昭和十五年		
同九年	三、四、一、二五	六、〇、四、六、二			

縞及び緋木綿

年次	數量	價額	年次	數量	價額
大正三年	三、四、一、二五	四、六、〇、〇六	大正八年	三、〇、〇、〇	五、七、二、五九
同四年	三、九、四、七	四、六、七、六三	同九年	一、八、七、五	四、八、五、二、四七
同五年	三、七、七、二	四、七、一、四、五	同十年	二、四、七、九、七	五、六、一、六、〇九
同六年	三、四、五、六	四、九、八、三、三	同十一年	一、七、六、九、〇三	六、六、九、四、五三
同七年	二、九、四、七	四、三、二、四、二	同十二年	二、六、七、〇、五三	一、一、六、七、六六

第九章 工産物

朝鮮の物産

大正十三年	二、一四四、〇〇六	九三、二五九
同十四年	一、五五五、七三三	七〇四、八二七

六三六

其の他の綿布

年次	数量	価額	年次	数量	価額
明治四十三年	一	九六、九三三	大正八年	一	五、六四一、〇七三
同四十四年	一	一、二五〇、〇〇八	同九年	一	五、四三九、二四一
大正元年	一	一、九三二、七二六	同十年	一	四、六七九、九一九
同二年	一	一、九四三、二三三	同十一年	一	四、九三二、七六〇
同三年	一	六七五、七三七	同十二年	一	二、三九九、〇三三
同四年	一	六〇四、四四八	同十三年	一	二、七四一、四八八
同五年	一	一、三六四、二五八	同十四年	一	三、九七七、九九九
同六年	一	二、一六〇、八六三	昭和十五年	一	三、一七二、七七二
同七年	一	三、一一一、五九〇	昭和十六年	一	三、一七二、七七二
明治四十三年	一	九、三〇〇、五二九	大正八年	一	六、四四三、一五七

綿

布 (計)

数量

価額

年次

数量

価額

絹

布

年次	数量	価額	年次	数量	価額
同四十四年	一	一一、七五〇、〇一四	同九年	一	三、一七二、七七二
大正元年	一	一四、九三九、〇〇七	同十年	一	四、七、四三九、四六二
同二年	一	一三、七二一、五七一	同十一年	一	三、七、八四九、三三八
同三年	一	一一、三九七、〇〇六	同十二年	一	三、二、二九一、一七一
同四年	一	一一、八五八、五五七	同十三年	一	四、四、八七四、八九四
同五年	一	一五、八三三、八〇八	同十四年	一	四、六、八三二、五九四
同六年	一	三、九三〇、三六六	昭和十五年	一	三、一七二、七七二
同七年	一	三、一七二、一五九	昭和十六年	一	三、一七二、七七二
明治四十三年	一	一、〇八五、四七四	大正六年	一	八、四四一、三六四
同四十四年	一	九八三、四八二	同七年	一	三、六、〇六七
大正元年	一	一、三六三、三三三	同八年	一	一、〇一七、八二〇
同二年	一	一、一八三、六六〇	同九年	一	九、〇四九、三三八
同三年	一	九六六、四五六	同十年	一	九、六五九、八八〇
同四年	一	九七三、二五三	同十一年	一	九、九三九、一〇六
同五年	一	一、二〇七、五九〇	同十二年	一	七、七四二、二二一

第九章 工産物

六三七

朝鮮の物産

大正十三年
同十四年

八七二、九四
八〇六、三六

大正十五年
昭和元年

六三八

支那麻布

年次

數量

價額

年次

數量

價額

明治四十三年

四、五七、〇四

八九〇、九三

大正八年

三、三〇、四七

六、九七、三九

同四十四年

六、六〇、〇八七

一、三六八、九二

同九年

二、〇五九、五五

七、九〇五、〇六

大正元年

七、〇〇、七六

一、四八五、五二

同十年

三、六五二、九八

五、三九五、四一

同二年

六、二四九、七二

一、三三三、六六

同十一年

二、四七六、三六

八、七〇二、八四

同三年

六、四七七、六九

一、五五五、三三

同十二年

二、五五五、一三七

五、一八一、五六

同四年

五、〇三九、六七

一、一五五、一五〇

同十三年

一、〇六五、二六

四、九一六、一四

同五年

六、一一一、四九

一、六二二、五七九

同十四年

九、八四八、七三

四、七六七、〇五

同六年

六、六三三、元七

二、二〇、七六〇

昭和元年

同七年

六、三三七、七一

二、四七四、九二

羅紗及びセルダス（毛製）

年次

數量

價額

年次

數量

價額

明治四十三年

二、九八、四六

二二、八六

大正八年

九、九七、七

四〇、四、七五

羅紗及びセルダス（毛綿製）

年次

數量

價額

年次

數量

價額

明治四十三年

二七、三九

七、五三

大正六年

一四九、四七

二七六、〇九

同四十四年

二六、五〇

一七、四四

同七年

二六、三四

三二一、九八

大正元年

二八、五三

一七三、八八

同八年

一八六、六九

六〇三、七三

同二年

二四、五九

一五〇、四二

同九年

一九五、八〇

七〇九、六三

同三年

二五、〇九

一〇八、一七

同十年

一四〇、五二

四二二、二九

同四年

一六二、〇三

一五三、五九

同十一年

二七六、六六

六三三、七九

同五年

一四四、六六

二二、八六

同十二年

二六三、六二

五〇五、四三

第九章 工産物

六三九

朝鮮の物産

大正十三年	三七三、二五	五九六、八三	大正十五年
同十四年	二七〇、七七	六〇〇、四八	昭和元年

六四〇

アルバカ、オルレアンス及びラストル

年次	数量	価額	年次	数量	価額
明治四十三年	一五、〇七	五五、一〇三	大正八年	三、五八	五、七四
同四十四年	二九、〇九	五三、二七九	同九年	六四、一八	九八、三九
大正元年	八〇、一三	三三〇、八六九	同十年	五〇、九八	一〇〇、八八
同二年	一、八九、三二	四一五、七四四	同十一年	五〇、五八	七四、五〇
同三年	七四二、一五	二六、五七	同十二年	一一、八七	一四、二七
同四年	二二、五六	四四、二六四	同十三年	二七三、〇二	三六、九三
同五年	九八、七五	四九、八九六	同十四年	三九、八六	三二、七二
同六年	三三、九四	三、六三	昭和元年		
同七年	三六、八〇	三、九三			

ブランケット及び旅氈

年次	数量	価額	年次	数量	価額
明治四十三年	一八三、〇二	一〇六、三九	大正八年	五三、一六	五七、六三

年次	数量	価額	年次	数量	価額
同四十四年	二七三、〇七	一五九、五八	同九年	一八三、六七	二五〇、九三
大正元年	四〇二、〇八	三九、三九	同十年	二五二、四六	三八、四〇
同二年	四七、五二	二〇、一八七	同十一年	三七、一九五	三六、四七
同三年	一一、五七	八五、七四	同十二年	二五七、〇三	三〇、三六
同四年	九〇、四八七	六六、四〇	同十三年	二六四、二六	三四、五七
同五年	九四、六三	九、三〇	同十四年	二八〇、四六	三〇、六六
同六年	一五七、六二	一五、四九	昭和元年		
同七年	一六三、一四	二〇、一五			

ガンニ

年次	数量	価額	年次	数量	価額
明治四十三年	七七一、三九	九五、七四	大正六年	一、八六五、七九	五〇九、二五
同四十四年	五五、七七	七三、〇三	同七年	一、四九〇、四四	五三、三六
大正元年	四四、六三	五、七二	同八年	一、三三〇、五九	五五、四七
同二年	四〇、八三	五、二九	同九年	九九、〇〇	四〇、五七
同三年	四二、五元	五、七六	同十年	二、〇九、五〇	五〇、七三
同四年	九七、五二	一四、七三	同十一年	二、九五、四八	五七、一九
同五年	一、九二、四四	三六、二四	同十二年	三、二六、七五	七五、二六

第九章 工産物

六四一

朝鮮の物産

大正十三年 三、七五、〇〇七
同十四年 三、五九、八七七

八四、一八〇
一、一〇二、七〇〇

大正十五年
昭和元年

六四二

年次

數量

價額

年次

數量

價額

明治四十三年 一〇五、九三三
同四十四年 一四一、四五六
大正元年 一五七、八五五
同二年 一九〇、九四四
同三年 一六八、六六七
同四年 一五二、六三三
同五年 一七〇、四三三
同六年 一六三、四八六
同七年

帽 子

肌 衣

大正八年 三九、〇八六
同九年 五三、九三六
同十年 五五、四三三
同十一年 六四、一六六
同十二年 一〇九九、五五一
同十三年 一、二六九、三三三
同十四年 一、二七四、三三七
昭和十五年

大正八年 一、二二五、六六七
同九年 一、二七四、三三七
同十年 一、二七四、三三七
同十一年 一、二七四、三三七
同十二年 一、二七四、三三七
同十三年 一、二七四、三三七
同十四年 一、二七四、三三七
昭和十五年

大正八年 一、二二五、六六七
同九年 一、二七四、三三七
同十年 一、二七四、三三七
同十一年 一、二七四、三三七
同十二年 一、二七四、三三七
同十三年 一、二七四、三三七
同十四年 一、二七四、三三七
昭和十五年

明治四十三年

數量

價額

大正八年

數量

價額

同四十四年 四九、七四四
大正元年 五九、〇三三
同二年 四四、六六七
同三年 五三、〇九〇
同四年 五九、七三二
同五年 六九、二二九
同六年 六六、七七七
同七年 五三、〇九〇

洋 服

同九年 六、三三三
同十年 二九、八三三
同十一年 一、二七六、三三六
同十二年 一、八〇九、九八八
同十三年 二、八三八、〇七一
同十四年 三、一七五、六三一
昭和十五年

同九年 六、三三三
同十年 二九、八三三
同十一年 一、二七六、三三六
同十二年 一、八〇九、九八八
同十三年 二、八三八、〇七一
同十四年 三、一七五、六三一
昭和十五年

同九年 六、三三三
同十年 二九、八三三
同十一年 一、二七六、三三六
同十二年 一、八〇九、九八八
同十三年 二、八三八、〇七一
同十四年 三、一七五、六三一
昭和十五年

同九年 六、三三三
同十年 二九、八三三
同十一年 一、二七六、三三六
同十二年 一、八〇九、九八八
同十三年 二、八三八、〇七一
同十四年 三、一七五、六三一
昭和十五年

年次

數量

價額

年次

數量

價額

明治四十三年 一〇五、九三三
同四十四年 一四一、四五六
大正元年 一五七、八五五
同二年 一九〇、九四四
同三年 一六八、六六七
同四年 一五二、六三三
同五年 一七〇、四三三
同六年 一六三、四八六
同七年

洋 服

同九年 六、三三三
同十年 二九、八三三
同十一年 一、二七六、三三六
同十二年 一、八〇九、九八八
同十三年 二、八三八、〇七一
同十四年 三、一七五、六三一
昭和十五年

同九年 六、三三三
同十年 二九、八三三
同十一年 一、二七六、三三六
同十二年 一、八〇九、九八八
同十三年 二、八三八、〇七一
同十四年 三、一七五、六三一
昭和十五年

同九年 六、三三三
同十年 二九、八三三
同十一年 一、二七六、三三六
同十二年 一、八〇九、九八八
同十三年 二、八三八、〇七一
同十四年 三、一七五、六三一
昭和十五年

同九年 六、三三三
同十年 二九、八三三
同十一年 一、二七六、三三六
同十二年 一、八〇九、九八八
同十三年 二、八三八、〇七一
同十四年 三、一七五、六三一
昭和十五年

第九章 工産物

六四三

朝鮮の物産

年次		靴		足袋	
年	次	数量	價額	数量	價額
大正十三年		1	八七、八六		
同十四年		1	一、〇〇四、九六		
明治四十三年		四三、七九	四、二七	一三、六二	三九四、〇七三
同四十四年		七二、四三	七、六九七	二五、八三	四三、五〇一
大正元年		八四、九八	八、九八〇	一六四、二二	四一六、五二六
同二年		七九、八三	九、二五八	一四六、二九	四〇〇、八五二
同三年		七四、八六	八、五二五	一四三、〇九四	四一三、四一三
同四年		七三、三八	七、六四四		五〇四、四一三
同五年		七二、九七	八、二五三		五三七、四三三
同六年		七二、一〇	一三、六三三		
同七年		六、七三	一三、一〇〇		
大正八年			二八、四三		四、五二八、四四三

六四四

傘 (和傘、洋傘、支那傘)

年次	数量	價額	年次	数量	價額
同九年	1	二六、二八	同十三年	1	五、六六七、六五五
同十年	1	六七、四二	同十四年	1	四、六七、五六一
同十一年	四、九〇、〇三	二、五五三、八六	昭和十五年		

漁網 (布帛製)

年次	数量	價額	年次	数量	價額
明治四十三年	三〇、七九	一六、三三	大正八年	五七七、七三	六三、五五
同四十四年	五七四、〇七	三〇九、一五	同九年	四三、四六	七四九、一八〇
大正元年	六四九、九一	三五五、一七	同十年	三八五、五三	四一七、九八五
同二年	五七、七三	三、七〇九	同十一年	六三、三五	七三、四三六
同三年	三九、七六	三、九八〇	同十二年	1	七六、〇二七
同四年	三五、六八	一、七六一	同十三年	1	九二六、八三一
同五年	四七、九三	三、七六三	同十四年	1	八三四、八四二
同六年	四八、二八	三、〇〇〇	昭和十五年		
同七年	五〇、三三	三、〇一七			

第九章 工産物

六四五

朝鮮の物産

年次	数量	価額
明治四十四年	三、五七、三三	一、五五、五三
大正元年	四、二五、二六	一、八四、一三
同二年	四、六、九四	一、四三、〇三
同三年	四、五、一六	一、四三、五〇
同四年	四、八、九五	一、五〇、一五〇
同五年	五、六、四九	一、七三、七四三
同六年	六、六、六三	一、四三、九六
同七年	六、七、五三	一、四三、六四

綿織 綿糸

年次	数量	価額
明治四十三	四、四八、九四	一、五五、四三
同四十四	五、九、六六	二、三三、八七
大正元年	五、九、〇五	二、四八、六二〇
同二年	四、二七、八四	一、八六、四四
同三年	五、四九、三六	二、〇六、七七
同四年	七、六八、五四	二、四三、八四

六四六

年次	数量	価額
同五年	七、四三、六四	三、〇五、七九
同六年	七、六六、四九	四、七〇、四二
同七年	三、三三、九四	三、一四、七三
同十四年	七、六五、九六	八、四八、一四
同十五年		

綿縫 綿糸

年次	数量	価額
明治四十三	四、九、九三	三、三三
同四十四	七、四、七〇	五、〇〇、七
大正元年	五、三、三三	五、九二
同二年	五、三、三三	六、四、六六
同三年	七、九、三	六、一、三三
同四年	七、九、六	六、四、六〇
同五年	一三、三、七	一、〇、三六〇
同六年	三、六、八七	四、〇、四三
同七年	五、七、七〇	七、三、三
大正八年	六、四、二四〇	一、一六、七八三
同九年	四、六、三九	六、四、七三
同十年	八、八、六九	一、〇、二九二
同十一年	五、四、五三	六、二、四六
同十二年	五、三、七五	六、四、六六
同十三年	六、九、二四	九、〇、三
同十四年	九、四、〇三	一、三、三八三
同十五年		
昭和元年		

第九章 工産物

綿網 綿糸

六四七

朝鮮の物産

年次	数量	価額	年次	数量	価額
大正二年	一七、一六八	八三、〇七九	大正九年	二六三、八三三	四九、二七〇
同三年	二〇、四八三	一〇三、九五五	同十年	四〇〇、九三三	四六、九一七
同四年	二六、一七二	一〇九、九五五	同十一年	五四七、六八八	五〇、八四〇
同五年	四〇、二九五	二二、九六〇	同十二年	四五〇、五七四	四六、〇八三
同六年	三三、三五一	二七、四一〇	同十三年	五二〇、八三三	六五、五五八
同七年	三三、七六三	四二、四四四	同十四年	四三九、一〇〇	五九、〇三七
同八年	二九、七六九	四七、一〇〇	昭和十五年		

柞蠶絲

年次	数量	価額	年次	数量	価額
大正十一年	三六、六四四	二、七六八、八七	大正十四年	一、七九、二四一	一六、八七四、六八
同十二年	一、〇四八、一六	一〇、五五四、二三	昭和十五年		
同十三年	一、一五四、七六九	二、四九三、五五八			

繩索

年次	数量	価額	年次	数量	価額
明治四十三年	一九四、四八〇	四四、二五	大正八年	一、一八、六四五	四、五五、五七

年次	数量	価額	年次	数量	価額
同四十四年	三五七、六四	八二、〇五	同九年	五、三〇八、九〇〇	八六、六一
大正元年	四七六、三六	一〇〇、三三	同十年	五、五〇四、〇三九	七四、一三〇
同二年	四五三、六四二	九五、〇五六	同十一年	六、五四六、九二四	一、〇四四、七九五
同三年	四四〇、二二〇	九八、八五三	同十二年	六、六二六、六六八	一、一四〇、一四五
同四年	五三二、六八七	一一〇、六九	同十三年	六、七四〇、七四三	一一、七八、七四
同五年	五五七、七六〇	一一〇、六五	同十四年	七、二五、〇一五	一、三四、五八七
同六年	六九九、七七八	二〇八、一五七	昭和十五年		
同七年	九八五、〇六三	四〇二、五七			

洋紙

年次	数量	価額	年次	数量	価額
明治四十三年	二、八四、八四〇	二八〇、八一七	大正六年	五、八五七、五五五	一、二〇、三三〇
同四十四年	四、三〇、三六	三九三、八六五	同七年	七、八四、四一三	一、八六九、七四
大正元年	四、七五、九五	四五二、〇四一	同八年	七、三二、六八八	二、一三、九四四
同二年	五、九二五、二五	五九、五七〇	同九年	六、三二、八八八	二、〇九三、五七〇
同三年	五、〇三三、〇九	五二八、八六九	同十年	九、四三六、四七五	二、五〇九、四四九
同四年	五、六七、三三八	六三三、〇三	同十一年	一〇、八四四、四六六	二、四二八、六六六
同五年	五、三三九、〇三	七九三、四九三	同十二年	二、八五、七九	三、〇四七、〇〇七

第九章 工産物

六四九

朝鮮の物産

大正十三年 一三、七三、八五
同十四年 一六、六四、四五

三、四三、六七
三、九三、五八

大正十五年
昭和元年

六五〇

和紙

年次

數量

價額

年次

數量

價額

明治四十三年

三三、九〇

一四、四七

大正八年

九三、六九

七四、四三

同四十四年

五七、一七

一九、六六

同九年

七九、八六

六四、八四

大正元年

七二、八四

二六、四九

同十年

一、三三、六三

八九、九四

同二年

五八、〇六

三三、六二

同十一年

一、三〇、八六

八五、七九

同三年

五八、六二

三三、〇九

同十二年

二、四三、四八

一、四三、四六

同四年

六九、四四

三三、一〇

同十三年

二、八三、五三

一、七三、四六

同五年

六五、六二

三三、七七

同十四年

二、六八、三〇

一、四八、六四

同六年

八三、九五

四八、七九

昭和十五年

同十五年

二、八〇、九元

同七年

一〇一、〇〇

七三、七八

大正八年

數量

價額

書籍及雜誌

年次

數量

價額

年次

數量

價額

明治四十三年

一

一六、〇五元

大正八年

一

二八〇、九元

同四十四年
大正元年
同二年
同三年
同四年
同五年
同六年
同七年

一
一
一
一
一
一
一
一

一七、四五
一九、七三
三三、九八
三三、一七
三三、一〇
二四、七九
二四、三九
二四、一六

同九年
同十年
同十一年
同十二年
同十三年
同十四年
同十五年
昭和元年

一
一
一
一
一
一
一
一

四〇、五〇
七〇、〇八
八六、五三
一〇三、四六
一二六、七七
一二三、五〇
一二三、五〇
一二三、五〇

陶磁器

年次

數量

價額

年次

數量

價額

明治四十三年

一

三三、四九

大正六年

一

六四、五元

同四十四年

一

四三、五八

同七年

一

八七、八〇

大正元年

一

五八、八八

同八年

一

一五九、三六

同二年

一

四六、六七

同九年

一

一三七、四八

同三年

一

四三、八七

同十年

一

一三八、五五

同四年

一

三〇、三三

同十一年

一

一五七、七四

同五年

一

五七、三九

同十二年

一

一六三、六四

第九章 工産物

六五一

朝鮮の物産

大正十三年
同十四年

一、八元七角
二、一五〇、〇一六

大正十五年
昭和元年

六五二

セ
メ
ン
ト

年次

數量

價額

年次

數量

價額

明治四十三年

三、七七、六元

三、一、三四四

大正八年

七四四、三五四

一、六〇六、二九三

同四十四年

三、一八六、九七九

五、四一、八八一

同九年

五九、三〇九

一、六九一、一九四

大正元年

四七、六四九、三三四

六、五九、九七九

同十年

九〇五、四六五

二、〇三三、〇〇七

同二年

五〇、一〇一、九三六

七、一、四四三

同十一年

一、〇三三、〇六一

二、四二五、六三三

同三年

四六、七二一、一六三

四、〇、六八八

同十二年

一、五七六、八〇〇

四、四四七、四八三

同四年

七〇、六〇四、七三六

六、四、八八一

同十三年

六、九、三六七

一、六三三、六五一

同五年

七九、七九一、六四

七、〇、四七九

同十四年

六、三、九三三

一、四八五、九一九

同六年

九七、三三七、三三

一、六、五、三六

昭和十五年

同十五年

同十五年

同七年

八四、八八五、元三

一、八、六、五八

窓硝子

年次

數量

價額

年次

數量

價額

明治四十三年

一、六、六、九四

九、〇、三三

大正八年

三、三、九七七

四、八、八、九五

同四十四年
大正元年
同二年
同三年
同四年
同五年
同六年
同七年

二五、〇〇六
三六、四九八
一八、八三八
三〇、八一九
一三、三六九
一五、七三八
一五、五五〇
一九、三三二

同九年
同十年
同十一年
同十二年
同十三年
同十四年
昭和十五年

三、一、五、四八
四、〇、二、四九
四、七、〇〇、六五六
四、九、四七、〇八五
四、八、八八、四二四
三、八、八八、一七一

石粉

年次

數量

價額

年次

數量

價額

大正三年

一五、〇二八、三六九

六、七、二、四四

大正十年

三、七、七、七〇

三、六、七、四四

同四年

二六、〇六七、七〇四

九、七、九、三三

同十一年

三、六、五、〇九二

三、八、七、三三

同五年

一九、三三九、一三七

六、八、七、三三

同十二年

三、四、二、三三七

三、四、七、八七六

同六年

三七、八四九

二、五、九、九五

同十三年

三、七、〇、三六七

三、九、一、七五六

同七年

一一、九、三三

一〇、一、三三

同十四年

三、九、七、五五六

三、九、四、六六〇

同八年

五、四、八、四〇七

三、一、六、五五

昭和十五年

同十五年

同十五年

同九年

一八、四、三六

一、六、四、四一九

第九章 工産物

六五三

鐵 (電鍍板)

年次	數量	價額	年次	數量	價額
明治四十三年	二、九七、七〇七斤	三三、八八〇	大正八年	一、五五、八四二斤	六〇五、八四四
同四十四年	五、三三、四八一	五九、九、五九	同九年	二、九六、三二一	九六八、二六七
大正元年	六、〇五、〇八三	五九、九、四八	同十年	六、七五、六七九	一、六〇四、三七
同二年	四、八五、六〇五	四八、五、五七〇	同十一年	二、三三、五五	一、七九、五五
同三年	四、八一、二五五	四七、八、八七	同十二年	八、一〇、二三四	一、五三、五、四六
同四年	二、五七、八七三	三九、八、八五	同十三年	一一、四〇、五九四	二、〇六三、九一六
同五年	一、四八、六五〇	三〇、七、七六	同十四年	一〇、七九、八三五	二、二九四、四一
同六年	七、四四、七三	二六、一、三六	昭和十五年		
同七年	七、九、四一	三三、七、六	昭和十六年		
明治四十三年	一、五三、七五四斤	一〇〇、六、〇	大正八年	二、三三、七五	六四三、九三三
同四十四年	一、七六、四六	二一、八、六三	同九年	一、四四、九七	四〇二、五八
大正元年	八、七、四九	三六、八、八	同十年	二、四三、四九六	四七、六、七三

鐵 (筒・管)

年次	數量	價額	年次	數量	價額
明治四十三年	一、五三、七五四斤	一〇〇、六、〇	同十一年	五、〇四、八、〇八九	六六、三、二
同四十四年	一、七六、四六	二一、八、六三	同十二年	七、五八、七九七	九七、九、六
大正元年	八、七、四九	三六、八、八	同十三年	四、九四、〇九二	七五、三、七〇
同二年	六、五九、〇九六	三三、七、〇九三	同十四年	四、〇三、一、二七	六〇、三、九八
同三年	五、五七、一〇四	二九、九、七九	昭和十五年		
同四年	五、〇九、一七五	二二、八、一	昭和十六年		
同五年	一、九四、〇、三三	三三、一、七			
同六年	三、二九、一四〇	四八、七、〇七			
同七年	二、九三、九一九	八八、九、三二			

鐵 (故・屑)

年次	數量	價額	年次	數量	價額
明治四十三年	?	七、〇〇〇	大正八年	一五、二七、八四八	一、四六三、六七〇
同四十四年	?	八、〇〇〇	同九年	八、三九、四三三	五四二、三四三
大正元年	四、六四、一〇六	一五、三、八	同十年	六、六九、六八	三七、三、一
同二年	三、七、九八二	七、一、九	同十一年	四、五九、〇七五	二六八、九七五
同三年	三、〇一、五五	八四、六、六	同十二年	三、二一、一五	一六八、三、四
同四年	二、五〇、一六	七、二、五	同十三年	三、五七、七三	二〇七、三、四
同五年	三、六五、〇八五	一五、六、五	同十四年	二、六〇、二、七五	一五、一、四九
同六年	五、〇一、四三〇	三六、八、八	昭和十五年		
同七年	六、六八、四六五	八四、八、一	昭和十六年		

朝鮮の物産

鐵釘

年次	數量	價額	年次	數量	價額
明治四十三年	一、五七七、六六六	九、四〇八	大正八年	三、四九九、三七	六六三、三六五
同四十四年	二、五五四、四七六	一四、五九四	同九年	二、六六八、三六六	五九九、一〇三
大正元年	三、〇八二、七二一	一七、七三四	同十年	三、五八一、四三三	六二〇、二八四
同二年	二、三三三、六九九	一三、八七四	同十一年	四、八九三、四三三	六二二、一二七
同三年	二、一三三、〇八八	一四、三〇四	同十二年	四、二七二、八五	六三〇、四〇六
同四年	一、九七五、七六八	一七、三九一	同十三年	四、六七五、三六七	六三七、八五三
同五年	二、四四六、四四六	三六、〇九六	同十四年	四、六九九、六二八	五八四、四〇五
同六年	二、六〇二、六三九	五〇、三六二	昭和十五年		
同七年	二、四二二、六四三	五三、八八四	昭和元年		

六五六

軌條・同附屬品

年次	數量	價額	年次	數量	價額
明治四十三年	二、五七〇、五五五	九八、五六一	大正八年	二、七四三、〇三	三、六二二、一〇八
同四十四年	二、一四四、九七三	一〇八、八三五	同九年	一、五九六、一三	二、〇九七、五四四
大正元年	三、四四一、一一	八〇、二五六	同十年	二、六八四、五〇	一、三三、九六九

同二年	三、〇二六、五五五	八四九、八九四	同十一年	五七、〇四二、七四一	三、一五三、〇四五
同三年	一、四、五〇〇、二六七	五九三、四六一	同十二年	四八、八九八、八五五	二、九七七、六六三
同四年	一、七、三三九、四三七	七三、九四四	同十三年	一、五、三四九、六五五	一、六二二、九一六
同五年	一〇、九三三、〇六〇	五四八、三三三	同十四年	九、一六二、一四五	八八一、五七九
同六年	一三、四三三、〇六一	一、二七〇、二五八	昭和十五年		
同七年	一六、九六九、二五	二、六七七、七六	昭和元年		

鐵鍋・釜

年次	數量	價額	年次	數量	價額
明治四十三年	三、九、四六七	一、五、一〇三	大正八年	二、九三、五五六	七〇〇、三〇〇
同四十四年	四、五、六六〇	二、六三三、四三三	同九年	一、七〇、八九四	四八五、七七
大正元年	五、三、三八八	三七、九九九	同十年	一九三、九五	三三七、〇六六
同二年	三、七、七三	二九、〇三三	同十一年	二、七、七九	三八四、三三
同三年	三、〇八、四四九	二〇七、二四〇	同十二年	一、一〇、六六	一七三、四二四
同四年	三、三、三三	一四九、七六一	同十三年		三三七、三六
同五年	三、六八、九〇五	二五、三三三	同十四年		一八、〇二四
同六年	一、六八、六二四	二八、六三三	昭和十五年		
同七年	八七、六六六	一五九、四二七	昭和元年		

第九章 工産物

六五七

瑤瑯鐵器

年次	數量	價額	年次	數量	價額
明治四十三年	1	五、六五	大正八年	1	四〇、三〇
同四十四年	1	九七、七三	同九年	1	四四、一四七
大正元年	1	二六、〇三	同十年	1	四六、〇〇〇
同二年	1	一〇七、三三	同十一年	1	四七、〇一一
同三年	1	一〇四、三六	同十二年	1	三三、三三
同四年	1	九八、八七	同十三年	1	五七、九四
同五年	1	一三、三三	同十四年	1	七〇、四一
同六年	1	一〇、九二	昭和十五年	1	
同七年	1	三三、〇四三	昭和十六年	1	
明治四十三年	1	三、三〇四	大正八年	1	五、三七一
同四十四年	1	二九、元五	同九年	1	四三、一六一
大正元年	1	五三、一〇	同十年	1	二、三七、三六

鐵道機關車

年次	數量	價額	年次	數量	價額
同二年	1	四三、一五	同十一年	1	一、三三、〇一〇
同三年	1	五五、五三	同十二年	1	一、四八、八四一
同四年	1	一九、七二	同十三年	1	一、二四、二〇一
同五年	1	一四、〇七三	同十四年	1	二、七一、六〇〇
同六年	1	二六、〇九四	昭和十五年	1	
同七年	1	三四、一六	昭和十六年	1	

鐵道客車・貨車

年次	數量	價額	年次	數量	價額
明治四十三年	1	二七、八九三	大正八年	1	四四、七〇八
同四十四年	1	三三、四八四	同九年	1	七六、八八〇
大正元年	1	一三、一二七	同十年	1	二九、四八九
同二年	1	三六、四〇〇	同十一年	1	四六、六三三
同三年	1	三六、八四三	同十二年	1	四二、五六一
同四年	1	一〇七、九六六	同十三年	1	三六、六六六
同五年	1	三九、六五	同十四年	1	一四、三六六
同六年	1	三六、七六	昭和十五年	1	
同七年	1	六三、〇〇	昭和十六年	1	

自轉車			自動車		
年次	數量	價額	年次	數量	價額
明治四十三年	五、二五五	五、二五五	大正十一年	四、四六二	四、四六二
同四十四年	九、七三三	九、七三三	同十二年	一、〇〇〇、三六六	一、〇〇〇、三六六
大正元年	二八、六七三	二八、六七三	同十三年	一、八二五、二五五	一、八二五、二五五
同二年	三六、〇一九	三六、〇一九	同十四年	二、四三九、一〇三	二、四三九、一〇三
同三年	三九、七七七	三九、七七七	同十五年		
同四年	三五、六六六	三五、六六六	昭和元年		
同五年	二五、〇〇九	二五、〇〇九			
同六年	三七、八九〇	三七、八九〇			
同七年	三〇、一七〇	三〇、一七〇			
大正六年	七、二七二	七、二七二			
同七年	一九、二五五	一九、二五五			
同八年	七、五八八	七、五八八			

汽船・帆船			工匠具		
年次	數量	價額	年次	數量	價額
同九年	一、四四一、七七七	一、四四一、七七七	明治四十三年	九、五〇一	九、五〇一
同十年	四〇〇、三三三	四〇〇、三三三	同四十四年	六六二	六六二
明治四十三年	二、三九二	二、三九二			
同四十四年	四九三、一七三	四九三、一七三			
大正元年	一五、七七七	一五、七七七			
同二年	七三、一〇四	七三、一〇四			
同三年	三三、〇〇四	三三、〇〇四			
同四年	三九、七七六	三九、七七六			
同五年	一六、五三三	一六、五三三			
同六年	五七、一八三	五七、一八三			
同七年	六六、四六八	六六、四六八			
同八年	二、三九二	二、三九二			
同九年	一、四四一、七七七	一、四四一、七七七			
同十年	四〇〇、三三三	四〇〇、三三三			
同十一年	三、八〇四	三、八〇四			
同十二年	九六	九六			
同十三年	八、六八五	八、六八五			
同十四年	一、六六六、一三三	一、六六六、一三三			
同十五年	三〇、三九七	三〇、三九七			
昭和元年					

朝鮮の物産

大正元年	同二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年	同八年
二四、〇五四	二〇五、五八〇	二〇五、八六五	一七五、九七一	三三、二六五	三三、九八五	五八、四四五	七八、一六一
大正九年	同十年	同十一年	同十二年	同十三年	同十四年	同十五年	昭和元年
六六、七五	五八、四六八	六五、四八八	三七、三〇四	四〇、七二〇	三五、三二〇		

六六二

農具

明治四十三年	同四十四年	大正元年	同二年	同三年	同四年	同五年
四八、九〇六	八七、九二七	九七、九八六	一四一、五〇八	一三〇、九八〇	一七、一六六	一六、四九六
大正八年	同九年	同十年	同十一年	同十二年	同十三年	同十四年
六九、一三五	七九、九七三	三〇、六七七	一八九、四三三	五九、六六一	八七、九二八	七六、六二一

同六年
同七年

一八四、七一九
二九一、八七七

同十五年
昭和元年

木製品 (家具、漆器、其他)

明治四十三年	同四十四年	大正元年	同二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年
三二八、四六六	四三三、八六〇	四三八、八六八	四三〇、〇三五	四四二、一八三	四四、二六八	四七、二七六	五八、八九五	七〇、三三九
大正八年	同九年	同十年	同十一年	同十二年	同十三年	同十四年	同十五年	昭和元年
一、一〇四、二四九	一、五五、八六三	一、七四、一五三	一、八五、一〇一	二、〇四、〇七〇	二、一九七、七五五	二、三三、七九六		

大正元年	絶縁電線	数量	価額
一八七七〇			

第九章 工産物

大正二年	数量	価額
六六三		一五、三八〇

朝鮮の物産

年次	数量	価格
大正三年	二六、九三	四三、八五七
同四年	二〇九、八三	六五七、七五〇
同五年	一九、九六	四九〇、二〇一
同六年	二八、九六	七三九、六〇五
同七年	三三、三六	六四〇、六九四
同八年	四三、三六	
同九年	五五、三〇	

熟皮

年次	数量	価格
明治四十三年	六、八五	五五、〇六
同四十四年	二一、〇元	八六、九四〇
大正元年	二九、〇七五	一〇八、六八五
同二年	一五、五三	一四〇、九五一
同三年	一五、六二	二二、五六五
同四年	四七、〇三	七三、三五
同五年	一、〇四七、五〇	一、六三、〇八六
同六年	二六、七五八	三六、八六〇
同七年		
同八年		
同九年		
同十年		
同十一年		
同十二年		
同十三年		
同十四年		
同十五年		
昭和元年		

同七年 一四八、七三 二二、〇六

豆粕肥料

年次	数量	価格
大正二年	三、〇〇	七、〇〇〇
同三年	三、〇〇	九四、九七
同四年	二七、〇六	六六、五九
同五年	二六、〇九	七〇、九四
同六年	三、七四	一〇四、五〇
同七年	八五、〇二四	三三、四二
同八年	三〇八、八五五	一、二六八、七三六
同九年		
同十年		
同十一年		
同十二年		
同十三年		
同十四年		
同十五年		
昭和元年		

人造肥料

年次	数量	価格
大正三年	一、五二〇、三四	四三、八七
同四年	八六七、六九	一九、八三
同五年	七六、六六	一五、〇七
同六年	八、七四	二六、四五
同七年		
同八年		
同九年		
同十年		

第九章 工産物

六六五

朝鮮の物産

大正十一年 一八、〇〇〇
同十二年 九、二六
同十三年 一〇、七九

三七、七四
四八、二五
五〇、一〇四

大正十四年
同十五年
昭和元年

六六六
二四八、四七

九〇、四七

第十章 水産物

第一節 主要水産品

朝鮮は本土及び島嶼を合せ、海岸線の延長四千三百餘里に達し、地勢、氣候、潮流等の關係上、水産物頗る豐饒であり、有利の漁場が多いけれども、古來漁政に關する基礎極めて薄弱にして、その進歩は頗る遅々たる有様であつた。併合以來當局官廳に於ては銳意斯業の發達を圖り、これが保護取締を周密にし、且つ年々相當の經費を投じて各種の調査及び試験を行ひ、また斯業に關する傳習講習等を爲し、その他有望なる事業に對しては金品を補助貸與して發達を助長し、漁港及び避難港の修築の爲めに年々工費の一部を補助し、水産組合、漁業組合の發達を圖り、製品の改良、漁村の振興を期し、輸移出水産製品の検査を行ひ、その改良統一を圖る等、各種の施設を講じたる結果、漸次發達の域に進み、大正十三年に於ては水産業者（漁業、養殖、製造）の漁獲高五千百九十九萬七千餘圓、製造高三千百八十萬餘圓に上つて居る。今漁獲高の順序に従ひ、百萬圓以上の産額を有するものを擧ぐると左の通りである。

主要水産品 漁獲高（大正十三年）

朝鮮の物産

鯖	六九〇 <small>千円</small>	鯉	二二八 <small>千円</small>	鱈	一五七 <small>千円</small>	鰻	一一一〇 <small>千円</small>
鰻	六三四	鱈	二〇五四	鰈	一五六一	和布	一、四九
石首魚	三、四八九	鯛	一、〇一〇	鰈	一、三九六	鰺	一、〇七〇
明太魚	三、三七七	太刀魚	一、六四六	鰈	一、三八三	海羅	一、〇四七

而して百萬圓未滿五十萬圓以上の産額を有するものは海鼠、鰻、鰺、鮑、鰻、石花菜の六種を算し、此等水族の分布は、その種類に依り回游棲息の状態を異にして居るが、大體に鯖、鰻は慶尙南北道の沿岸を主産地として、全南、江原、咸鏡南北道これに亞ぎ、明太魚は咸鏡南北道及び江原道、石首魚は西海岸一圓に産し、鰻、鯛、鰺は全沿岸に産するけれども主産地を南海岸とし、鰻は慶尙北道、迎日灣を主要漁場として、江原道、咸鏡南北道等に産し、鰻は全沿岸に産し、殊に慶尙南北道及び咸鏡南北道に最も多く、太刀魚は西南海岸に多く産し、鰈は慶尙南北道を主産地とし全沿岸に漁獲され、海苔、海羅は全羅南道に最も多く産し、慶尙南道、黄海道等これに亞ぎ、鰻は全羅南道を初め西海岸一帯に産し、鰻、鰻は南海岸、和布は東海岸及び南海岸、鰻は全羅南道、慶尙南北道、黄海道、江原道、咸鏡北道の各道、鰻は東海岸を主とし南海岸にも及び、海鼠は慶尙南北道及び咸鏡南道等に産する。水産製造物中五十萬圓以上の産額を有するものは、素乾明太魚、鹽乾鰻、石首魚、煮乾鰻、海蔘、鰻、鹽藏鯖、鰻、太刀魚、石首魚、蒲鉾、海苔、和布、海羅にして、以上製造業の盛衰は主として各地に於ける漁獲の状況と相伴ひ、輸移出向

製品に在りては、仕向地の需給状況に因り製品の種類に多少の變化を生ずることあるも、大體に於て主要生産地及び製造の状態は例年著しき異動はない。朝鮮に於ける最近の水産業の進歩は右に述べたやうに頗る眼醒ましきものであるが、尙ほ各漁場に就いてその發達の状況を簡短に説明して見やう。

日本海に面して豆満江口より釜山港に至る東海岸は、海岸線の延長約一千哩に達し、沙濱懸崖相連りて良好の沿岸漁場を形成して居る。潮汐の干満は微少であるが、水深くして魚族の滯留に適し、且つリマン海流は北より寒帶性魚族を送り、對馬海流は南より溫帶性魚族を齎し來り、魚族の分布を豊富ならしめ、漁業の利殆んど無盡藏と稱せらる。この沿岸に於ける漁業發達の状態は併合以來頗る顯著にして、從來は咸鏡南道の明太魚、江原道の鰻、鮑、慶尙北道の鰻の外觀るべきものはなかつたが、内地人の移住増加と共に漁具漁法を改善し、鰻、鯖、鰻漁業も急速の發達を爲し、その製法も亦改善せられ、殊に近年新に勃興せる開鰻製造の如きはその産額百三十萬圓に上り、鰻漁業の一大發展を促し、その他素乾明太魚、乾牡蠣、鹽鯖及び鰻、鰻、肥料等も亦著しく製法を改良するに至つた。釜山港より木浦港に至る南海岸は、大小の島嶼散點し、その沿岸は犬牙錯雜岬灣相交りて、廣漠たる海域を占め、水深概ね八十尋内外にして漁具の使用に便なるのみならず、寒暖兩海流の影響を受けて魚族の分布豊かに、且つ廣大なる平野に接して市場に近く、大河港灣を控へ、九州、中國方面の連絡も容易なるを以て、漁獲物の集散至便なる爲め、内

鮮人の漁業共に進歩し、釜山、馬山近海に於ける鱈、鯖漁業の如き、鎮海灣附近の鰻漁業、羅老、青山、巨文の各島、及び所安島近海の鯛、鯖、鱈、鰻漁業の如き、濟州島沖に於ける鱈、鮑、石花菜、及び鰻業の如き、汝自灣に於ける鰻、及び麗水灣に於ける玉珥貝漁業等の如き皆有利である。その製造品も亦頗る豊富にして、就中統營、麗水地方の煮乾鰻、巨濟島の乾鰻、濟州島の乾鮑、及び鮑罐詰、麗水灣の乾鰻、貝柱、木浦の海藻類はその主なるものである。その他慶尙南道の鰻は産額五百萬圓を越え、これが製品たる煮乾鰻は五百二十六萬圓に達し、鱈は百八十萬圓、同製品二十五萬圓に上り、全羅南道に於ては海蘿、和布、海苔、天草等の海藻三百九萬圓を算、南海岸に於ける水産物の大宗となつて居る。木浦附近より鴨綠江口に至る西沿岸は、河口、落灣、潟淵、礁脈、淺灘、及び群嶼相食みて海岸線の出入甚だしく、海底は遠淺にして、黃海の中心に至るも水深五十尋を越えず、潮汐の干満は大にして三十尺に達する處がある。冬季は暖帶性魚族の滯留に適しないが、春季八十八夜前後に至れば、石首魚、鯛、鱈、鮑、鰻等が産卵の爲め、二十尋以内の淺所に群來するを以て、年々豐漁あるを例とし、就中全羅南道の七山灘、忠清南道の煙島近海、黃海道の延平灘、及び平安南道の魚泳島近海に於ける石首魚漁業は、東海岸の明太魚、鯖と相匹敵し、朝鮮海三大漁業の一と稱せらる。尙ほこの方面に於ては蜆等の貝類多く棲息し、且つ各種魚介類の養殖に適當の場所多く、近年資本家の本事業に着目するもの漸次増加するに至りたるを以て、將來

干潟地利用の養殖業は刮目に値する。近年殊に西海岸漁業の長足の發達を遂げたのは、總督府及び各道の獎勵と、内地通漁者の鮫鱈網漁業を普及したる結果にして、石首魚の盛漁期に於ては、全羅北道於靑島附近より黃海道延平島に至る間に、七八百隻の漁船輻輳し一大壯觀を呈する。

水産業の改良は、漁船漁具及び漁法の改良、漁業者の知識技能の養成、水産に關する調査試験の施行、水産物の處理及び關係機關の普及發達、販賣方法の改善並に販路の擴張、水産物の人工増殖獎勵、需給の調節及び産額の増進、内鮮人漁業者の移住及び内鮮人漁業者間の統一融和、水産會又は漁業組合の設立、漁業者の副業及び勤儉貯蓄の獎勵等を行ふことである。而して漁船漁具及び漁法の改良普及に關しては、極力獎勵の結果、朝鮮人漁業者にして内地式漁具漁法に依るものが近年著しく増加し、就中一本釣、延繩等の釣業は最も發達し、地曳網、流網、鮫鱈網等の網漁業これに亞ぎ、その漁獲成績の如きも、内地人漁業者に比し甚しき遜色を見ざるに至り、また大敷網、巾著網、揚繰網、臺網等を經營する者が漸次その數を増加して來た。また捕鯨業も現在東洋捕鯨株式會社にこれを許可し、捕鯨船數十二隻あり、大正十三年の捕獲高は、頭數百、その價額三十八萬三百圓に達して居る。また漁船の改良は、漁具、漁法の改良と共に近來著しく、朝鮮人の使用する改良漁船の數は、大正四年に於て二千六百十九隻に過ぎなかつたものが、同十三年末に於ては七千五百四十六隻を算し、これを大正十二年末に比すれば四百七十隻を増加して

居る。斯くの如く水産業の改良が年と共に行はれた結果、明治四十四年には六百七十六萬三千圓に過ぎなかつた漁獲高が、大正十三年に於ける内鮮人の漁獲高は、内地人二千七百十六萬九千八百八十三圓、朝鮮人二千四百八十二萬八千三百八十八圓、合計五千百九十九萬七千九百二十一圓に激増して居る。試みに既往三箇年間に於ける漁業概況を見ると左の通りである。

沿海漁業概況

年次	出漁船數		出漁人員		内地人朝鮮人		獲高
	内地人	朝鮮人	計	内地人	朝鮮人	計	
大正十一年	一五、〇三三隻	四五、七二二隻	六〇、四三三隻	六、四三三	三四、六六五	四〇、〇九八	三、五〇、九二二圓
同十二年	一三、八八八隻	四六、六三三隻	六〇、五二一隻	七、〇一一	三五、〇四一	四二、〇五二	三、五〇、九二二圓
同十三年	一九、九四六隻	四一、五〇九隻	六一、四五五隻	七、六二六	三三、七二五	四一、三四一	三、五〇、九二二圓
同十四年							
同十五年							
昭和元年							

最近に於ける朝鮮の水産業の大勢は、右に依りて略ぼ説明したから、これから少しく主要水産物に就いて叙述して見たいと思ふ。

養殖品

當局に於ては、漁業の獎勵と同時に、水産物漁獲の取締を爲し、その蕃殖を保護し、更に進んで人工増殖と、需給の調節を圖る目的を以て養殖業を獎勵し、總督府に於ては鮭、鱒、及び鯉の人工孵化、貝類の養殖試験を爲し、各道に於ては海苔、蠣、牡蠣、蜆、鯉、鰻等の養殖試験を行ふと共に、適地を調査して適種魚介藻類の養殖を獎勵したる結果、一般にその有利なるを認むるに至つたが、未だ盛況を見るの時期には達しない。現に民間事業として最も發達して居るのは、全羅南道、及び慶尙南道管内に於ける海苔養殖にして、これに亞ぐのは咸鏡南道永興灣、咸鏡北道造山灣、全羅南道高興郡の牡蠣養殖である。また京畿道、忠清南道管内の蠣、全羅南道の灰貝、鰻、及び慶尙南道、京畿道管内に於ける鯉、鰻の養殖はその規模は大きくないが、成績は見るべきものである。而して大正十三年末に於ける養殖面積は千八百十三萬九千八百八十五坪に達し、その收穫高は百六十八萬九千餘圓に上つて居る。

製造品

朝鮮人間に於ける水産物の加工は、漁獲物の保存法として單にこれを鹽藏とし、又は乾製と爲すに過ぎず、その方法頗る拙劣にして、只鮮内の需要に應ずるに止まつて居たが、當局に於て指導の結果、逐年製造方法の改善と利用の發達を見るに至り、一面内地人製造業の發展に伴ひ、著しく生産額を増加した。即

ち、明治四十四年に於ける水産製造物の製造高は二百六十五萬四千圓であつたものが、大正十三年に於ける製造高は内地人千二百七十二萬四千餘圓、朝鮮人千八百四十五萬五千餘圓、合計三千百十八萬餘圓に達したのである。

水産物製造高

年 度	内地 人	朝鮮 人	合 計
大正十一年	一〇、七一〇 ^{千円}	一五、七一五 ^{千円}	二六、四二五 ^{千円}
同 十 二 年	一二、二八四	一七、三二八	二九、六一三
同 十 三 年	一二、七二四	一八、四五五	三一、一三〇
同 十 四 年			
同 十 五 年			
昭和 元 年			

朝鮮の水産業の大勢と水産養殖業及び水産製造品に就いては大體説明したが、各種漁業中主要なる鯖、鰻、明太魚、石首魚、鱈、鯨、鰺、鯛、太刀魚、鱈の十大漁業、並に製鹽、及び水産養殖業中の海苔に就いて概説して見やう。

鯖

慶北、江原兩道の沿岸に在りては、古來鮮人が刺網を用ひて鯖を漁獲して居たが、同地方の小漁業たるに過ぎなかつた。明治三十年頃、其の一本釣を専業とする内地人通漁者あるに至り稍々盛大の域に達し、同四十年頃、東京水産講習所、山口縣水産試験場は、迎日灣附近に於て鯖巾着網を試験し、同時に巨濟島東岸に在りては、當業者がこれを試み、また山口、長崎兩縣水産試験場は流網を試験し、何れも相當の成績を挙げ、その漁業の有利なるを示すや、巾着網、縛網、流網等の漁業者激増し、遂ひに近年の旺盛を見るに至つた。鯖は殆んど全沿岸に來遊し、その漁場は、慶南巨濟島の東岸より慶北迎日灣に至る間を中心とし、遠く咸北雄基灣より、全南青山島近海に及び、此の外濟州島、楸子島、大黑山島南西部の沖合は魚群の來遊少からず、將來好望の漁場とされて居る。漁期は南海岸に在りては殆んど周年に亘るも、東海岸に在りては四、五月に始まり十一月に終る。今各道に於ける盛漁期及び主要漁場を示せば

道 別	盛 漁 期	主 要 漁 場
咸 鏡 北 道	六 月	雄基灣、梨津灣、及び清津沖合
咸 鏡 南 道	自 五 月 至 六 月	元山、西湖津、及び新浦沖合
江 原 道	七 月	注文津、及び長箭近海
慶 尙 北 道	自 二 月 至 十 月	迎日灣、甘浦、九龍浦、及び丑山沖合
慶 尙 南 道	自 四 月 至 六 月	方魚津、釜山、及び巨濟島沖合
全 羅 南 道	自 五 月 至 六 月	巨文島、及び青山島近海

にして、内地人漁業者の漁具は、主として巾着網、縛網、流網、及び手釣の四種なるも、大謀網、八角網等の定置漁具に依りこれを漁獲する所あり、巾着網及び縛網は本漁業の代表的漁具にして、その資金前者は約一萬圓、後者は六、七千圓を要する。巾着網は毎年二月頃、慶尙北道九龍浦及び甘浦、慶尙南道方魚津を根據地としてその近海に出漁し、四、五月頃には釜山及び巨濟島方面に轉じ、六月は更に全羅南道巨文島、青山島近海に轉漁し、これにて春、夏の漁を了へ、十月頃再び方魚津附近に出漁し、十二月終了する。縛網も巾着網と略ぼ同一時期に於て同一漁場に操業するも、六月以後に全羅南道の漁場に出漁するものは見ない。漁獲物は附近の魚市場に販賣する場合があるが、概ね運搬業者がこれを買収し、石油發動機船に依り内地に永藏輸送するを例とする。四月より七、八月に至る間、慶尙南北道、全羅南道に於て操業し、手釣を使用するは概ね鹿兒島縣下の通漁者にして、同縣にては釜山牧の島に漁獲物共同販賣所を設け、毎年六、七月頃漁船百餘隻渡來し、同地に根據して其の沖合に出漁し、また近來同縣通漁者の一部は全羅南道巨文島に根據し、同島近海に出漁して好成绩を收むるに至つた。鮮人漁業者は流網、逐魚網、及び手釣を使用し、流網は慶尙北道以北の東海岸に多く、船數殆んど六百隻に達し、逐魚網は咸鏡南道地方に多くその數百統内外に達する。手釣は慶尙南道及び全羅南道に於て多く操業して居る。

鰻

本漁業は明太魚漁業と相並び朝鮮古來の大漁業にして、鮮人は地曳網、焚寄抄網、石防簾等に依り、年四、五十萬圓を漁獲して居たが、内地人のこれに著手して以來益々旺盛に向つた。即ち明治二十年頃廣島縣下の漁民が始めて馬山灣に通漁し、爾來權現網を用ひ、鎮海灣巨濟島及び統營附近の漁場を開發し、其の後明治三十六、七年頃、釜山附近に内地人の地曳網漁業者渡來し其の業を開始してより、該漁具は慶尙南道及び慶尙北道方面に發展し、鮮人も亦これに倣ひて漁具を改良し、漁場を開發した結果、近年著しく發展した。然るに往年本漁業の盛大であつた濟州島、江原道沿岸に在りては、近年鰻の來游減少し其の漁況は振はない。

鰻は殆んど全沿岸に來游するも、其の最も多きは慶尙南道にして、慶尙北道、全羅南道これに次ぐ。從來の漁場は曳網類の使用に適する地元に過ぎなかつたが、江原道沿岸の如く其の沖合にこれが來游少からざる地方もあるので、將來は漁場の尙ほ擴張せらるゝ見込がある。漁期は四、五月より十一月前後に亘るも、地方に依り幾分の相違あり、各道に於ける盛漁期及び主要漁場を示せば左の通りである。

道	別	盛	漁	期	主	要	漁	場
咸	鏡	北	道	六	月	臨	海、鏡	城灣

咸鏡南道	七	月	新浦、新昌、群仙、端川
江原道	六	月	巨津、大津、注文津、竹邊、城直、墨湖
慶尙北道	六	月	丑山、清河、迎日灣、牟浦、良浦、甘浦
慶尙南道	五	月	馬山灣、鎮海灣、蔚山、東萊、統營、南海
全羅南道	自九月	至十月	濟州島、樸子島、安島、所里島、黑山諸島
全羅北道	自七月	至八月	於青島
忠清南道	自七月	至八月	外煙諸島
黃海道	自九月	至十月	巡威島、大小青島、白翎島、椒島、夢金浦
平安南道	自八月	至九月	德島

而して内地人通漁者の用ふる漁具は、權現網、地曳網、巾着網を主とし、大敷網、小台網これに次ぎ、就中地曳網最も多く、その大部分は慶尙南道に於て操業するものである。權現網は慶尙南道馬山灣、鎮海灣、統營、巨濟島附近を主要漁場とし、近年は慶尙北道清河灣附近に及んで居る。巾着網は巨濟島東岸に於ける權現網漁業者が其の漁期中一時操業するもので、同地方に於ける秋季鰻の漁獲に缺くべからざる漁具である。右漁業者は何れも根據地に製造場を設け煮乾鰻を製造するも、天候その他の事情に依り搾粕又は干鰻と爲すことあり、これ等の製品は從來根據地より直接内地に移送したが、近來釜山統營等の仲買人間屋、または市場に於て取引するものが増加して居る。大敷網、小台網に在りては、太刀魚、石首魚と共

に鰻を混獲し、煮乾又は搾粕、干鰻等を製造するものがある。また朝鮮人の漁具は地曳網、焚寄旋網、同抄網、同敷網等であり、地曳網最も多く、古來江原道は其の主要漁場にして稍々大規模なる地曳網があつた。其の他の地方は小規模にして、構造不完全のもの多く漁獲も少かつたが、近年これを内地式に改良し其の漁獲物も亦内地人同様煮乾搾粕等に製造するやうになつた。焚寄旋網は釜山、巨濟島間に同敷網は統營附近に多く、焚寄抄網は南海岸に於て古來使用せる小規模の漁具であるが、其の漁船數多く、漁獲物は概ね鰻辛と爲し、内地人はこれを買収して煮乾に製造するものもある。

明太魚

明太魚は朝鮮古來の漁業にして、開始以來既に二百餘年を経過して居るやうである。其の初め咸鏡北道明川郡沿岸に於て盛んに延繩を用ひ、刺網、舉網等相次いで起り、漁場漸次南北に展開し、朝鮮海の最大漁業となつたのである。今より二十餘年前、内地人通漁者の使用する手繰網を用ひたところが、馬養島附近の漁場に適して成績を挙げ、本網の製作費は比較的小額なるを以て其の數激增し、一時盛況を呈したるも、其の後漁場の變遷に伴ひ本漁具を使用する者漸減し、大正六年以降は殆んどこれに従事するものになつた。近年明太魚の産額は、鰻、鯖の二種に及ばぬが、各種鮮人漁業中に在りては今尙ほ其の第一位

を占めて居る。

明太魚は咸南馬養島を中心とし、北は國境、南は江原道に至る間、各所にこれを漁獲するも、其の漁場は概ね沿岸にして、しかも作業容易なる範圍に過ぎないばかりでなく、近年慶南蔚山沖合に於ては、三、四月頃「トロール」漁船に依り屢々漁獲されて居る。明太魚の洄游區域は廣汎にして、將來漁場は相當擴張の餘地あるが如く、漁期は地方に依り相違あるも、慶尙北道以北に在りては毎年十一月前後より翌年四、五月に至る間である。今各道に於ける盛漁期及び主要漁場を示せば左の如くなつて居る。

道別	盛漁期	主要漁場
咸鏡北道	自十一月至翌年三月	梨津、清津、獨津、漁大津、大良化沖合
咸鏡南道	自十二月至翌年一月	新浦、新昌、六台、遮湖、端川沖合
江原道	一月	長箭、巨津、大津、注文津沖合
慶尙北道	自一月至二月	迎日灣沖合

内地人通漁者は未だ刺網、延繩等の運用漁具を用ひず、江原道及び咸鏡南道に於ては、定置漁具を以て鰯、鯖、鱈等の漁獲の際にこれを混獲するに過ぎないが、咸鏡北道に在りては明太魚の漁獲を目的とするものが甚だ多い。朝鮮人の漁具は舉網、刺網、延繩等にして、舉網は一漁期間定置するものと定置しないものとあり、其の定置漁場は江原道に最も多く、咸鏡南北道これに亞ぎ、定置せざるものも亦多い。刺網

は、盛漁期中咸鏡南道に於て操業するものが最も多く、延繩は江原道、咸鏡南道、同北道に於て盛んに使用されて居る。明太魚は生鮮の儘販賣することあるも、概ね乾製し、全鮮到る處にその需用がある。明太魚の卵は鹽藏して樽詰と爲すが、鮮内に汎く需用あり、また近年内地に移出するものも少くない。

石首魚

石首魚は鮮人の最も嗜好する魚類にして、明太魚と共に冠婚喪祭に缺くべからざるものとし、其の漁業は古來盛大であつた。明治三十年に内地人が鰈鱈網を用ひ、西海岸に於て本漁業に著手せし以來、内地通漁者逐年増加し、鮮人も亦この漁法に倣ひて漸次發展を爲しつゝある。石首魚は西海岸及び南海岸一帶來游するも、其の主要漁場は概ね西海岸に在り、元來西海岸は良港乏しく潮流も亦急なる爲め、漁船漁具の運用操縦相當困難にして、従つて現在の漁場區域は操業容易なる範圍に止まつて居るが、將來擴張の餘地は少くあるまい。漁期は概ね四月より十月迄にして、各道に於ける盛漁期及び主要漁場を示せば左の通りである。

道別	盛漁期	主要漁場
慶尙南道	自六月至八月	固城、統營、泗川、南海、河東各郡沿岸
全羅南道	自五月至十月	羅老島、珍島、蟬島、七山灘近海

全羅北道	自五月至六月	古群山、圓島、竹島近海
忠清南道	自九月至十月	外煙島、及び鰲川近海
京畿道	五月	德積島沖合
黄海道	五月	延平灘、白翎島近海
平安南道	自七月至九月	上下芒魚島近海
平安北道	自六月至七月	魚泳島、圓島、大和島近海

内地人通漁者は鰈鱈網を主要漁具とし、大敷網、角網等をも用ふる。鰈鱈網は西海岸及び羅老島以西の南海岸に使用せられ、其の大部分の漁船は毎年四月全羅南道蟬島に至り、七山灘より操業を開始し、魚群の移動するに従ひ、全羅北道圓島、竹島、忠清南道外煙島、黄海道延平灘等の主要漁場を経て、七月頃平安北道圓島、大和島方面に轉漁し、八月に至りて終了する。此の外のものは五、六月頃全羅南道羅老島に根據し、同道南海岸に操業す、漁獲物は概ね漁場に於て出買船に販賣し、出買船は之を氷藏又は鹽藏として各地に運搬販賣する。石首魚を漁獲する大敷網、角網は小規模にして、全羅南道安島附近、慶尙南道沿岸に於て五、六月及び九、十月の二期間操業し、この外鱈、鯖等を目的とする稍々大規模の漁具に依りて混獲する。此等の漁獲物は概ね生鮮の儘、鮮人出買船、又は市場に販賣する。朝鮮人は鰈鱈網、中船、碇船、柱木網、一本釣等を使用し、鰈鱈網も多く、内地人と同様に操業し、漁獲高亦殆んど伯仲の間に在り、中

船は鰈鱈網に似て居るが、朝鮮古來の漁具にして、概ね西海岸各所の内海に於て使用し、本漁具は漸次鰈鱈網に轉化する傾向あり、碇船は朝鮮在來の刺網にして、忠清南道以北の西海岸に於て操業し、柱木網は全羅北道より黄海道に至る沿岸に多く、一本釣は各地方共これを用ひ、就中全羅南道、慶尙南道に多い。漁獲物は鮮人魚商がこれを買取り、概ね鹽藏して販賣する。

鱈

鱈も亦鮮人の嗜好に適し、古來これを漁獲したが、その漁業は防簾、魚張、魚箭等の定置漁具に依り、概ね内灣に於て行はれ漁具も漁法も幼稚であつた。明治四十年頃内地人のこれに着手して以來、大敷網、小臺網、角網等の定置漁場も追々増加し、また延繩に依り稍沖合に操業せしが、鮮人もこれに倣ひ漁具を改良して従業するに至り、本漁業は近年著しく進歩した。鱈は殆んど全沿岸に來游するも、其の漁場は各地方共概ね内灣にして、就中鎮海灣は最も多く漁獲がある。近年延繩漁船で本漁業に従事するに至り、沖合漁場は好望であるが、その漁期冬季又は初春に當り荒天多き季節なるを以て、西海岸の如く冬季風浪高き地方に在りては、現今一般に使用せる漁船の操業困難なる爲め、漁場の利用未だ充分でない。將來漁船を改良し沖合漁業に適せしめたなら、その漁場は相當擴張せらるやう、また鱈は從來生鮮の儘にて鮮内に

需用せられたが、東海岸各地に在りては近年内地人魚商の各所に製造場を設け、輸移出向乾鱈を製造するものある等、その事業は將來好望にして相當獎勵の要がある。漁期は地方に依りて遅速あるも、大體十一月前後より翌年四、五月に至る。各道に於ける盛漁期及び主要漁場を示せば左の通りである。

道別	盛漁期	主要漁場
咸鏡北道	四月	咸津、大良化、獨津、清津、西浦項近海
咸鏡南道	自四月至五月	進湖、新浦、六台、西湖津近海
江原道	自四月至五月	致弓、長箭、烽燧津、注文津近海
慶尙北道	自十二月至翌年一月	迎日灣、清河灣、丑山近海
慶尙南道	自十二月至翌年一月	鎮海灣、巨濟島近海
全羅南道	自十二月至翌年二月	大里山島、鞍馬島近海
全羅北道	同上	於青島、古群山島近海
忠清南道	同上	外煙島近海
黃海道	四月	大小青島、椒島近海
平安南道	四月	德島近海

内地人通漁者の漁具は、大敷網、小臺網、角網等の定置漁具、及び延縄を使用し、延縄漁船も亦慶尙南道に多く、常時は鯛、其の他の漁獲に従事し、鱈の盛漁期中はこれに轉漁する。朝鮮人は防簾、漁張、魚簞等の定置漁具、及び延縄、掛釣等の運用漁具を使用し、その定置漁場は慶尙南道、慶尙北道、江原道、

咸鏡南道、咸鏡北道に亘り、慶尙南道以外の各漁物は併せて鯨を漁獲する。鱈延縄は近年各方面共に相當増加し、掛釣は鎮海灣内に行はれて居る。

鯨 漁 業

鯨は明太魚、石首魚と共に朝鮮人の嗜好に適し、古來防簾、魚張等の定置漁具、及び刺網を用ひて漁獲した。其の漁場は東海岸、及び南海岸に亘り、殊に永興灣、長箭灣、迎日灣、蔚山灣、釜山灣、馬山灣、鎮海灣等は其の主要漁場であつたが、馬山灣、鎮海灣に在りては既に五十年來その來游を見ず、釜山灣は十餘年前迄は漁業尙ほ盛なりしも明治四十二年以來遂に廢滅し、蔚山灣に在りては魚張、防簾等の定置漁場二百餘箇所ありて南海岸中鯨の最大漁場たりしが、明治四十二年來著しく衰頹して僅に其の跡を存するのみである。斯くの如く南海岸に於ては今や殆んど鯨の來游を見ないが、江原道の北部、咸南咸北の沿岸には轉近著しく來游し、鯨舉網、刺網等の漁業が勃興するに至つた。現今の鯨魚場は迎日灣、永興灣、雄基灣等著名にして、此の外東海岸に於ける港灣入江に在りては各相當漁獲あり、近年東海岸一帯に亘りて鯨の來游あり、將來漁場開拓の餘地少くない。漁期は南方に於ては毎年十二月に始まり翌年二月に終り、北方に於ては三月に始まり五月に終る、尤も咸南、咸北兩道沿岸に在りては七、八月の候鯨の大群を見る

ことあり、各道に於ける盛漁期、及び主要漁場を示せば左の通りである。

道別	盛漁期	主要漁場
咸鏡北道	四月	雄基灣、清津灣、城津灣
咸鏡南道	自三月至四月	永興灣、及び端川郡沿岸
江原道	自二月至三月	長箭灣、注文津、三陟、蔚珍、通川沿岸
慶尙北道	自一月至二月	迎日灣、及び其の附近
慶尙南道	自一月至二月	蔚珍灣、及び其の附近

内地人通漁者は角網、壺網等の定置漁具を用ふ。その漁場は慶尙北道に最も多く、江原道、咸鏡南道、同北道、これに亞ぎ、朝鮮人は罾網、防簾等の定置漁具、及び刺網、地曳網等の運用漁具を使用し、定置漁場は咸鏡南道に最も多く、江原道、慶尙北道、咸鏡北道等にして、これ等は總て鯨、鰹を混獲するものである。刺網も慶尙北道に最も多く、慶尙南道、江原道、咸鏡北道これに亞ぎ、また地曳網を以て、鯨、鰹、其の他を混獲するものもあり、其の漁場は江原道、及び咸鏡南道に最も多い。

鯨 漁 業

鯨は朝鮮にて一名亡魚と稱し、不吉なる魚類として食せざりし地方もありて、古來これが漁獲を専業とするものなく、咸鏡南道、江原道、慶尙南道に在りては、鯨地曳網、鯨底刺網、及び鯨魚張にて混獲した

に過ぎなかつたが、明治二十一年香川縣下の流網漁業者渡來し、釜山及び巨濟島附近に於て本漁業を試みたるに、一回の操業能く數千尾を漁獲し漁利多大なりしを以て、僅々二、三年にして香川、岡山、山口等各縣の通漁船百四、五十隻に達し、漁場漸次西に進み、同三十年頃には七山灘、群山沖合に及んだが、同三十四、五年に至り七山灘には鯨網漁船増加し、流網はこれに壓倒せられ、同方面に在りては本漁業は遂ひに衰頹したが、其の後釜山以北、及び慶尙北道沿岸に發展し、明治四十年頃には船數三百隻に達し、これより先、福岡縣、及び山口縣下の曳網漁船渡來し、慶尙北道、江原道沿岸に於て操業し、流網と共に逐年増加し、また沿岸各所には定置漁業相次いで起つて居る。現在本漁業の行はるゝは東海岸、南海岸、及び忠清南道以南の西海岸にして、京畿道以北に於ては未だ數ふるに足らぬが、將來幾分開發の見込がある。また江原道以北に於ける漁場は慶南、慶北の漁場と對比し其の利用未だ充分ならず、即ち江原道沿岸に於ては明治四十一、二年頃、多數の曳網漁船出漁し、到る處相當漁獲を擧げて居るが、處理運搬の便開けざる爲め未だ操業するもの少き等、尙は相當の餘地がある。漁期は南海岸に在りては周年の地方ありて一般長期に亘るも、東岸に在りては概ね五月、六月より十月迄にして、各道の盛漁場を示せば左の通りである。

道別	盛漁期	主要漁場
咸鏡北道	自六月至七月	清津沖合

咸鏡南道	自六月至九月	咸興灣、永興灣、及び新浦近海
江原道	自九月至十月	烽巖津、巨津、大津、注文津近海
慶尙北道	自翌年十一月	江口、迎日灣、甘浦、九龍浦近海
慶尙南道	右同	蔚山、東萊、統營各郡沖合、馬山灣、鎮海灣
全羅南道	自五月至十月	安島、羅老島、損竹島近海
全羅北道	五月	古群山島、竹島近海
忠清南道	五月	外煙島近海

内地人通漁者が鱈の漁獲に専用するは流網、曳縄釣にして、大敷網、大謀網、角網は鰯、その他と共にこれを混獲し、流網漁船は概ね四人乗にして香川縣、岡山縣、山口縣、島根縣等の通漁船多く、慶尙南道並に同北道に移住せる香川、岡山等の漁民の漁船も少からず、その通漁船の過半数は毎年釜山に渡來し、鎮海灣、馬山灣、及び釜山近海に出漁し、十一月初旬慶尙南道方魚津、慶尙北道、江原道方面に轉漁し、殘餘の漁船は内地より直接方魚津及び甘浦方面に渡來し其の附近に出漁する。斯くて翌年一月に至れば何れも慶尙南道に移り、釜山以北蔚山郡沿岸に於て操業し、三月頃巨濟島近海の漁場を経て、四月全羅南道羅老島に至り、五月に入り全羅北道、忠清南道沖合に轉漁し、六月終漁するを例とする。曳縄漁船には一人乗又は三、四人乗のものあり、釜山、方魚津、九龍浦等より出漁するもの多く、その他は福岡縣、山口縣等の通漁船にして、毎年十月頃より翌年三月頃迄慶尙南道、江原道沿岸に操業し、漁獲物は概ね漁場又は

根據地に於て運搬業者が買収し、石油發動機船に依りて内地に運搬する。大敷網、大謀網、角網等の定置漁場は東海岸及び慶尙南道に多く、他の魚類と混獲するものである。朝鮮人は流網、曳縄、地曳網等を用ひ、流網は咸鏡南道、慶尙北道に多く、漁夫各自が網二、三十尋宛を所持し、一漁船に七、八人乃至十二、三人乗込み各自の網を連絡して操業するを例とす。曳縄は慶尙北道に於て操業するもの多く、江原道以北の東海岸に於ける地曳網には鰻、鰈、鰯、鱈等を混獲するものあり、鯖の漁獲も少ないが、此の種地曳網漁場は江原道に最も多く、咸鏡南道これに亞ぎ、咸鏡北道にも行はれて居る。

鯛

鯛は鮮人の嗜好に適するが、往時は其の漁業幼稚にして、江原道に於ける鰻、其の他の地曳網でこれを混獲するに過ぎざりしが、明治十八、九年以來内地人の鯛延縄漁船渡來して、慶尙南道欲知島近海に於て操業し、漁船漸次増加すると共に漁場開發せられ、同三十年頃は船數七、八十隻、これに附隨する母船二十餘隻に達し、遠く忠清南道近海に出漁するに至つた。斯くて一本釣、延縄等相次いで起り、鮮人も亦これに倣ひ汎く操業するやうになつた。鯛は全沿岸に其の漁獲を見るが、これに従事するは延縄及び一本釣である。漁船は不完全にして出漁能力充分でない爲め、漁場は未だ沿岸近海の域を脱しないが、その漁船漁

具を改良し沖合操業に適せしめるときは、漁場擴張の見込少くない。漁期は概ね四、五月より十一月頃迄なるも、南海岸に在りては周年に及ぶ所あり、各道の盛漁期及び主要漁場は左の通りである。

咸鏡北道	咸鏡南道	江原道	慶尙北道	慶尙南道	全羅南道	全羅北道	忠清南道	京畿道	黃海道	平安南道	平安北道
八	七	六	六	自五月至六月	右	自五月至七月	右	右	自五月至六月	自八月至十月	自八月至九月
月	月	月	月	月	同	同	同	同			
清津、獨津、城津沖合	元山、西湖津、新浦沖合	杆城、通川、江陵沿海	迎日、九龍浦、甘浦沖合	蔚山、東萊、三千浦、統營沖合	濟州島、楸子島、安島、巨文島近海	竹島、圓島、古群山島近海	瑞山沿海	竹島近海	延平島、大小青島、白翎島近海	德島近海	大和島、蔚島、圓島沖合

漁具は延縄、一本釣、鮫鱈網等とし、延縄漁船は慶南、全南に最も多く、全北、忠南に於ても操業し、慶北、江原、平安北道に於ては未だ盛んでない。慶南、全南の兩道に於けるものは、鮮魚運搬業者に漁獲

物を販賣する契約にて資金の供給を受け居るもの多く、運搬業者は夫々主要漁場又は漁船根據地に石油發動機船を廻航し、各漁船の漁獲物を買収して内地へ輸送する。故に南海岸に於ては魚市場其の他鮮内に陸揚せらるゝもの比較的少く、西海岸及び東海岸に在りては運搬業未だ南海岸の如く發達せざるを以て、漁獲物は概ね魚市場に陸揚する。一本釣漁船は概ね全羅北道より平安南道に至る間に於て操業し、鮫鱈網にて鯛を漁獲するは全北、忠南の兩道沿岸にして内鮮人共其の操業盛んである。即ち毎年五月頃同方面石首漁業に出漁の鮫鱈網漁船は、鯛の盛期たる八十八夜前後十餘日間これが漁獲に従事して居る。

太刀魚

太刀魚も亦一般鮮人の嗜好に適し、需用廣く其の漁業は古來行はれたが、漁具は一本釣の外特に見るべきものなく、南海岸に於ては魚箭、及び魚張、西海岸に於ては中船、及び柱木網に依り、他の魚類と共にこれを混獲したるに過ぎない。然るに支那戎克船は漁獲に専用すべき延縄を用ひて黃海、京畿、忠南の各道沿岸に來漁し、其の數年々二百隻内外を算したが近年は其の跡を絶つに至つた。内地人は明治三十年鮫鱈網を用ひて本漁業に着手し、鮮人も亦これに倣ふて操業し、その漁船漸次増加して居る。太刀魚は西海岸及び南海岸の各道並に慶尙北道沿岸に分布し、就中慶南、全南、及び忠南に多産し、漁期は四、五月よ

り十一月に及ぶ。各道の盛漁期及び主要漁場を示せば左の通りである。

道	別	盛漁期	主要漁場
慶尙	北道	十月	迎日灣、清津灣
慶尙	南道	自八月至十月	方魚津、大邊、巨濟島近海
全羅	南道	自七月至十月	蜆島、五馬路島、所安島、羅老島、安島近海
全羅	北道	自五月至十月	古群山、竹島、於青島近海
忠清	南道	右	鹿島、外煙島近海
黃海	南道	九月	海州灣、大東灣、夢金浦近海
平安	南道	自九月至十月	德島近海
平安	北道	自五月至七月	身彌島、大和島、圓島近海

内地人通漁者の漁具は大敷網、角網、延繩、一本釣、及び鰈鱈網等にして、大敷網並に角網は慶南、全南の南海岸に於て太刀魚の外、鰻、鱈、石首魚等を混獲する。一本釣は慶南巨濟島及蔚山附近に於ける移住漁民の操業に係り、小漁船一隻に漁夫二、三人乗組み夜間出漁する。延繩は黃海道夢金浦附近の移住漁民がこれを使用し、其の漁船は二、三人乗の小漁船にして船數は未だ多くない。鰈鱈網は全羅南道羅老島及び西海島各所に於て使用せられ、石首魚其の他の魚類を混獲する。春季漁獲せらるゝは凡て小太刀魚にして其の數量頗る多く、定置漁具に在りては一日數百貫を漁獲するは珍しくない。これ等は殆んど肥料に製造す

るが、近年人造眞珠の原料として其の鱗を利用するものがある。朝鮮人は魚箭、中船、柱木網、鰈鱈網、延繩、一本釣等に依りこれを漁獲する。魚箭、柱木、中船等は西海岸各所の灣内に於て操業し、鰈鱈網は羅老島及び西海岸各所に於て操業するもので、何れも太刀魚、石首魚其の他を混獲し、一本釣は各道沿岸に、延繩は主として慶南、全南、黃海の沿岸に於て使用せられる。

鰈

鰈は全沿岸到る所に其の棲息を見るも、往時は鮮人のこれを漁獲するもの甚だ稀にして、慶南太邊浦、慶北九龍浦近海に刺網漁業の行はれたに過ぎなかつた。明治二十四、五年頃山口縣下の漁民濟州島に渡來し、延繩を用ひて其の漁業を開き相當の漁利を収め、大分、長崎、福岡、廣島等各縣漁民相次いで出漁し、鮮人も亦これに従事するに至り、慶南、全南兩道沿岸に其の漁場を開拓した。從來操業せる漁場は主に全南、慶南兩道沿岸にして、其の他に在りては未だ多く行はれぬ。黃海道其の他の西海岸に在りても鰈の來游が多いから、漸次漁場開拓せられやう。漁期は南海岸に於ては殆んど周年なるも、西海岸に於ては概ね四月より九月に至る。各道に於ける盛漁期及び主要漁場は左の如くなつて居る。

道	別	盛漁期	主要漁場
慶尙	南道	自八月至九月	蔚山、巨濟島沖合、欲知島近海

朝鮮の物産

六九四

全羅南道	自五月至十月	濟州島、楸子島、巨文島、大黑山島近海
全羅北道	自六月至七月	於青島、古群山島近海
忠清南道	自六月至七月	竹道、狐島、安興鎮近海
黃海道	自五月至六月	延平島近海

内地人の用ふる漁具は延縄、打瀬網にして、延縄は慶南釜山、巨濟島、全南麗水、巨文島、楸子島、木浦等に於ける移住漁業者、及び山口、大分、長崎、福岡等各縣通漁者の操業する處に係り、一漁船四人乃至六人乗込み出漁する。釜山及び巨濟島附近に於けるものは、その漁獲物を生鮮の儘、魚市場又は運搬船に販賣するも、巨文島、楸子島、木浦等に於けるものは、鰯は日乾し、肉は鹽藏して販賣する。打瀬網は釜山、統營、三千浦、麗水等に多く、鰈、鯉、其の他の底魚を混獲し、この外鯛延縄、鰈鰾網、其の他各種の定置漁具にありても鰯を混獲することが少くない。朝鮮人は漁具は刺網及び延縄にして、刺網は慶南太邊浦、慶北九龍浦附近に於てこれを使用するものあり、延縄は濟州島、楸子島、黑山島、地方に多く、この外中船、柱木網、鰈鰾網等にて漁獲するものも少くない。

鹽

朝鮮に於ける民間の製鹽は古來専ら煎熬式に依り、その製法の幼稚なるのみならず、燃料不足して高價

なるため生産費高きに失し、李朝末葉に於ては、常に安價なる輸入支那鹽に壓倒せられ、到底發達の見込がなかつたので、舊韓國政府は統監の指導に依り、財源の涵養に資するの目的を以て京畿道朱安に鹽業試験場を設け、明治四十年以來天日製鹽の試験を行ひ、成績の良好なるを認めたるに因り、天日製鹽を官營とし、第一期鹽田築造計畫を樹てたのである。日韓併合後は朝鮮總督府に於て該計畫を繼承實施し、明治四十二年より大正元年に至る四箇年に互り、平安南道廣梁灣に於て七百七十四町歩、京畿道朱安に於て八十八町歩、合計八百六十二町歩の鹽田築造を完成し、更に其の成績に鑑み、第二期計畫として大正六年より鹽田増築に著手し、朱安に於て大正七年迄に百二十四町歩、廣梁灣德洞に於て同八年迄に百五町歩の鹽田を築造し、尙ほ德洞に於ては大正九年度迄に更に鹽田百十八町歩の増築を完成し、官營天日製鹽田は總面積一千二百九町歩に達した。然しながら前記鹽田は其の生産年額一億一千万斤を出ずして、半島の推定總需要量四億斤に對し、僅に其の四分の一を充たすに過ぎないので、新に第三期鹽田築造計畫を樹て、大正九年度以降七箇年繼續事業として鹽田二千六百町歩を築造することとし、既に平安南道貴城に百四十九町歩、京畿道南洞に三百町歩、平安北道南市に二百七十七町歩、京畿道君子に五百七十五町歩、計一千二百四十一町歩を竣成せしめたが、東都大震災復興の爲め、朝鮮事業公債打切の結果、本事業も中止の止むなきに至つた。官營天日鹽は鹽田の増築とその老熟とに伴ひ、逐年生産高を増加し、明治四十四年度に於て

四百五十萬斤に過ぎなかつたものが、大正三年度には四千八百萬斤、同八年度には八千四百萬斤、同九年度には九千一百萬斤、同十年度には九千三百萬斤に上つたのである。同十一年度には天候不良の爲め七千五百萬斤、十二年度は鹽田海嘯被害の爲め六千七百萬斤に減じたが、同十三年度には一億八百萬斤に上つたけれども、現在鹽田は地盤老熟せざるものあるに因り、未だその最高可能量を産出するに至らない。製鹽業の發達に伴ひ政府の鹽業收入も亦これに伴うて増進し、明治四十四年度に於ては其の金額僅に八萬餘圓に過ぎざりしものが、大正七年度には五十八萬餘圓、同八年度は百二萬餘圓を算した。大正九年度に於ては財界の不況に伴ふ賣行の不振と價格の低落とに因り二十九萬餘圓に減じたるも、同十年度に於ては九年度の反動にて百十六萬餘圓に上り、同十一年度に於ては八十六萬圓、同十二年度に於ては五十六萬圓、同十三年度に於ては百五萬圓を示したのである。官營天日鹽は從來主として原鹽の儘食料若くは漁業用等に供せられ、精製品たる食卓鹽は多く内地外國等より輸入するの状況であつたが、大正十年度より朱安に於て其の優良品を製出し一般市場に發賣したるに、其の結果良好なりしを以て、同十一年度よりは更に工場を擴張し産額の増加を圖つて居る。

海 苔

朝鮮に於ける海苔の養殖事業は相當古くより行はれて居たが、内地式の抄造法に依りて製出するに至つたのは十數年來のことである。朝鮮在來の製品は極めて粗惡なりしも、官廳の指導獎勵と民間業者の發奮とにより、漸次優良なる製品を出すに至り、價格著しく昂上する共にその産額の増加を來し、現今に於ては地方の主要なる産業たるに至つた。即ち大正五年に於ける移出額は數量二十三萬斤、價額十六萬五千圓に過ぎざりしが、大正十一年には一躍八十萬斤、價額百六十五萬圓に達し、數量に於て三倍半、價額に於て約十倍に増加した。朝鮮に於ける海苔は、品質に於て東京灣の産に對抗し得ざるも、素材料勞働費比較的低廉にして生産費を要すること少く、従つて製品價格の低廉なること内地品の約半値なると、その他出廻り早く光澤の見事なる等の特徴を備ふるを以て、自然移出品として相當の聲價を博して居る。從來海苔は香味本意の嗜好品にして、其の價格も比較的高價なるを以て、主として中産階級以上に用ひられ、これが榮養價値の如き從來毫も認められざりしが、先年榮養研究所長佐伯博士により、海苔中には多量の「ビタミン」を含有し、榮養素に富むことを發見せられ、一層海苔の聲價を揚ぐるに至つたから、今後は内地品に比し廉價なる朝鮮海苔が、保健食品料品として社會の各階級に歡迎せらるゝに至るであらう。朝鮮に於てはこれが養殖に適する干瀉地多く、事業擴張の餘地尠からざるを以て、應て東京灣の産額に達することも遠くはあるまい。現今海苔の養殖區域は、慶尙南道洛東江口以西全羅南道珍島郡に至る干瀉地を主と

し、その中最も養殖の濃厚なる地方は、全羅南道の莞島郡を中心とし、長興郡、高興郡、康津郡一部にして、次は全南と慶南との境界をなす蟾津江流域である。此の二區を起點とし、數年前より東は洛東江に進み、西は近年海南郡に至り、更に同郡の突角を廻り珍島郡に北進し、北方の木浦灣にても、大正五六年頃より海苔の移植を企て相當の成績を示し、近年各地共其の濃密の度を加へて來た。また前年麗水々産學校に於ける海苔養殖試験の結果は頗る良好なるものあり、慶尙南道に於ても、晋州灣に目下移植試験中なるを以て早晚養殖場として開拓せらるゝに至るべく、今後沿岸の干潟地帯に於ける、海苔養殖業は刮目に値するものと思ふ。朝鮮に於ける海苔の主産地は全羅南道莞島郡にして、本郡中最も養殖の盛んなるは助藥島で、相當古くより行はれ、口碑の傳ふる所に依れば、今より百數十年前既に此の業あり、當時の製造法は、極めて幼稚粗雑なる恰も岩海苔を見るが如く網目狀をなし、製品は陸地方面の山奥に送りて、穀物と物々交換をなし、以て食料を補ふに過ぎなかつたのである。これを内地式抄製の海苔に改良するに至つたのは近年のことに屬し、總督府始政以來地方廳に於ても海苔の改良急務なるを認め、補助金を下附し、製造法の傳習を開始し、海苔改良組合を組織せしめ、専ら製品の改良に努め、更に莞島郡に海苔水産組合を組織せしめ、製品の検査を強製勵行して、品位の統一と品質の向上を計ると共に、更に共同販賣を行ふなど、その成績大に見るべきものがある。その他、長興郡、高興郡、光陽郡、河東郡、東萊郡などに於ては海

苔の養殖業が大に發達し、製品の改良、増産の爲め、或は内地式の傳習所を設け、或は共同販賣を行ひ、或は組合を設立する等、向上發展に努めて居る。

要するに海苔の養殖は頗る有利なる事業で、しかも冬期農閑の時期を利用することを得るを以て、副業として最も有望である。殊に生産費の安價なる朝鮮海苔の内地に於ける需要は無限と稱するを得べく、將來これが大量生産と、品質の向上を期するに於ては、その經營は頗る有望である。現今營まるゝ朝鮮の海苔養殖場所は、最も容易に築樹てを爲し得る所にして、全南地方に於ては徒歩築場に往復し得る場所尠からず、今後の發展は露出時間の比較的短き沖合に向つて養殖を進むるの必要がある。更に朝鮮海苔の東京灣生産品の價額に比し、殆んど半値以下に過ぎないのは、主として製法幼稚にして品質粗惡なるに因るのであるから、今後海苔養殖の改善統一を圖ると共に、鹽抜、抄法等に注意を拂ひ、優良なる製品を出すに至らば朝鮮海苔の聲價を博することも亦難いことではない。

第二節 水産品産額

朝鮮の水産品中その主要なるものに就いては概説したから、各種水産品の併合後に於ける累年の産額、及び各道別産額を示して見ると左の如くなつて居る。

[illegible]

[illegible][illegible]

[illegible][illegible]

[illegible]

煮乾品				鹽乾品				烏賊				蝦				蛸			
玉筋魚		淡菜		海參		鱈		鱈		石首魚		烏賊		蝦		蛸			
價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量	價額	數量		
1	1	3	4	7	7	4	1,434	1	1	1	1	2	6	1	1	3	2		
1	1	6	7	8	9	6	1,124	1	1	1	1	1	1	1	1	4	7		
1	1	8	3	8	7	8	1,174	9	9	1	2	1	1	1	1	6	3		
7	7	3	3	1	8	2	1,300	8	2	1	2	7	8	1	1	5	7		
7	7	6	8	2	7	1	2,877	4	8	1	3	1	1	1	1	7	8		
4	4	1	1	2	9	1	2,198	2	2	3	7	1	1	1	1	2	2		
8	8	2	2	3	6	2	2,433	2	3	7	4	1	1	1	1	7	3		
1	1	3	3	4	3	3	3,091	4	4	1	7	1	1	1	1	2	3		
2	2	1	1	8	1	5	2,511	8	4	5	5	3	4	4	4	1	6		
1	1	1	1	7	1	4	2,351	4	4	7	5	4	1	1	1	2	7		
1	1	1	1	7	1	4	2,668	3	3	8	6	1	1	1	1	1	8		
1	1	1	1	7	1	4	3,103	6	6	8	7	1	1	1	1	1	8		
1	1	1	1	7	1	4	3,351	6	6	8	7	1	1	1	1	1	8		
1	1	1	1	7	1	4	3,668	6	6	8	7	1	1	1	1	1	8		
1	1	1	1	7	1	4	4,766	6	6	8	7	1	1	1	1	1	8		
1	1	1	1	7	1	4	5,865	6	6	8	7	1	1	1	1	1	8		
1	1	1	1	7	1	4	6,767	6	6	8	7	1	1	1	1	1	8		
1	1	1	1	7	1	4	7,668	6	6	8	7	1	1	1	1	1	8		
1	1	1	1	7	1	4	8,569	6	6	8	7	1	1	1	1	1	8		
1	1	1	1	7	1	4	9,470	6	6	8	7	1	1	1	1	1	8		
1	1	1	1	7	1	4	10,371	6	6	8	7	1	1	1	1	1	8		
1	1	1	1	7	1	4	11,272	6	6	8	7	1	1	1	1	1	8		
1	1	1	1	7	1	4	12,173	6	6	8	7	1	1	1	1	1	8		
1	1	1	1	7	1	4	13,074	6	6	8	7	1	1	1	1	1	8		
1	1	1	1	7	1	4	13,975	6	6	8	7	1	1	1	1	1	8		
1	1	1	1	7	1	4	14,876	6	6	8	7	1	1	1	1	1	8		

朝鮮の物産

七一〇

の分より掲記せり。

二、本表は千位未満の端數を切捨て掲記したるを以て合計と一致せず

昭和十五年

種別	數量	價額	年次
鮪	數量	價額	大正七年 同 八年 同 九年 同 十年 同 十一年 同 十二年 同 十三年 同 十四年
鯉、鮒、鰻、鼈、鱒	數量	價額	大正七年 同 八年 同 九年 同 十年 同 十一年 同 十二年 同 十三年 同 十四年
海	數量	價額	大正七年 同 八年 同 九年 同 十年 同 十一年 同 十二年 同 十三年 同 十四年
伏老貝	數量	價額	大正七年 同 八年 同 九年 同 十年 同 十一年 同 十二年 同 十三年 同 十四年
蛸	數量	價額	大正七年 同 八年 同 九年 同 十年 同 十一年 同 十二年 同 十三年 同 十四年
青	數量	價額	大正七年 同 八年 同 九年 同 十年 同 十一年 同 十二年 同 十三年 同 十四年
鯉	數量	價額	大正七年 同 八年 同 九年 同 十年 同 十一年 同 十二年 同 十三年 同 十四年
鮒	數量	價額	大正七年 同 八年 同 九年 同 十年 同 十一年 同 十二年 同 十三年 同 十四年
鰻	數量	價額	大正七年 同 八年 同 九年 同 十年 同 十一年 同 十二年 同 十三年 同 十四年
鼈	數量	價額	大正七年 同 八年 同 九年 同 十年 同 十一年 同 十二年 同 十三年 同 十四年
鱒	數量	價額	大正七年 同 八年 同 九年 同 十年 同 十一年 同 十二年 同 十三年 同 十四年

[illegible]

備考 一、養殖業に關しては大正六年以前に於ては統計の據るべきものを以て大正七年以後の分を掲記せり。
二、紅鯿、鯛、鮑、鰯貝等の養殖事業を営むものあるも收穫なきを以て本表に掲記せず。

漁獲高道別累年比較表

道名	年次	明治十四年	大正元年	同二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年	同八年	同九年	同十年	同十一年	同十二年	同十三年	同十四年	昭和元年
京畿道	数量	?	千貫 一、四八八	千貫 一、五七〇	千貫 一、二四五	千貫 八五六	千貫 一、四三三	千貫 一、五八八	千貫 一、三五四	千貫 一、一五六	千貫 一、〇二七	千貫 一、〇四五	千貫 一、三八八	千貫 一、〇六六	千貫 一、三三八	千貫 一、〇六六	千貫 一、三三八
忠清北道	数量	?	千貫 一、四八八	千貫 一、五七〇	千貫 一、二四五	千貫 八五六	千貫 一、四三三	千貫 一、五八八	千貫 一、三五四	千貫 一、一五六	千貫 一、〇二七	千貫 一、〇四五	千貫 一、三八八	千貫 一、〇六六	千貫 一、三三八	千貫 一、〇六六	千貫 一、三三八
忠清南道	数量	?	千貫 一、四八八	千貫 一、五七〇	千貫 一、二四五	千貫 八五六	千貫 一、四三三	千貫 一、五八八	千貫 一、三五四	千貫 一、一五六	千貫 一、〇二七	千貫 一、〇四五	千貫 一、三八八	千貫 一、〇六六	千貫 一、三三八	千貫 一、〇六六	千貫 一、三三八
全羅北道	数量	?	千貫 一、四八八	千貫 一、五七〇	千貫 一、二四五	千貫 八五六	千貫 一、四三三	千貫 一、五八八	千貫 一、三五四	千貫 一、一五六	千貫 一、〇二七	千貫 一、〇四五	千貫 一、三八八	千貫 一、〇六六	千貫 一、三三八	千貫 一、〇六六	千貫 一、三三八
全羅南道	数量	?	千貫 一、四八八	千貫 一、五七〇	千貫 一、二四五	千貫 八五六	千貫 一、四三三	千貫 一、五八八	千貫 一、三五四	千貫 一、一五六	千貫 一、〇二七	千貫 一、〇四五	千貫 一、三八八	千貫 一、〇六六	千貫 一、三三八	千貫 一、〇六六	千貫 一、三三八
慶尙北道	数量	?	千貫 一、四八八	千貫 一、五七〇	千貫 一、二四五	千貫 八五六	千貫 一、四三三	千貫 一、五八八	千貫 一、三五四	千貫 一、一五六	千貫 一、〇二七	千貫 一、〇四五	千貫 一、三八八	千貫 一、〇六六	千貫 一、三三八	千貫 一、〇六六	千貫 一、三三八
慶尙南道	数量	?	千貫 一、四八八	千貫 一、五七〇	千貫 一、二四五	千貫 八五六	千貫 一、四三三	千貫 一、五八八	千貫 一、三五四	千貫 一、一五六	千貫 一、〇二七	千貫 一、〇四五	千貫 一、三八八	千貫 一、〇六六	千貫 一、三三八	千貫 一、〇六六	千貫 一、三三八

慶尙南道	数量	七、一六九	六、八六六	一、〇、九三三	一、七、三三三	四、五、一三三	二、七、九七七	二、七、八八三	三、〇、五五五	三、〇、五五五	三、〇、五五五	三、〇、五五五	三、〇、五五五	三、〇、五五五	三、〇、五五五	三、〇、五五五	三、〇、五五五
慶尙南道	價額	二、五五〇	二、二七五	四、一、五六一	四、七、七三三	五、五、九二一	五、五、九二一	五、五、九二一	五、五、九二一	五、五、九二一	五、五、九二一	五、五、九二一	五、五、九二一	五、五、九二一	五、五、九二一	五、五、九二一	五、五、九二一
黃海道	数量	三、八三	八、八〇	二、六五二	二、六五二	一、八、八六	一、八、八六	一、八、八六	一、八、八六	一、八、八六	一、八、八六	一、八、八六	一、八、八六	一、八、八六	一、八、八六	一、八、八六	一、八、八六
黃海道	價額	二、三三	二、七三	六、七	六、七	五、〇三	六、七〇	一、〇、八七	一、〇、八七	一、〇、八七	一、〇、八七	一、〇、八七	一、〇、八七	一、〇、八七	一、〇、八七	一、〇、八七	一、〇、八七
平安南道	数量	一、六	一、二四	三、六	三、六	一、一、八七	九、七三	二、四、九	一、七、三	一、〇、三	一、〇、三	一、〇、三	一、〇、三	一、〇、三	一、〇、三	一、〇、三	一、〇、三
平安南道	價額	一、〇〇	一、〇九	二、九	二、九	一、〇一	三、四	五、八	四、九	五、八〇	七、六四	九、二四	九、六三	九、六三	九、六三	九、六三	九、六三
平安北道	数量	七、五三	五、三三	一、五七	一、五七	一、九、四九	二、〇、四一	一、九、四九	一、九、四九	一、九、四九	一、九、四九	一、九、四九	一、九、四九	一、九、四九	一、九、四九	一、九、四九	一、九、四九
平安北道	價額	三、六八	二、〇	五、五五	五、五五	六、八六	七、三三	八、八〇	八、八〇	八、八〇	八、八〇	八、八〇	八、八〇	八、八〇	八、八〇	八、八〇	八、八〇
江原道	数量	一、一三三	一、一三三	四、〇、三三	七、五、五	四、五、四一	六、九、九三	四、五、四一	五、八、八六	七、三、三三	五、八、八六	七、三、三三	五、八、八六	七、三、三三	五、八、八六	七、三、三三	五、八、八六
江原道	價額	一、二七	八、四八	六、五	七、六四	五、八二	七、三三	八、三三	一、〇、九二	一、四、四六	一、五、四一	二、一、一〇	一、八、九三	二、一、一〇	一、八、九三	二、一、一〇	一、八、九三
咸鏡南道	数量	二、一六	三、六六	三、六六	四、五、五二	六、六、六〇	三、九、九〇	一、五、八四	一、四、三六	三、五、七八	一、八、八八	一、八、八八	一、八、八八	一、八、八八	一、八、八八	一、八、八八	一、八、八八
咸鏡南道	價額	一、〇四	一、二五	一、二五	八、二一	一、二、六三	一、六、九六	一、九、四九	三、四、九六	六、六、五五	四、六、二六	四、七、五八	五、三、三六	五、三、三六	五、三、三六	五、三、三六	五、三、三六
咸鏡北道	数量	二、二六	一、五、六	一、九、六	九、四、七	四、三、八八	七、〇、五五	一、九、三、二二	二、一、四、三三	六、〇、三九	七、五、〇三	九、三、五一	二、一、九三	二、一、九三	二、一、九三	二、一、九三	二、一、九三
咸鏡北道	價額	一、四二	一、九三	二、八〇	四、〇五	三、九〇	七、四	一、三、三三	一、五、六	一、六、〇一	一、九、二二	二、一、九三	二、一、九三	二、一、九三	二、一、九三	二、一、九三	二、一、九三
合計	数量	一、七、六九	一、四、六六	四、〇、三三	八、七、六六	九、三、〇、八七	九、三、〇、八七	九、三、〇、八七	九、三、〇、八七	九、三、〇、八七	九、三、〇、八七	九、三、〇、八七	九、三、〇、八七	九、三、〇、八七	九、三、〇、八七	九、三、〇、八七	九、三、〇、八七
合計	價額	六、六三	八、四六	一、二、二二	一、二、二二	一、三、三三	一、五、九五	二、〇、九三	三、三、八三	四、三、八四	五、三、六四	六、三、六四	七、三、六四	八、三、六四	九、三、六四	一〇、三、六四	一一、三、六四

備考 一、本表は千位未満の端数を切捨て掲記したるを以て合計と一致せず。

製造高道別累年比較表

道名	年次	明治十四年	大正元年	同二年	同三年	同四年	同五年	同六年	同七年	同八年	同九年	同十年	同十一年	同十二年	同十三年	同十四年	同十五年
京畿道	数量	八千	七千	九千	八千	六千	五千	五千	八千	五千	五千	四千	四千	四千	四千	四千	四千
忠清南道	数量	七千	七千	七千	七千	七千	七千	七千	七千	七千	七千	七千	七千	七千	七千	七千	七千
全羅北道	数量	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三	三
全羅南道	数量	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
慶尙北道	数量	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
慶尙南道	数量	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
黃海道	数量	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二

平安南道	数量	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
平安北道	数量	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
江原道	数量	九	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八
咸鏡南道	数量	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
咸鏡北道	数量	一	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二	二
合計	数量	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八	八

養殖高道別累年比較表

京畿道	数量	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
忠清南道	数量	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
全羅北道	数量	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
全羅南道	数量	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
慶尙北道	数量	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
慶尙南道	数量	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
黃海道	数量	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
平安南道	数量	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
平安北道	数量	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
江原道	数量	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
咸鏡南道	数量	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
咸鏡北道	数量	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一
合計	数量	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一	一

朝鮮の物産

大正十一年 八五、九四、四六
同十二年 二〇、二三、五三
同十三年 一二、七七、八五

七、七六、八三
八、九三、二八
一〇、二五、五八

大正十四年
同十五年
昭和元年

七二二
六、六九、〇七九

六、八八、〇六

鯨

年次

數量

價額

年次

數量

價額

大正元年 八、九三、七六
同二年 五、八四、四〇
同三年 六、八〇、三八八
同四年 八、六八、五四八
同五年 六、三三、六五九
同六年 五、四三、八四一
同七年 四、二七、五五八
同八年 五、〇三、七九二

三三、四四六
三五、四九九
三〇、八五九
三六、一三六
三三、四九四
三七、四五六
三三、六六〇
六五、〇〇七

大正九年
同十年
同十一年
同十二年
同十三年
同十四年
同十五年
昭和元年

三、九〇、五八二
二、七六、四四五
三、〇八、五五六
一、七三、四九
一、四〇、三六一
二、三六、一四六

四三〇、一八三
三二、一三三
四二、七六四
二、三三、一三一
二、五五、〇〇八
四〇九、二二六

乾魚

年次

數量

價額

明治四十三年

一、六六、五二九

八三、九二

大正八年

一五、〇八、五八四

四、一〇六、七三

同四十四年 一、七七、六〇
大正元年 三、七三、九八五
同二年 五、二四、九〇五
同三年 五、八九、八六六
同四年 七、二四、〇〇三
同五年 一〇、六四、〇五
同六年 一二、三三、三六八
同七年 一三、九二、九四

九五、八八
二二、五七九
五、四七、八六四
五、八六、三六
五、九三、四六六
九八四、三三九
一、五五、九六七
三、九四、五九一

同九年
同十年
同十一年
同十二年
同十三年
同十四年
同十五年
昭和元年

一三、〇四、六三
二四、三三、七六
一三、四三、四〇
一八、三三、二二
一七、五五、〇六
一四、六七、〇九七

三、七〇三、九二
三、九六、〇一〇
四、四七、〇三三
五、二六、七九三
五、〇一、一九三
五、〇三、三三九

乾鰾

年次

數量

價額

明治四十三年 二〇、五、二六四
同四十四年 三、四七、〇一九
大正元年 二、四〇、一七四
同二年 四、六一、四三〇
同三年 五、九、五〇四
同四年 七、三、九三三
同五年 七、四三、八六四

七、〇〇
四三、〇四六
四、六三
九三、〇四
一一、七七八
九八、九五
九七、四七七

大正六年
同七年
同八年
同九年
同十年
同十一年
同十二年

一、一四、〇〇三
六、四二、七四〇
七、四七、五四〇
六、三〇、九三三
七、六七、四三二
三、六六、六六
五、八二、七九五

一、八、三三
三、四八、八〇
三三、六五
三、七四、六三
二、七九、五二七
一、七二、四四五
二、八三、三九二

第十章 水産物

七二二

朝鮮の物産

大正十三年 一、三三、六三
同十四年 八六、七二

四〇、元九
二六、九〇八

大正十五年
昭和元年

七二四

乾

貝

年次

數量

價額

年次

數量

價額

明治四十三年 六五、八四〇
同四十四年 二九〇、六九〇
大正元年 二五、三五五
同二年 四八、一七五
同三年 八五、〇七一
同四年 一、八七七、七一
同五年 一、九二一、〇六六
同六年 二、八九、八八六
同七年 一、三三七、二三

八三、一〇五
四八、元九
五、二六四
二六、八五
三〇、七五
四二、五五
四七、六四
七三、七一
六〇七、二九二

大正八年 九二、三三
同九年 七三七、二六
同十年 七四、五七二
同十一年 八六、五〇八
同十二年 八六、二三四
同十三年 一、八五、〇八八
同十四年 九二、元七
昭和十五年

五五、五七
三二、四八
六四、一六九
四三、五〇
四〇六、四三
七〇六、八三
六三、九三

鹽

魚

年次

數量

價額

年次

數量

價額

明治四十三年 一、七四、七六

六、四四

大正八年

一七、一四、一七

一、三四、一九

同四十四年 一、三〇、四〇
大正元年 一、七二、〇六
同二年 二、八九、〇〇
同三年 三、九〇、四二
同四年 三、三〇、三五
同五年 三、三九、三三
同六年 七、〇七、五四〇
同七年 一、三三、〇三

五、九六三
六、八四四
一一、九九〇
一七〇、一六七
一七、四六九
一五、六六六
三五四、三九
七三、四四九

同九年 一五、〇六、九六
同十年 一八、五〇、五九
同十一年 二、九六、九七七
同十二年 三、四三、三三
同十三年 三、八四、二四
同十四年 三、〇八、九〇〇
昭和十五年

一、五五、六三四
一、一四〇、七二五
九七五、〇四四
一、四〇五、八四八
一、六三、一三
一、九四八、九八八

明

太

魚

卵

年次
大正三年 三三、二四〇
同四年 三六、二二〇
同五年 六五、六五九
同六年 八八〇、六四
同七年 六、七三、一六
同八年 一、四七、七八
同九年 一、三三、九五〇

二、八三〇
一六、二四三
三五、八六三
五、七八四
一七四、〇六六
二五、一〇三
三三、二八五

大正十年 二、四八、一五
同十一年 一、六五、九三三
同十二年 一、六七、九六三
同十三年 二、五七、八三二
同十四年 一、三三、四四〇
昭和十五年

四六、元三
三七、二七九
二九三、一四九
四九七、五二〇
三〇五、八二六

鱈 鰯

年次	數量	價額	年次	數量	價額
明治四十三年	三、一八六	二、二六六	大正八年	八、三九二	二、四〇六
同四十四年	二、九二七	九、八〇九	同九年	六、〇〇九	八〇、一六
大正元年	七、六七三	二五、七六五	同十年	六、三三七	五七、一五三
同二年	六、四九九	二六、五七	同十一年	三、三三三	三九、九五四
同三年	五、二六四	三三、〇九五	同十二年	六、七、二〇二	八四、七二六
同四年	六、一九三	二六、一六	同十三年	五、五八六	八八、七八
同五年	七、三六二	三七、五九〇	同十四年	六、一七〇	八四、八九三
同六年	六、四〇一	四八、五七四	昭和十五年		
同七年	六、六五四	七四、九三			

海 蔘

年次	數量	價額	年次	數量	價額
明治四十三年	三、〇、一五	八七、八〇	大正八年	三、四、六四〇	四〇、五、六二
同四十四年	三、〇、一三	九四、九六	同九年	三、一、七五七	五四、七五
大正元年	三、〇、七五八	九六、七六	同十年	四、四、九〇五	三三、四四五

石 花 菜

年次	數量	價額	年次	數量	價額
同二年	三、四、八四四	一三、七三	同十一年	三、〇、五八	三九、三三
同三年	三、五、六九	一三、九五	同十二年	三、四、五〇	四二、七二
同四年	三、七、五三	一四、四九	同十三年	四、二、六三〇	六三、一五三
同五年	四、〇、〇五八	一五、三六九	同十四年	三、五、六七二	四九、九七
同六年	五、一、〇四一	二九、三八	昭和十五年		
同七年	四、五、八五〇	三〇、〇六			

年次	數量	價額	年次	數量	價額
明治四十三年	一、四、三、六五	八七、八九四	大正八年	一、七、〇、四〇〇	二八、二四九
同四十四年	一、八、四、二六	一〇四、六七	同九年	九、九、四九六	一五、〇九一
大正元年	一、八、九、〇五二	一七、八元	同十年	一、一、六、四四一	一九、五七三
同二年	一、三、〇、四〇〇	一八、七六三	同十一年	一、〇、七、二一七	二六、四七二
同三年	一、四、四、八九	一五、七七一	同十二年	一、七、五、二七六	四八、二四四
同四年	一、七、四、三五	一八、〇、一六一	同十三年	二、二、八、二九二	七八、四三二
同五年	一、五、〇、〇九九	二七、三三	同十四年	一、九、六、四七六	八七、五七三
同六年	一、五、九、〇三	二九、六四	昭和十五年		
同七年	一、六、八、六六	二九、九一			

海

蘿

年次	數量	價額	年次	數量	價額
明治四十三年	一、〇七三、〇〇三	八三、〇〇六	大正八年	一、六七三、九七九	一、三三七、九四〇
同四十四年	一、〇七三、八三六	八〇、七五五	同九年	一、三六九、九三三	四六、〇〇七
大正元年	一、八八六、六四一	一四四、三三三	同十年	一、二五七、七九四	一、〇〇七、六四四
同二年	一、〇七〇、〇三三	一四〇、九三六	同十一年	一、二五五、五六一	九四三、五九九
同三年	一、二六六、〇一八	一三六、四三三	同十二年	一、〇三三、三三六	七九、六六五
同四年	一、〇〇二、三三〇	一四九、五五五	同十三年	一、二四四、四四八	六〇三、六二九
同五年	八七三、九八五	一六六、六四八	同十四年	一、三四〇、三七四	八五一、八六五
同六年	一、〇八二、六三三	三七、〇八八	昭和十五年		
同七年	一、〇六一、九七七	五二五、八四九	昭和十六年		

海

苔

年次	數量	價額	年次	數量	價額
大正五年	三三、四四四	一六、八八八	大正十一年	八〇七、五五九	一、六四八、九九四
同六年	一、八三、七三三	一六、六八四	同十二年	一、三六六、九三三	二、五〇〇、六三〇
同七年	三三、七四〇	三三、〇四三	同十三年	一、一七三、五八五	二、七四二、〇七七

乾

魚(肥料)

年次	數量	價額	年次	數量	價額
同八年	三三、一四〇	三六、〇三三	同十四年	六六五、七五九	二、一九八、八六六
同九年	四四、九七七	六五、四九三	昭和十五年		
同十年	三六、一九六	九六、六三三	昭和十六年		

魚

糟(肥料)

年次	數量	價額	年次	數量	價額
明治四十三年	九六、八八五	二八、二七〇	大正八年	五四、七七八	六三、三三二
同四十四年	八九、六六六	二四、六四五	同九年	四七、八六六	五五、九二二
大正元年	一〇八、六六三	三六、一五一	同十年	三五、二七八	三八、六六五
同二年	八九、六三六	三三、九一七	同十一年	一四、〇三八	二〇九、〇四七
同三年	一六七、〇一六	三三、三九九	同十二年	三四、二六〇	二四八、七七七
同四年	八三、八八四	三三、三六六	同十三年	三七、一四六	三九八、八二〇
同五年	八〇、〇〇九	三三、七六八	同十四年	二五、七五五	三三、三九九
同六年	七三、四四八	三三、三三三	昭和十五年		
同七年	二八、六九九	一七三、三三九	昭和十六年		

朝鮮の物産

七三〇

年次	數量	價額	年次	數量	價額
大正三年	六、五八六 百斤	三九三、四三〇	大正十年	四、九八八 百斤	三九、九三二
同四年	四、五九三	二〇五、四三三	同十一年	六、〇三〇	六〇五、七三三
同五年	四、五九一	二八、五九三	同十二年	四、七二〇	三八三、〇九三
同六年	七、〇六六	四三、二二三	同十三年	八、二二七	五九三、〇六五
同七年	六、一三〇	五〇、四三三	同十四年	一、七九七	一、七〇三、五八四
同八年	四、三〇〇	五九、一四八	昭和十五年		
同九年	四〇、九五五	三八、〇七一			

水産品輸移入統計

鹽

年次	數量	價額	年次	數量	價額
明治四十三年	九三、八三〇 百斤	三、四四、五二六	大正八年	四、〇二二、八九七 百斤	三、二六八、二九九
同四十四年	一、四三二、〇五一	五八、四三三	同九年	一、七六、七三〇	一、三六二、九四〇
大正元年	一、八三三、五六〇	七五、五二九	同十年	一、八七三、〇八八	一、三三、四八二
同二年	一、五七、八四四	七五、六六四	同十一年	二、〇三三、三三三	一、四〇三、七七七
同三年	一、三三七、九三三	五五、〇九三	同十二年	二、九三三、八〇四	二、四六五、九九九

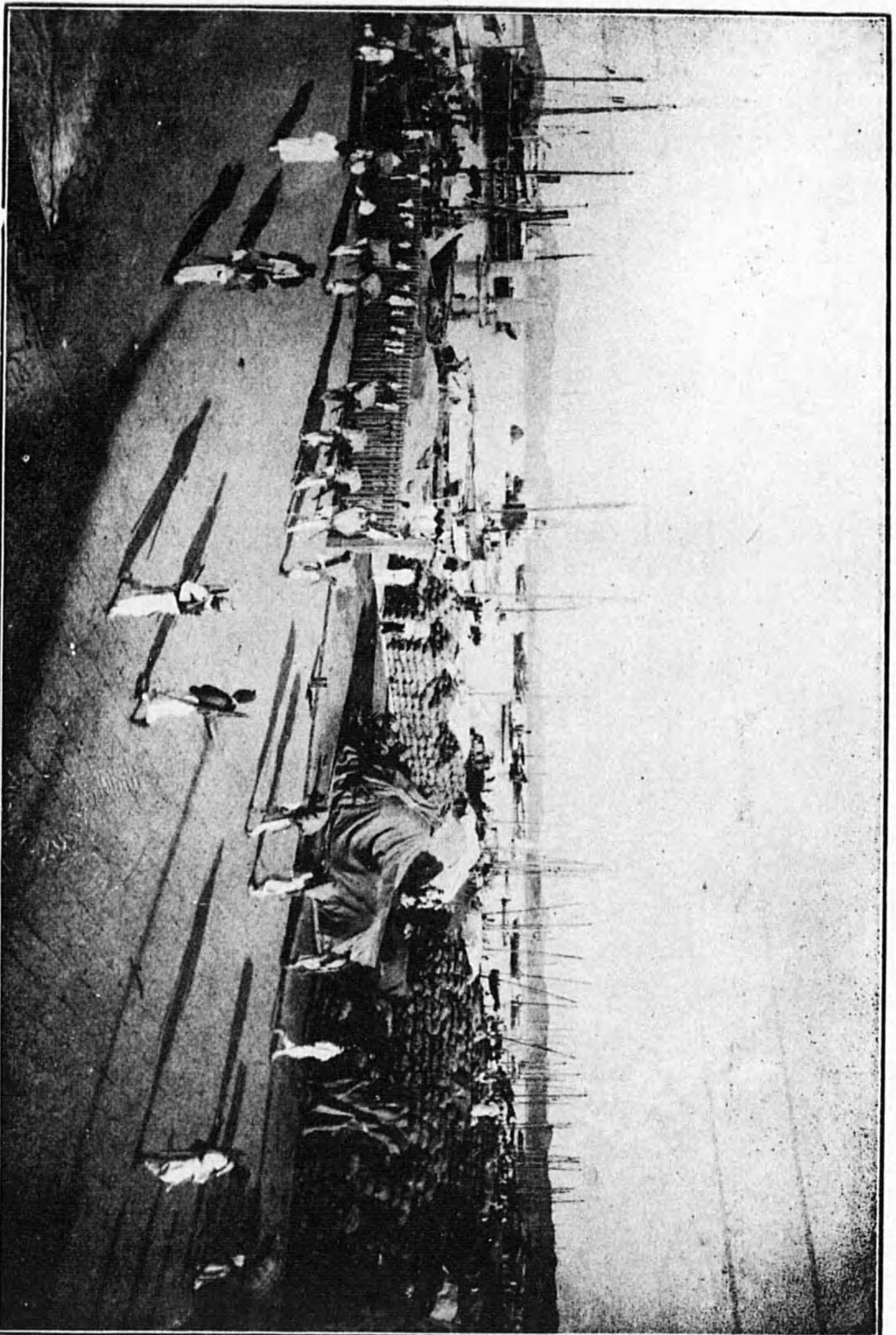
生

鯨

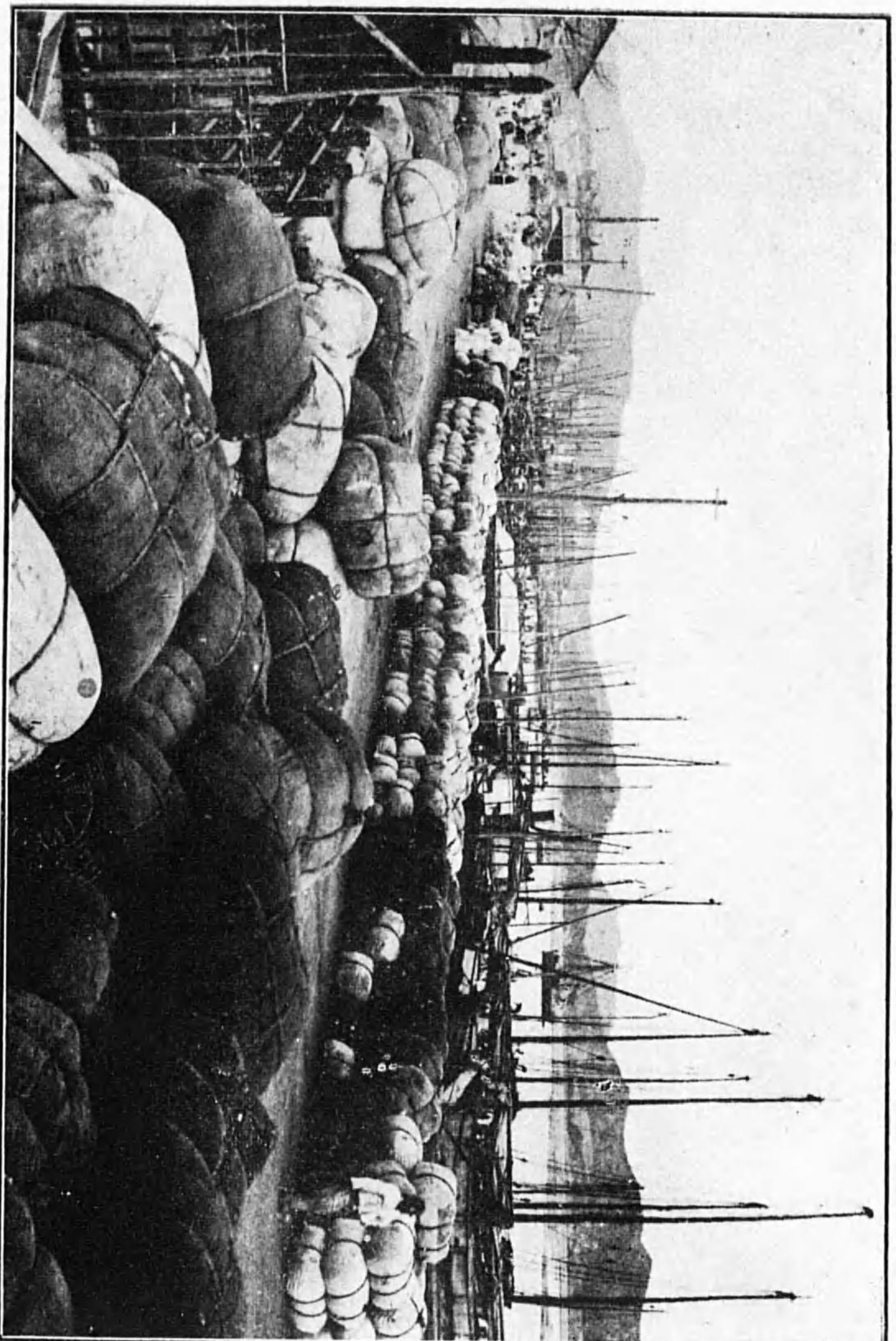
年次	數量	價額	年次	數量	價額
同四年	一、九〇三、五七三	八五三、二三八	同十三年	二、六九、四四二	二、五四九、九八八
同五年	三、四〇〇、六六六	一、〇九六、七六二	同十四年	二、五六六、六五四	二、五八七、二九三
同六年	二、三九、九七一	一、〇〇三、〇六二	昭和十五年		
同七年	二、八四五、六八五	一、五〇二、四七五			
大正六年	四、六三三、二八五 斤	六、四四一	大正十一年	一、五、七三三、八二二 斤	四三、六九七
同七年	二、一八八、〇二五	二二、六二一	同十二年	三、一三三、〇六〇	五八五、五五四
同八年	一、七、五五、一八〇	三七九、六六六	同十三年	一、六、九二、八二〇	四九八、五三三
同九年	六、八六三、一〇二	一九三、一五九	同十四年	一、三、五三、八七六	四三三、九一六
同十年	一〇、八八二、六三三	一六五、三四〇	昭和十五年		

朝鮮の物産 終

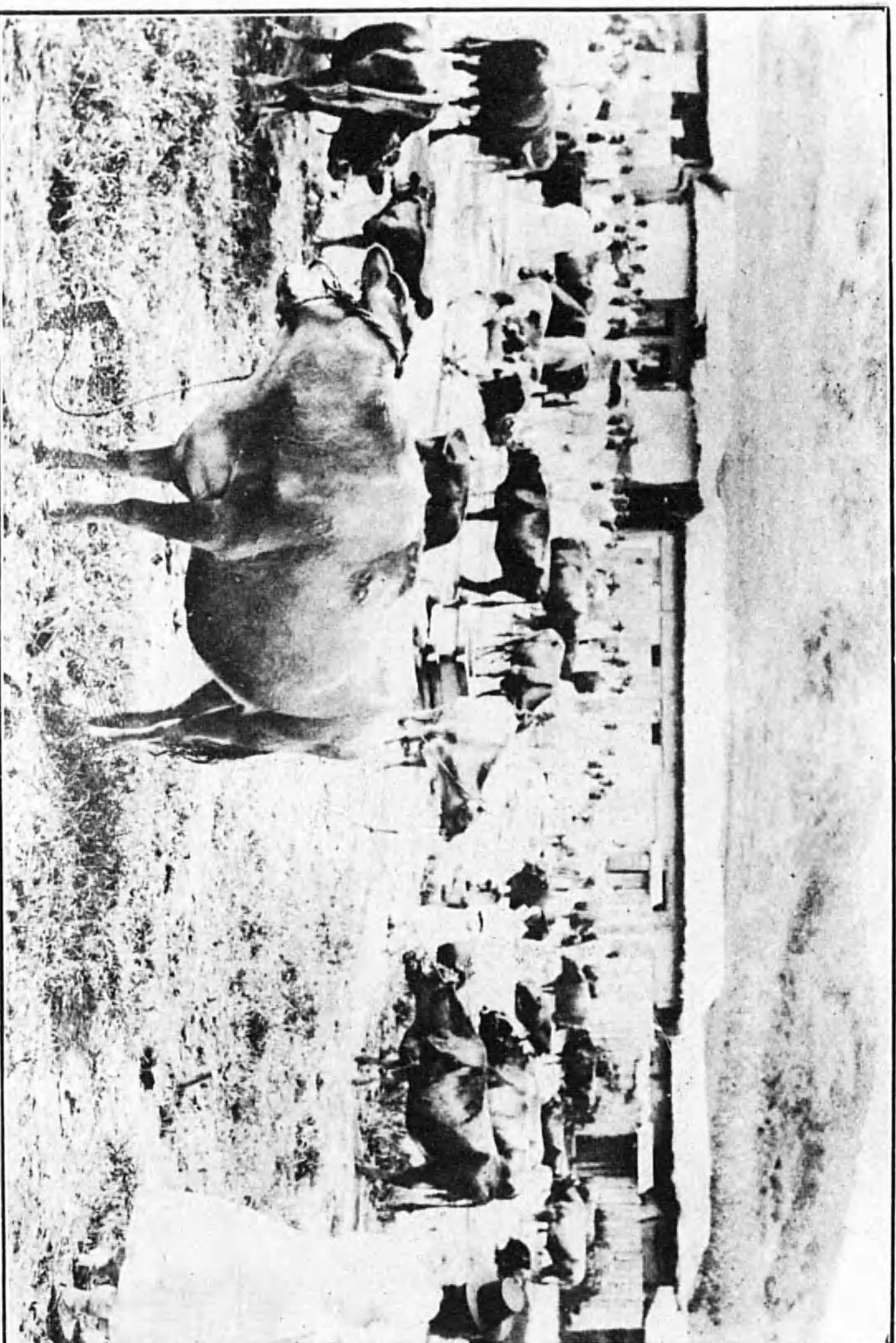
寫眞



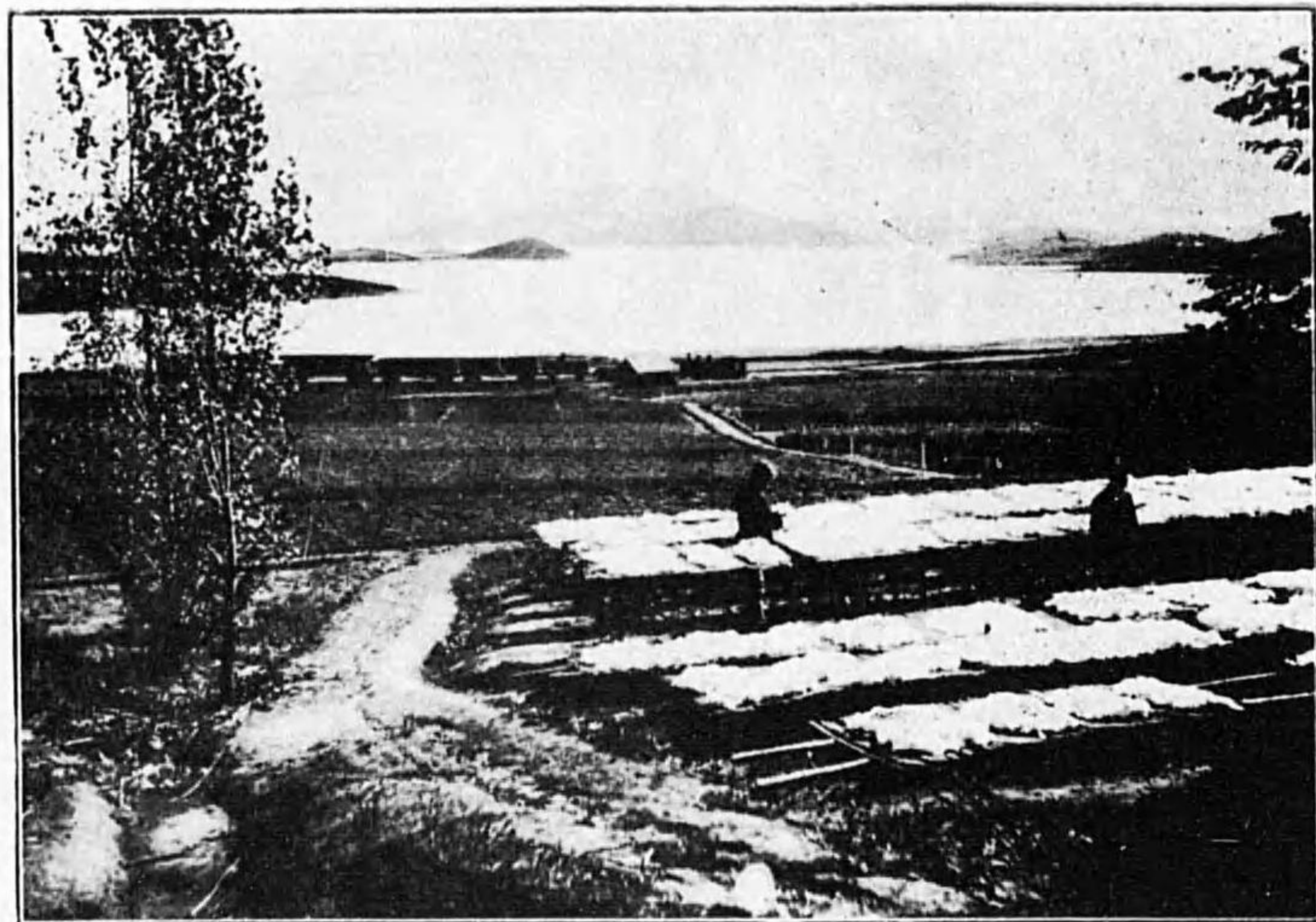
出 移 米 の 港 山 群



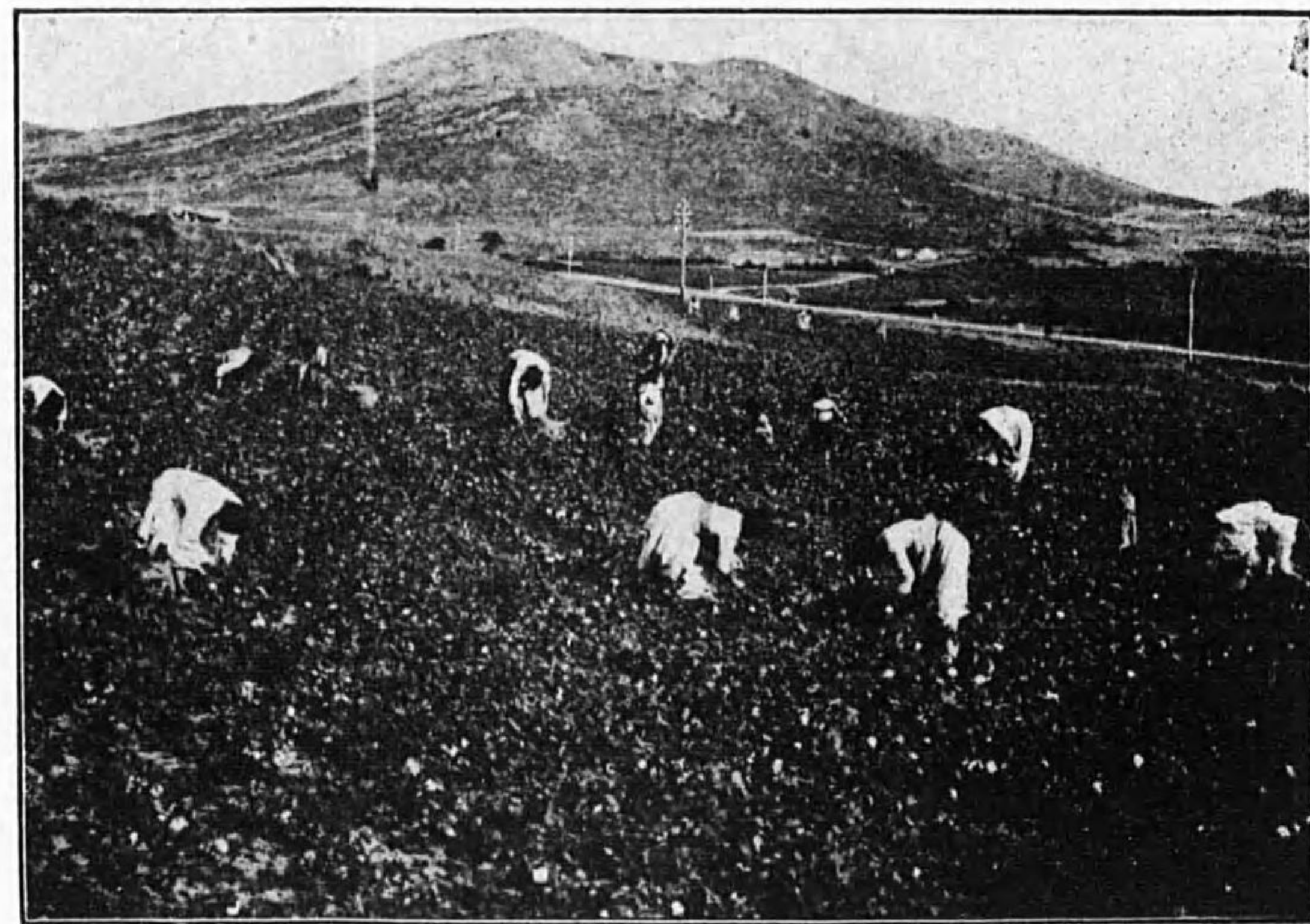
木浦港の棉花移出



水原の牛市場



棉 花 の 乾 燥



棉 花 の 採 取



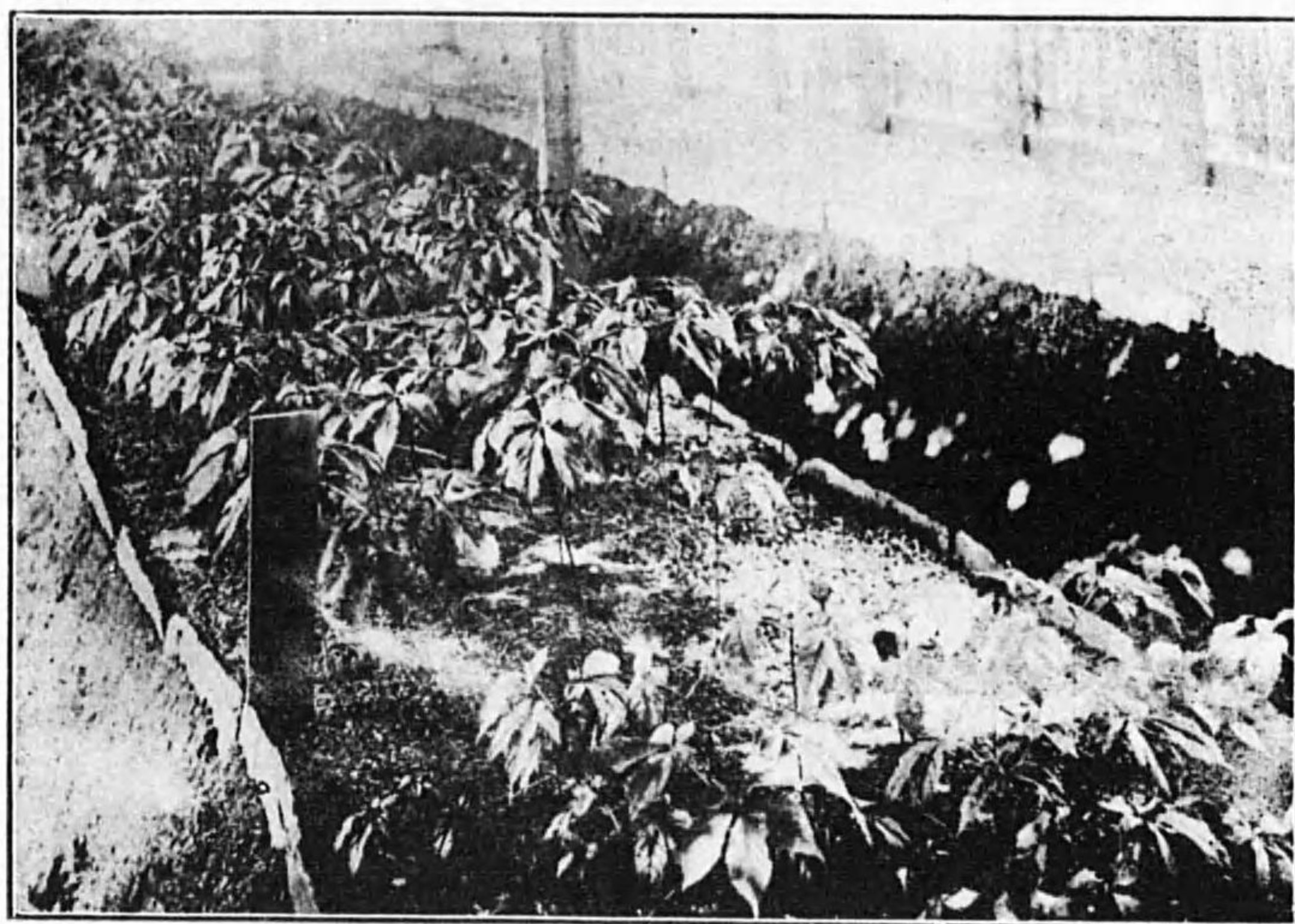
賣 販 同 共 の 繭



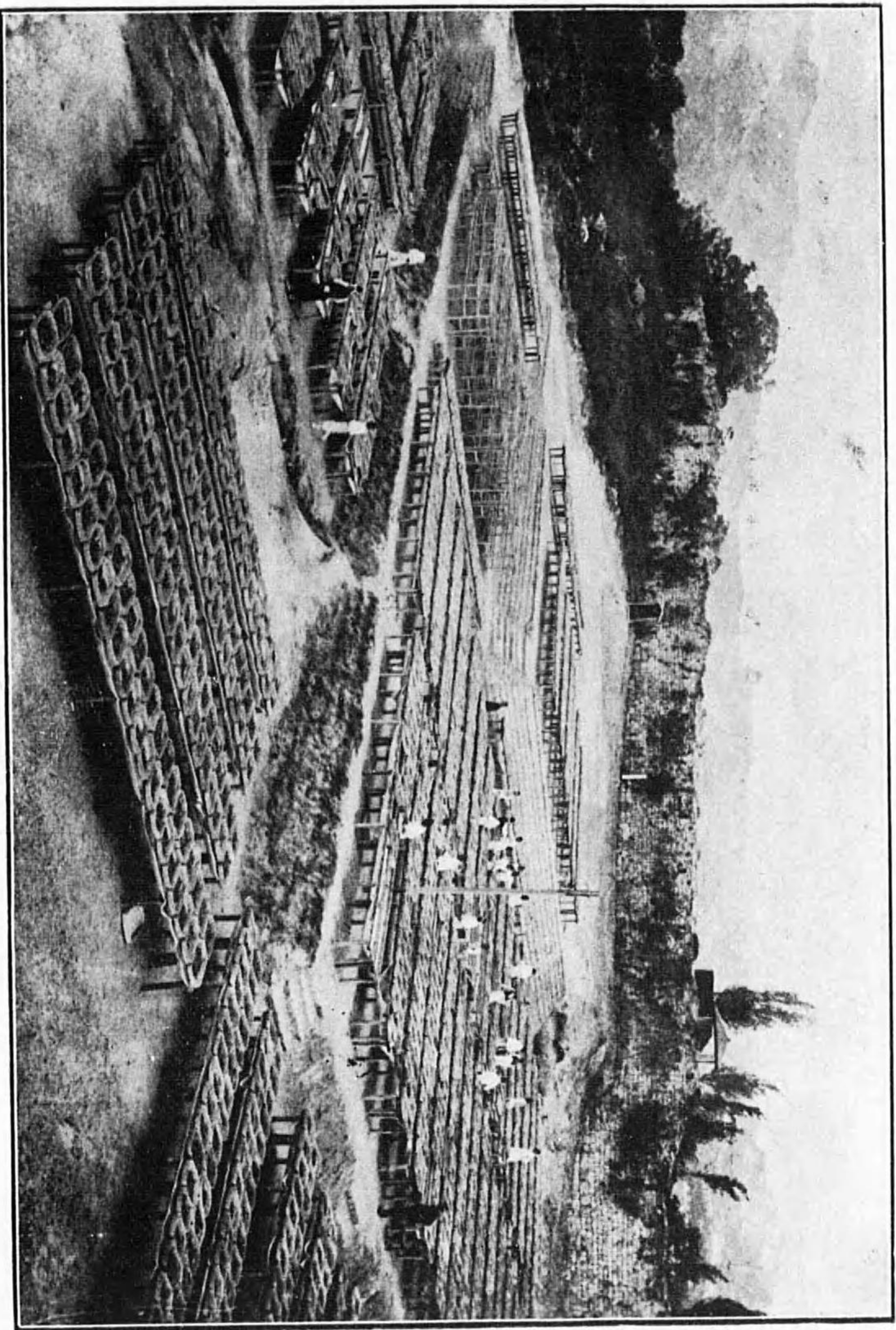
賣 販 同 共 の 繭



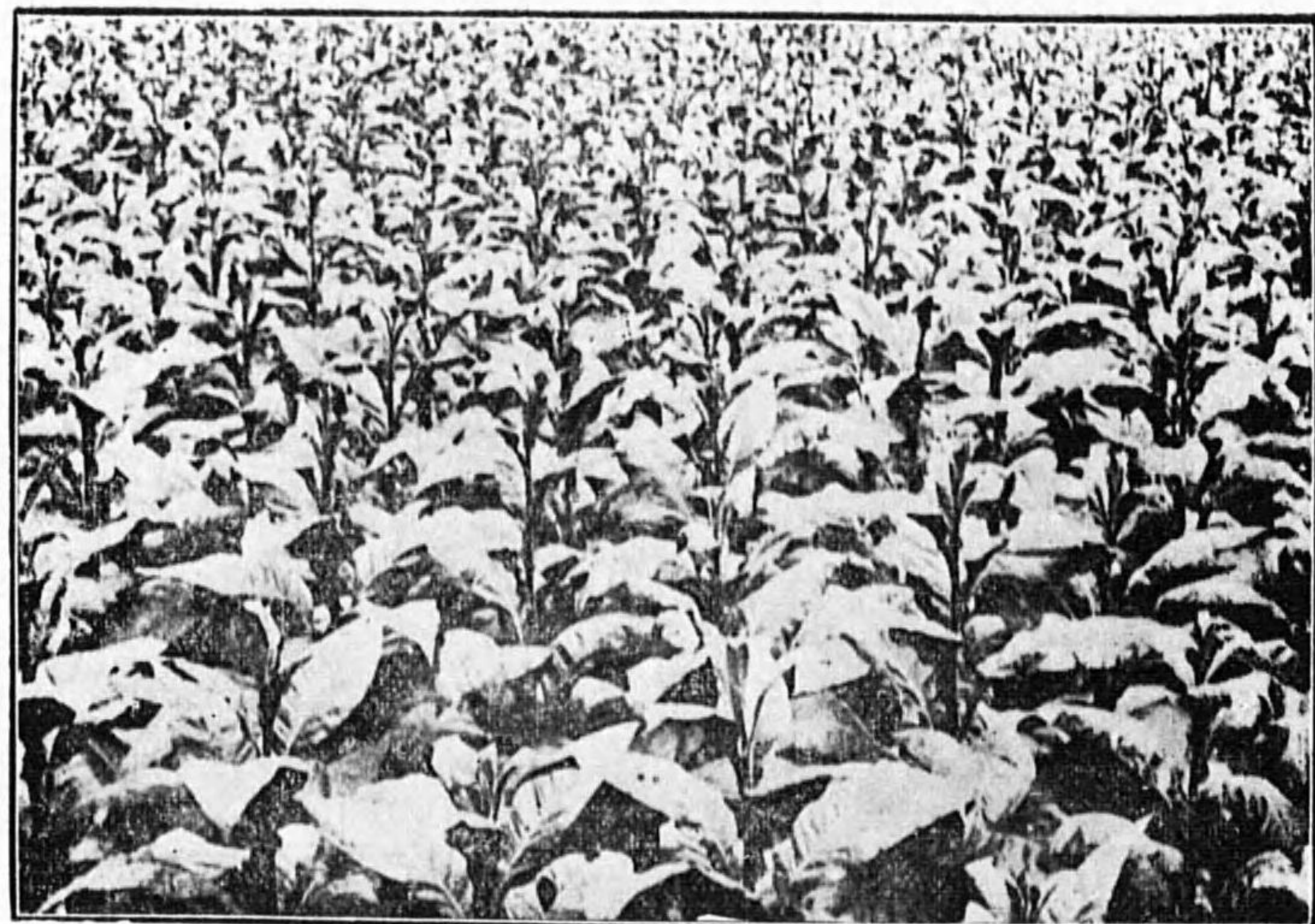
人 蔘 の 選 分



人 蔘 畑



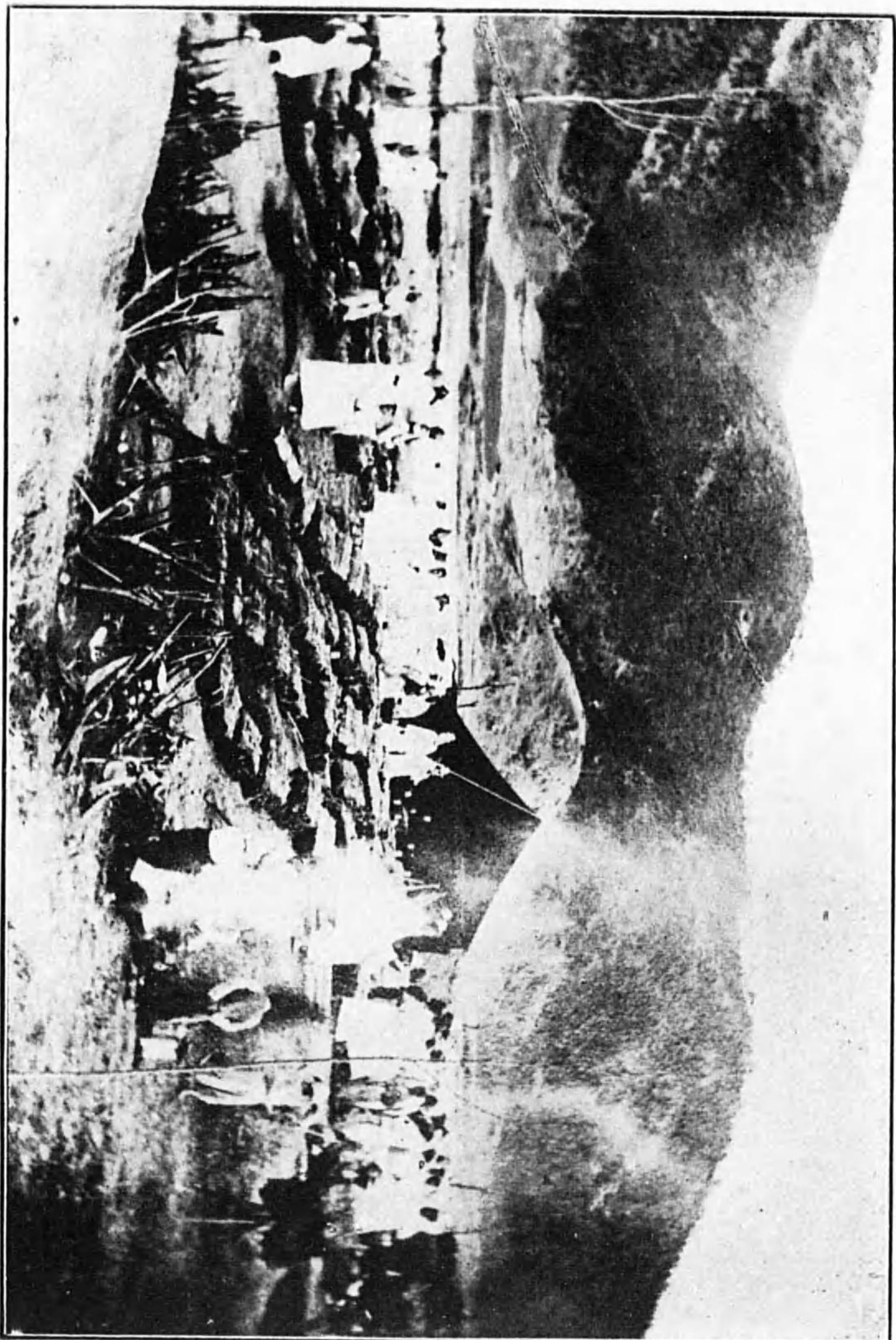
人 蔘 の 日 光 乾 燥



忠州特產黃色煙草

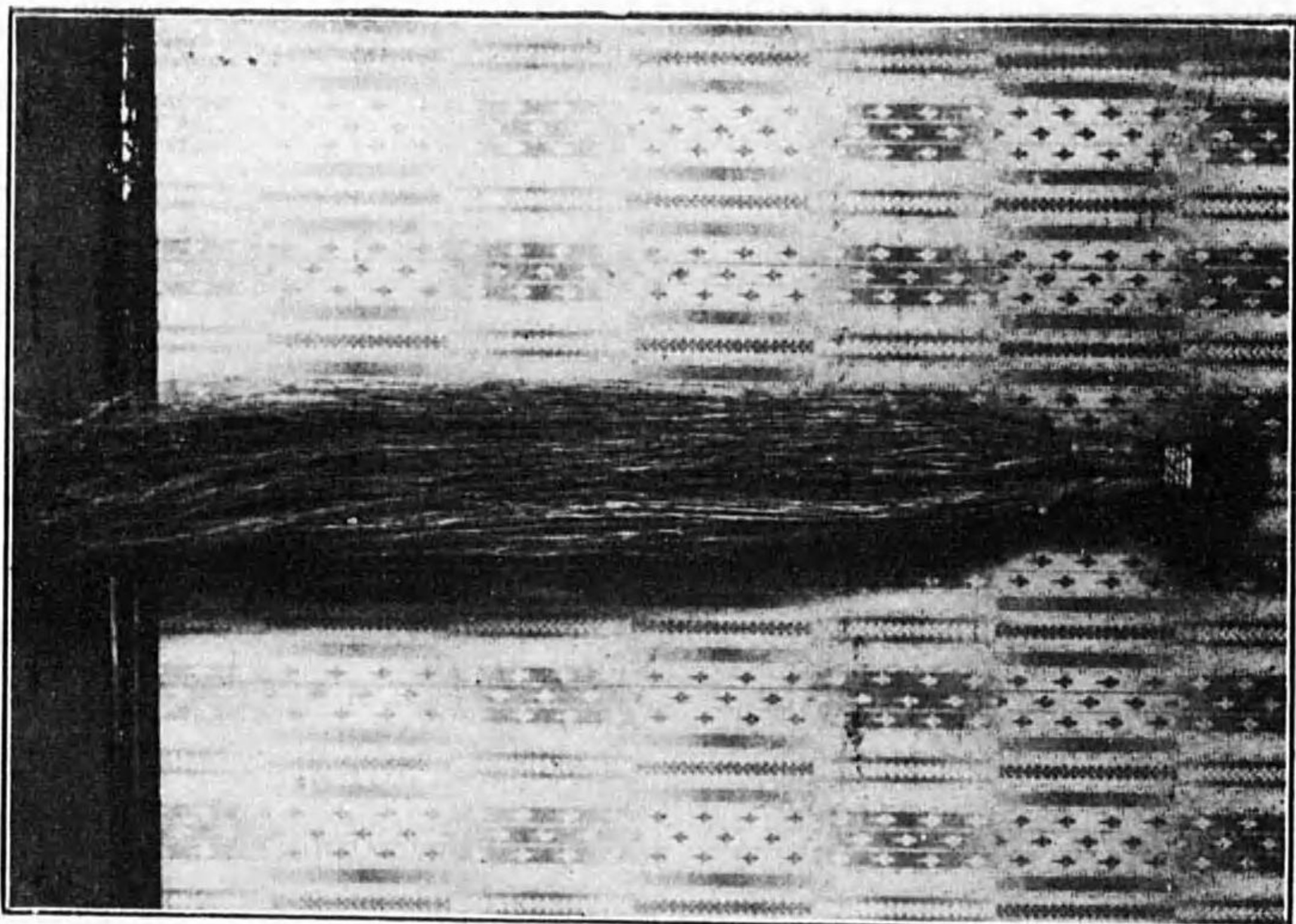


土耳其種煙草

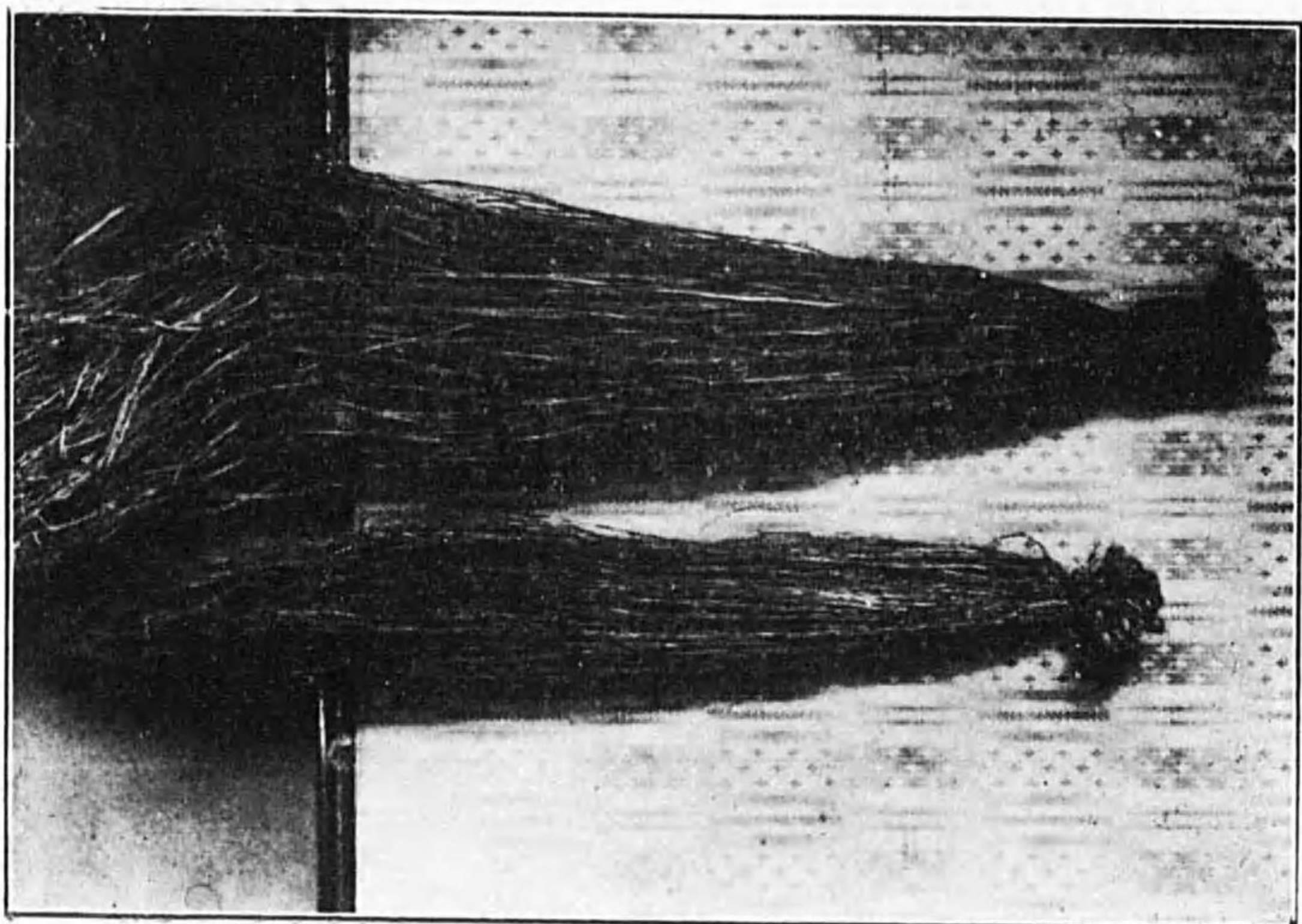


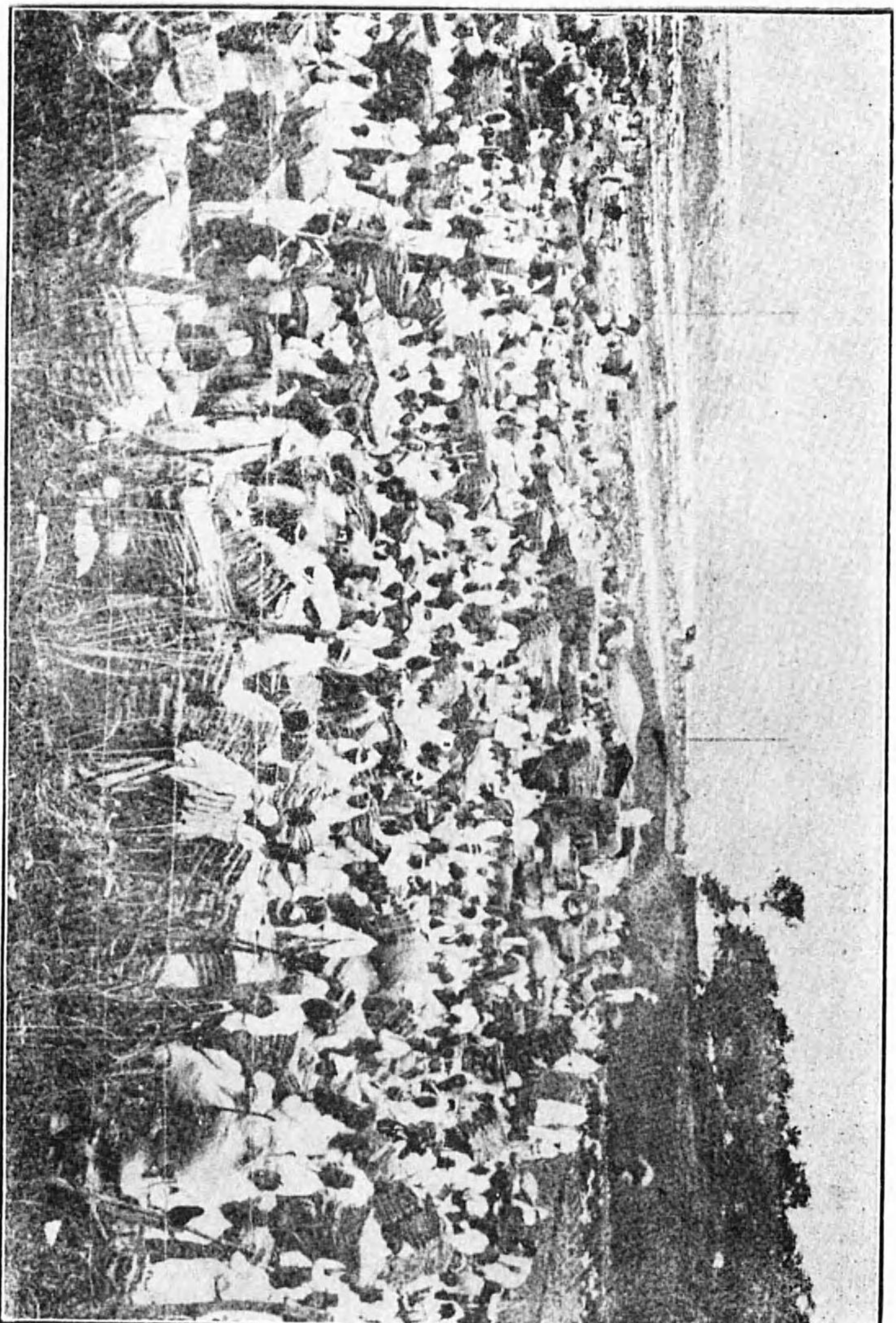
納 收 の 草 煙 葉

麻 子

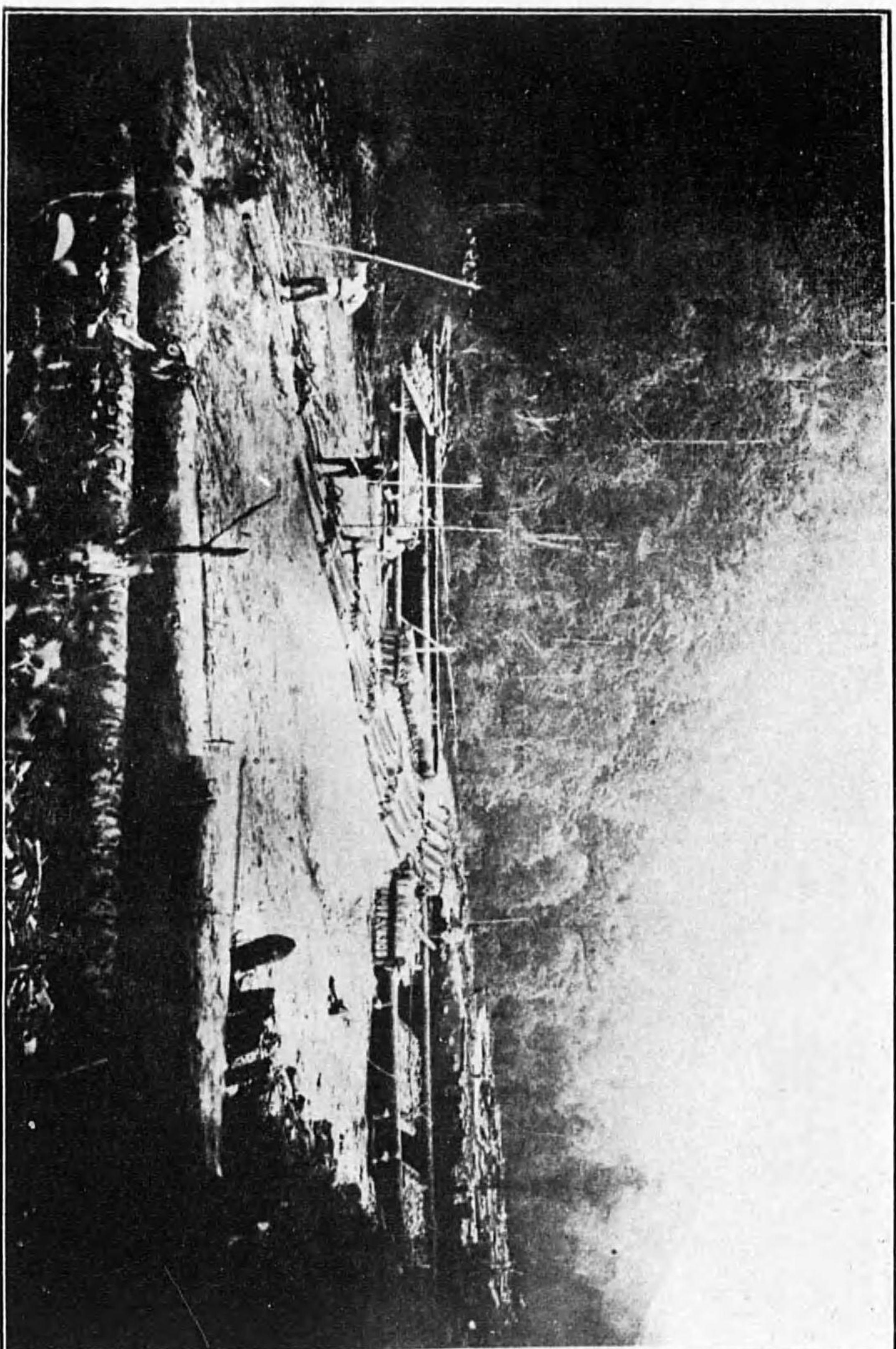


麻 大

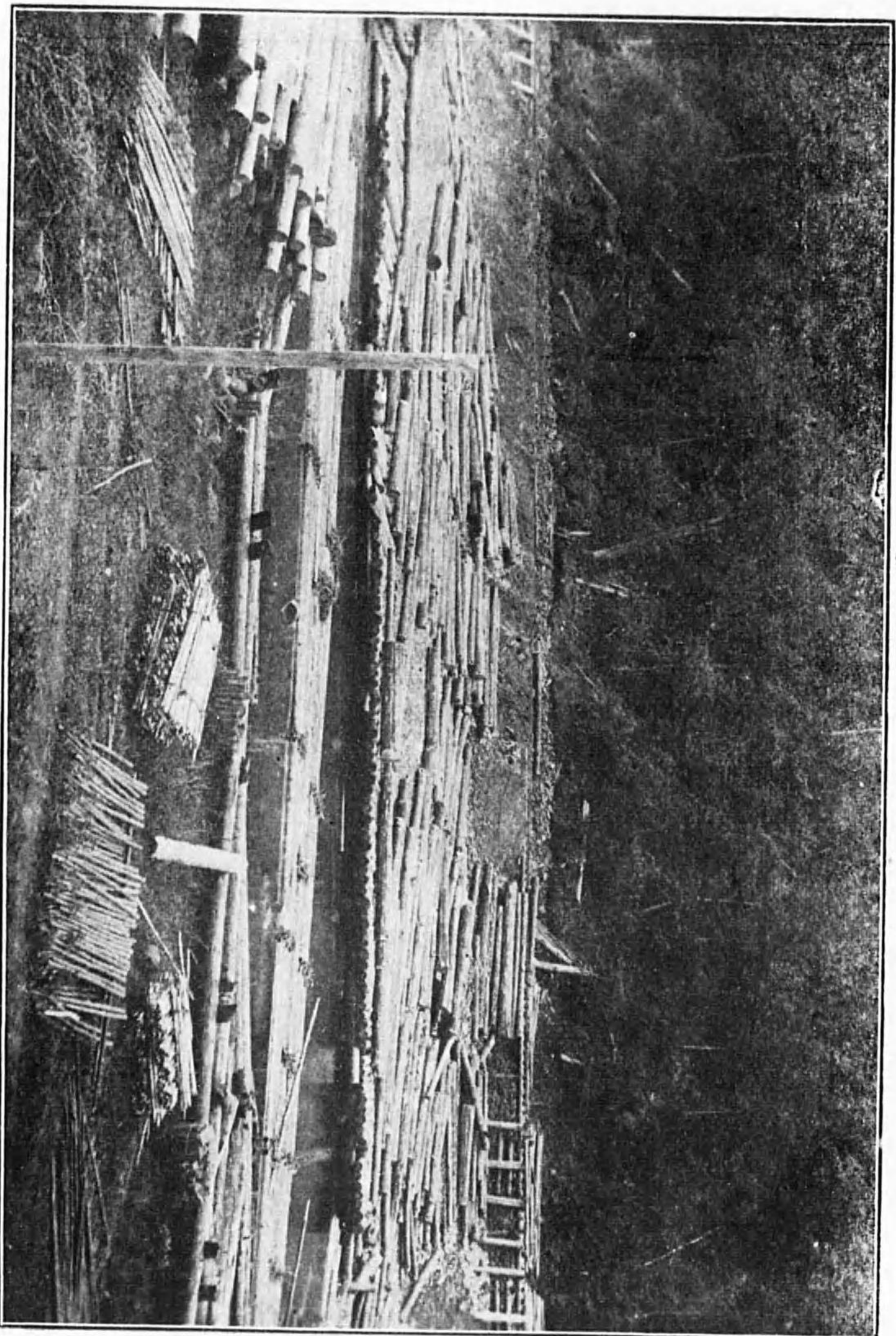




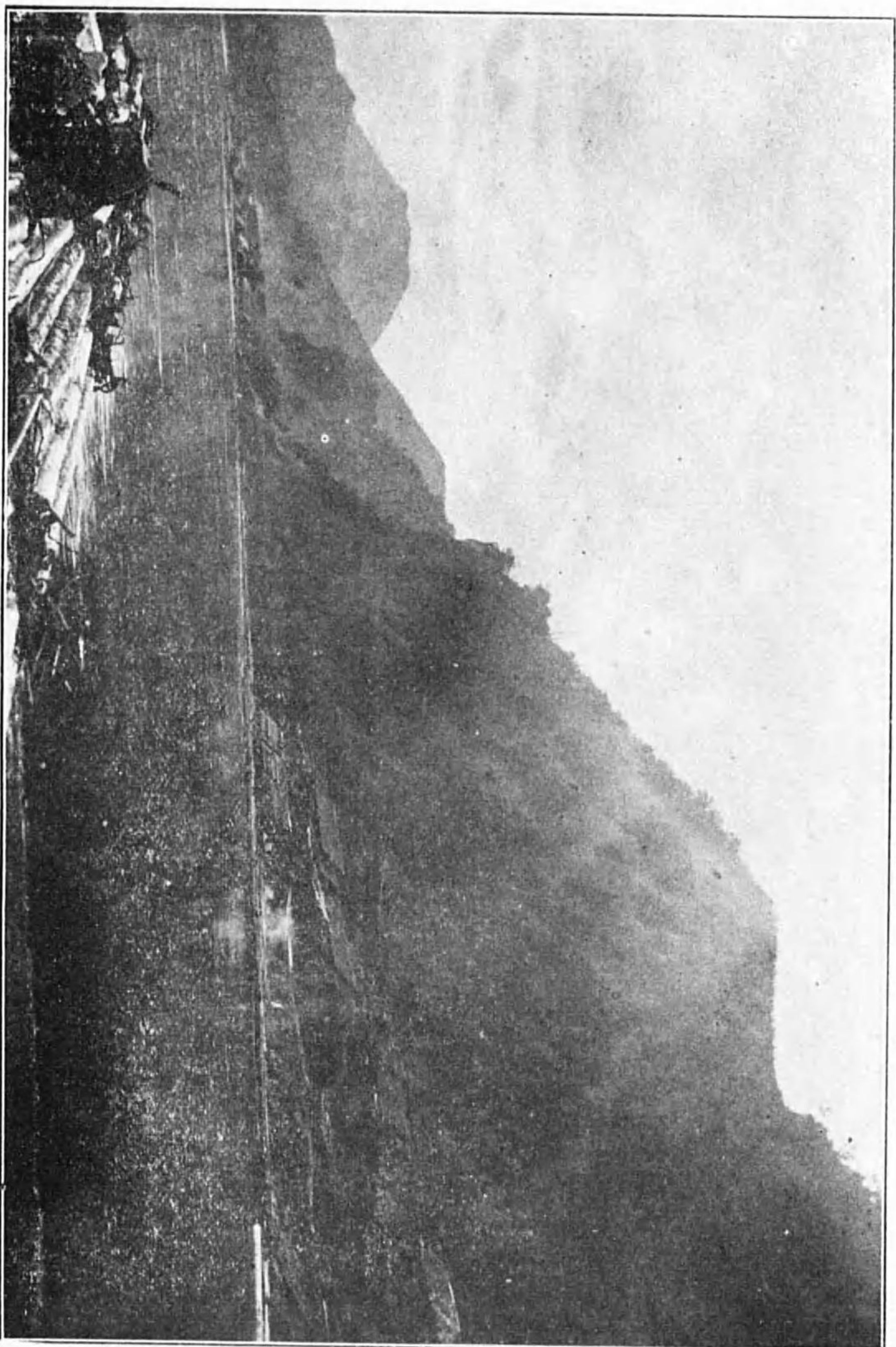
賣 販 の 唄



鴨・緑江・材運の毬



後編の材江縁鴨



鳴 緑 江 村 の 流 筏



鴨綠江材の伐採



鴨綠江材伐の探